CARDNET

日本カードネットワーク専用ターミナル

JET-STANDARD

（ギャザリング／オーソリタイプ兼用）

パナソニック

品番　JT-C07A シリーズ　／JT-C07L シリーズ
（公衆回線接続タイプ）　（LAN 回線接続タイプ）

取扱説明書

※ピンパッドが付く仕様もあります。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（v ～ vii ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

はじめに

このたびは、JET-STANDARD（JT-C07A シリーズ アナログ）（以降、「JT-C07A シリーズ アナログ」という）、JET-STANDARD（LAN）（JT-C07L シリーズ LAN）（以降、「JT-C07L シリーズ LAN」という）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
本書は、「JT-C07A シリーズ アナログ」、「JT-C07L シリーズ LAN」、「ピンパッド（オプション）」の基本的な取り扱いおよびアプリケーションソフトの操作について、簡単にまとめています。
ご使用になる前に必ず一読し、正しい使い方をしていただきますようお願いいたします。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

おことわり

（1） 本書の内容に関しては、改良のため予告なしに仕様などを変更することがありますので、予めご了承ください。
（2） 本書に記載している手順や注意、お願い事項に従わなかったことに起因する事故や損害に関して、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（3） 本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。

目 次

安全上のご注意

第 1 部　機器取扱編

1 端末の種類

2 はじめてお使いになるとき

3 開店前・閉店後の操作

第 2 部　操作マニュアル編

1 販売業務

2 店舗業務

3 再印字

4 伝票印字例

5 エラーコード

付 録

目次

はじめに
目次 ····· ii
安全上のご注意 ····· v
機器・付属品の確認 ····· viii
第1部　機器取扱編 ····· 1-1
1 端末の種類 ····· 1-2
1.1 端末の種類について ····· 1-2
1.2 各部の名称 ····· 1-3
■ 本体について ····· 1-3
■ ピンパッド（オプション）について ····· 1-5
1.3 本体操作キーの機能について ····· 1-6
1.4 本体ディスプレイ部について ····· 1-7
1.5 ピンパッド操作キーの機能について ····· 1-8
2 はじめてお使いになるとき ····· 1-9
2.1 取り扱い上のお願い ····· 1-9
2.2 回線についてのお願い ····· 1-11
2.3 操作上のお願い ····· 1-12
2.3.1 基本事項 ····· 1-12
■ クレジットカード処理 ····· 1-12
■ 銀聯カード処理 ····· 1-13
■ デビットカード処理 ····· 1-14
2.3.2 端末操作に関する事項 ····· 1-15
2.3.3 日計処理および日計表の見方 ····· 1-16
2.4 ロール紙の入れ方 ····· 1-18
2.5 カードの通し方 ····· 1-20
2.6 会員番号非表示について ····· 1-20
3 開店前・閉店後の操作 ····· 1-21
3.1 開店前の操作 ····· 1-21
3.2 閉店後の操作 ····· 1-23
第2部　操作マニュアル編 ····· 2-1
1 販売業務 ····· 2-2
1.1 販売業務に入る前に ····· 2-2
1.2 クレジット業務 ····· 2-7
1.2.1 クレジット売上処理 ····· 2-7
■ 売上共通の操作（IC クレジットカード取り扱いの場合） ····· 2-7
■ 売上共通の操作（磁気クレジットカード取り扱いの場合） ····· 2-10
■ 一括払い ····· 2-13
■ 分割払い ····· 2-16
■ ボーナス払い ····· 2-20
■ ボーナス併用払い ····· 2-24
■ リボルビング払い ····· 2-28
1.2.2 クレジット承認後売上処理 ····· 2-31
1.2.3 クレジット事前承認処理 ····· 2-34
■オーソリ予約 ····· 2-34
■カードチェック ····· 2-38

1.2.4　クレジット取消返品処理 ……2-41
■売上／承認後売上取消 ……2-41
■オーソリ予約取消 ……2-46
1.2.5　マニュアル取消サポート機能 ……2-50
1.3　銀聯業務 ……2-55
1.3.1　銀聯売上処理 ……2-55
1.3.2　銀聯取消処理 ……2-59
1.3.3　銀聯返品処理 ……2-64
1.4　デビット業務 ……2-68
1.4.1　デビット売上処理 ……2-68
1.4.2　デビット取消処理 ……2-72
1.4.3　デビット残高確認処理 ……2-76
1.5　カード会社からの最新情報の受取り（DLL） ……2-80
1.6　オンラインテスト ……2-82
1.7　カード情報の手動入力（マニュアル入力） ……2-84
1.7.1　マニュアル入力 ……2-84
■ クレジットの手動入力動作 ……2-84
■ 銀聯カード取引の手動入力操作 ……2-86
1.7.2　KID 入力 (カード会社番号入力) ……2-87
2 店舗業務 ……2-88
2.1　集計業務 ……2-88
2.1.1　集計業務に入る前に ……2-88
2.1.2　中間計業務 ……2-90
2.1.3　日計業務 ……2-92
2.1.4　中間計・日計業務においてのお願い ……2-94
2.1.5　一括送信業務（結果通知） ……2-95
2.1.6　一括送信業務（結果通知）においてのお願い ……2-97
2.1.7　KID 一覧 ……2-98
2.2　練習モード ……2-99
2.3　設定モード ……2-102
2.3.1　設定モードに入る前に ……2-102
2.3.2　端末識別番号（TID）の確認 ……2-104
2.3.3　保守会社連絡先電話番号の確認 ……2-104
2.3.4　回線設定 ……2-105
2.3.5　機器設定 ……2-109
2.3.6　業務設定 ……2-113
2.3.7　IC 業務設定 ……2-118
2.3.8　AP（アクセスポイント）設定 ……2-120
2.3.9　パスワード設定 ……2-122
2.3.10　店舗設定の印字 ……2-125
2.3.11　磁気カードリーダの読み取りテスト ……2-127
2.3.12　Ping 送信 ……2-128
2.4　機能・設定更新（リモートメンテナンス） ……2-129
3 再印字 ……2-133
4 伝票印字例 ……2-135
4.1　クレジット業務 ……2-135
4.1.1　クレジット売上票 ……2-135
4.2　銀聯業務 ……2-138
4.2.1　銀聯売上票 ……2-138

目次

4.3 デビット業務……2-141
4.3.1 デビット売上票……2-141
4.3.2 デビット残高確認票……2-142
4.4 集計業務……2-143
4.4.1 日計／中間計表……2-143
4.4.2 KID 一覧表……2-150
4.5 会員番号非表示……2-151
5 エラーコード……2-153
5.1 エラーコードおよびメッセージ……2-153
5.1.1 本機からの確認メッセージ……2-153
5.1.2 本機からのエラーメッセージ……2-154
5.1.3 IC クレジットカード取り扱い時のエラーコード……2-161
5.1.4 カード会社からのメッセージ（クレジット業務）……2-165
5.1.5 センタからのメッセージ（クレジット業務）……2-170
5.1.6 カード会社からのメッセージ（銀聯業務）……2-173
5.1.7 センタからのメッセージ（銀聯業務）……2-175
5.1.8 金融機関からのメッセージ（デビット業務）……2-177
5.1.9 センタからのメッセージ（デビット業務）……2-179
付録……付-1
付１ 誤操作に対する対応……付-1
■ 本体の操作を間違ったとき…付-1
■ お客様が暗証番号入力の操作を間違ったとき…付-2
付２ こんなときには……付-3
■ 困ったときには……付-3
■ カードが読み取れなかったとき……付-3
■ エラーにはならないが、通信に時間がかかる場合……付-3
■ ピンパッドが故障してしまったとき……付-4
■ 本機の移動について……付-4
■ プリンタについて……付-4
■ その他　よくあるご質問……付-5
付３ ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作……付-7
付４ 暗証番号入力をスキップするときは……付-9
■ 本体にて暗証番号を入力する機種をご使用の場合……付-9
■ ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種をご使用の場合…付-11
付５ ケーブルの固定方法……付-12
■ ケーブルの固定方法……付-12
■ ケーブルカバー・コネクタカバーの外し方／取り付け方……付-13
■ ケーブルホルダーの外し方……付-13
■ ケーブルホルダーの取り付け方……付-13
付６ プライバシーシールドの取り付け方法……付-14
付７ 商品区分コード……付-15
■ 商品コード一覧……付-15
付８ 契約カード会社一覧メモ……付-16
付９ 定格……付-17
■ 本体について……付-17
■ ピンパッドについて……付-17

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

分解禁止

分解・修理・改造しない

火災・感電の原因になります。
●修理は保守連絡先へご相談ください。

電源プラグを抜く

水などが内部に入ったら電源スイッチを切り電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
●使用を中止し、保守連絡先へご相談ください。

電源プラグを抜く

煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源スイッチを切り電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●使用を中止し、保守連絡先へご相談ください。

安全上のご注意　（つづき）

⚠ 警告

禁止

電源コード・電源プラグ・AC アダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コード、プラグや AC アダプターの修理は保守連絡先へご相談ください。

電源プラグや AC アダプターのほこりなどは定期的にとる

プラグや AC アダプターにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグや AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグや AC アダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグや AC アダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグや AC アダプターの抜き差しはしない

感電の原因になります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100 V 以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

接続ケーブルに洗剤などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

火災の原因になります。

●ぬれた接続ケーブルは、壁側の電話コンセントから抜き、使用しないでください。

禁止

付属の AC アダプター、電源コードセットは、他の製品に使用しない

火災や感電の原因になります。

安全上のご注意 （つづき）

⚠ 注意

禁止

不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

●破損した場合は電源プラグをコンセントから抜き、保守連絡先へご相談ください。

指はさみ注意

ロール紙収納部に手を入れない

けがの原因になることがあります。

接触禁止

プリンタの可動部には触れない

けがの原因になることがあります。

接触禁止

カッターには触れない

けがの原因になることがあります。

接触禁止

印字直後はサーマルヘッドに触れない

やけどの原因になることがあります。

禁止

直射日光のもとなど高温の場所に置かない

発熱して火災の原因になることがあります。

●室内の直射日光があたらない場所などに置いてください。

禁止

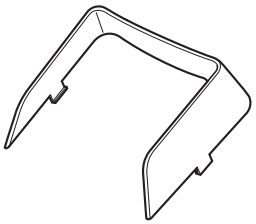
付属の AC アダプター、電源コードセット以外は使用しない

火災の原因になることがあります。

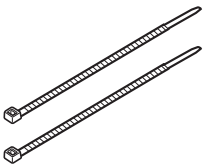
機器・付属品の確認

本機がお手元に届きましたら、ご使用の前に、機器・付属品がすべて揃っていることを確認してください。

本体（JT-C07 シリーズ）

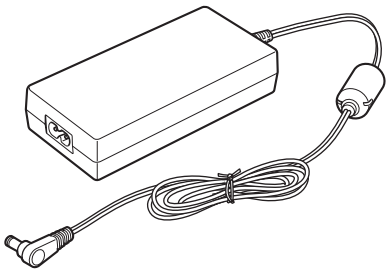


プライバシーシールド

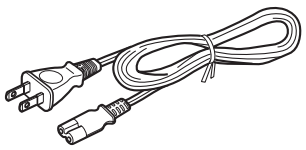


結束バンド

※コード類を束ねるときは、
付属の結束バンドをご利用ください。



AC アダプター



電源コード

電話回線ケーブル
（「JT-C07L シリーズ　LAN」には同梱されておりません。）

※機器･付属品の他に「取扱説明書（本書）」、「操作ガイド（クレジット）」、「操作ガイド（デビット銀聯）」、「ご利用の手引き」、「部品注文書」、「カード偽造犯罪撲滅へのご協力のお願い」、「デビットシート」、「クリーニングカード」、「端末識別ラベル」が同梱されています。

第 1 部

機器取扱編

1 端末の種類

1.1 端末の種類について

クレジットカードの取り扱いについては、“データギャザ”と“オーソリ”の２種類があります。
それぞれの端末を“データギャザ専用端末”と“オーソリ専用端末”といいます。
クレジット売上票の先頭に「データギャザ専用」または「オーソリ専用」と印字されますので、確認してください。

●データギャザ

“データギャザ”とは、加盟店様でのクレジットカード取引の都度、その時点で、端末から各カード会社へ信用照会を行うとともに取引データを送信するしくみのことです。
売上票の送付により請求処理を行うのではなく、取引データの送信により精算を行います。

＊紙詰まりなどで本機より売上票が出力されていなくても、取引データの送信は完了し、取引が成立している場合もあります。
また、売上票は CARDNET 売上票保管センタまたはカード会社から特別な指定をされた場合は指定先へ送付いただきます。

●オーソリ

“オーソリ”とは、加盟店様でのクレジットカード取引の都度、その時点で、端末から各カード会社へ信用照会のみ行うしくみのことです。通常、売上票を各カード会社へ送付することにより請求処理を行います。
（端末から各カード会社への取引データの送信は行いません。）
オーソリ専用端末にはクレジット承認後売上の機能はありません。
「クレジット承認後売上処理」（2-31 ページ）の項は飛ばして読んでください。

＜文中の用語説明＞

KID ‥‥カード会社番号のことです。読み取ったカードのカード会社を端末で判定できなかった場合に、カード会社を指定するときに使用します。
TID ‥‥端末識別番号（各端末の識別番号）のことです。
DLL ‥‥カード会社の最新情報（加盟店名称、電話番号、取り扱い可能な支払方法等）の変更をオンラインで行うことです。

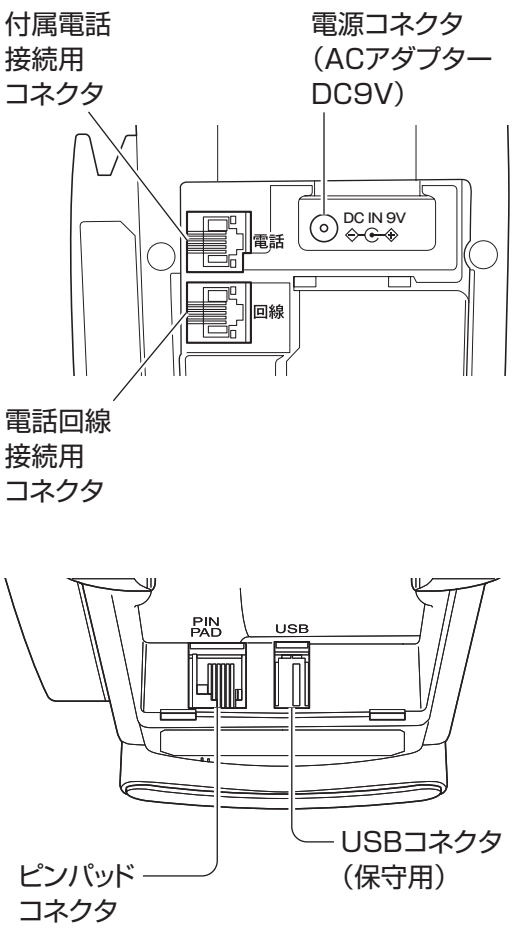
1.2　各部の名称

■ 本体について

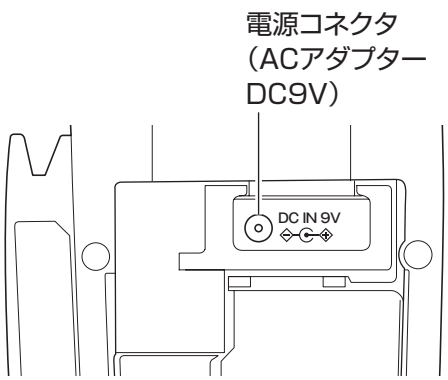
●本体操作キーの機能については 1-6 ページを参照ください。

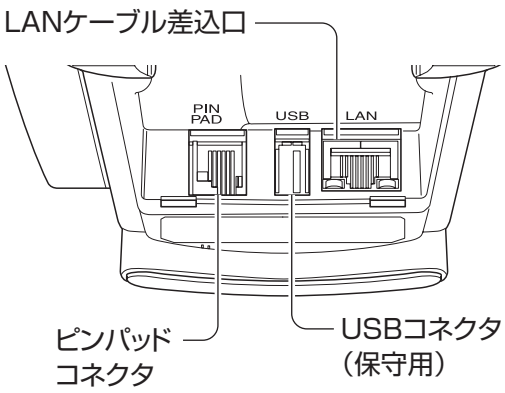
【本体底面後部】

JT-C07A シリーズ　アナログ



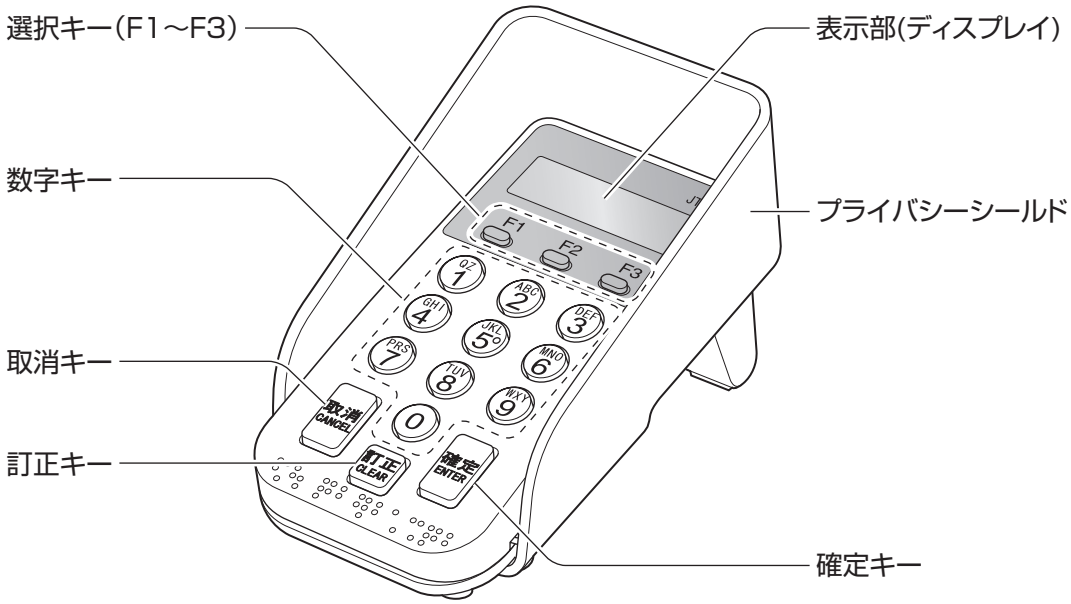
JT-C07L シリーズ　LAN





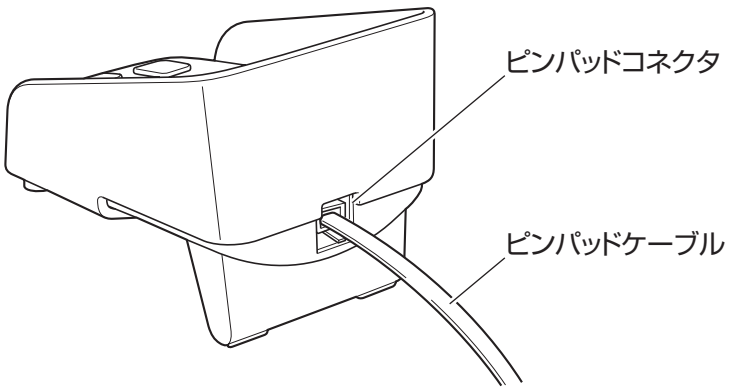
■ピンパッド（オプション）について

●ピンパッド操作キーの機能については 1-8 ページを参照ください。



本体と接続する際は、ピンパッドに付属の
ピンパッドケーブルをご使用ください。

【ピンパッド後部】

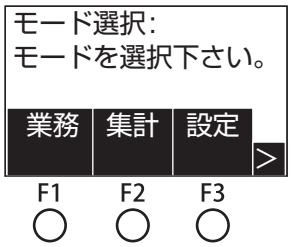


本体と接続する際は、ピンパッドに付属のピンパッドケーブルを
ご使用ください。

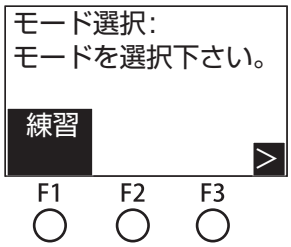
1.3 本体操作キーの機能について

モードキー： 本機には、業務モード、集計モード、設定モード、練習モードの動作モードがあります。各モードの初期画面で（モード）キーを押すと、モード選択画面（左下の画面）が表示されますので、選択キー（F1～F3）を押して動作モードを選択します。

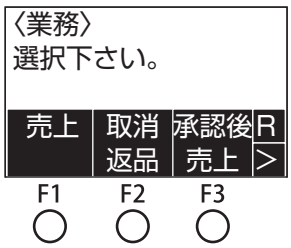
＜モード選択画面1＞



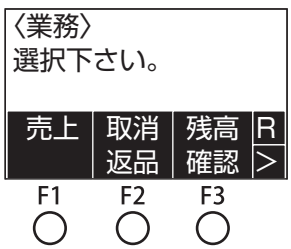
＜モード選択画面2＞



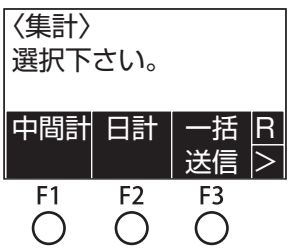
＜業務初期画面(ｸﾚｼﾞｯﾄ)＞



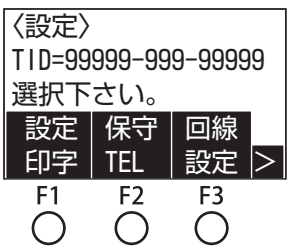
＜業務初期画面(ﾃﾞﾋﾞｯﾄ)＞



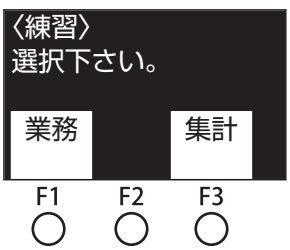
＜集計初期画面＞



＜設定初期画面＞



＜練習初期画面＞



1）業務モード：

クレジット業務：売上、取消返品、承認後売上（ギャザリング端末のみ）、事前承認（オーソリ予約、カードチェック）を行うときのモードです。

銀聯業務　　：売上、取消、返品を行うときのモードです。

デビット業務　：売上、取消、残高確認を行うときのモードです。

2）集計モード：

日計、中間計、一括送信、KID 一覧を行うときのモードです。

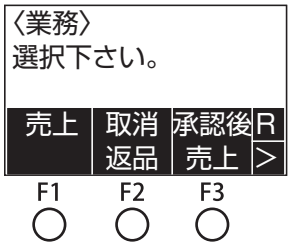
3）設定モード：

各種設定の内容確認、設定のやり直しを行うときのモードです。

4）練習モード：

業務、日計などの操作練習を行うときのモードです。

選択キー（F1 ～ F3）：この 3 つの選択キーは、動作モードや画面によって機能が変わります。
それぞれの機能は、ディスプレイ部に反転表示されます。



Point
・オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。

次画面キー　：選択項目が複数の画面に渡る場合、次の画面にするときに押します。
画面右端に>が表示されているときに利用できます。

数字キー　：通常、金額などの数字を入力するときに押します。また、本体にて暗証番号を入力する機種の場合、暗証番号を入力するときに押します。

リセットキー：業務を中止するときに押します。本機は初期画面に戻ります。

訂正キー　：誤操作、誤入力をしたときに押します。入力したデータがクリアされます。入力なしで押されたときは一つ前の画面に戻ります。

実行キー　：一連の操作（すべてのデータ入力）が終了したときに押します。また、本体にて暗証番号を入力する機種の場合、暗証番号入力が完了したときにも押します。

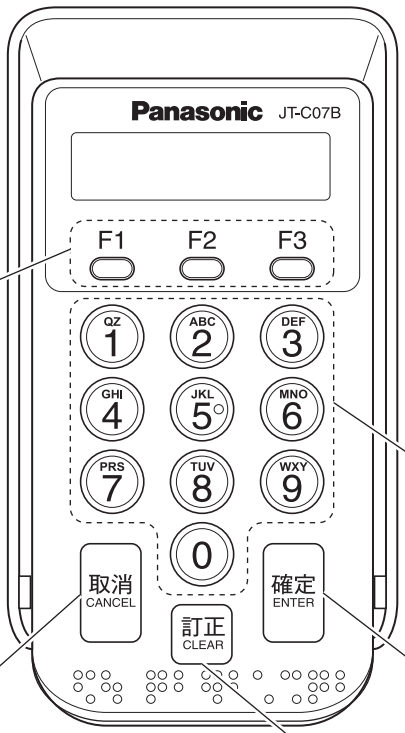
セットキー　：入力メッセージに対する入力が終了したときに押します。

再印字キー　：各業務の初期画面で直前に発行した取引伝票、集計伝票の再発行をするときに押します。画面右端にRが表示されているときに再印字できます。
詳しくは「再印字」（2-133 ページ）を参照してください。

1.4　本体ディスプレイ部について

ディスプレイに表示される内容は次のとおりです。
センタからの応答メッセージ
操作キー入力データ
操作メッセージ
選択キー（F1 ○～F3 ○）の機能（反転して表示します。）
その他のエラーメッセージ

1.5 ピンパッド操作キーの機能について



選択キー(F1～F3)

アプリケーションを選択するときに使用します。

数字キー(0～9)

暗証番号などの数字入力用として使用します。

取消キー

業務の中止に使用します。

確定キー

ガイダンスに対する入力が完了したときに使用します。

訂正キー

入力したデータをクリアし訂正入力するときに使用します。

※ピンパッドはオプションです。

2 はじめてお使いになるとき

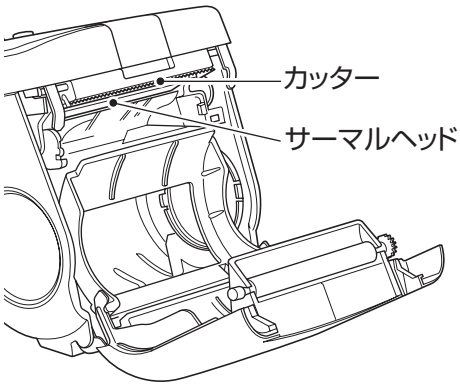
2.1　取り扱い上のお願い

●何も操作をしないと

業務モードの初期画面で約５分間何も操作しないと画面表示が暗くなりますが、この状態でも操作はできます。操作キーを押すと、画面は元に戻ります。
また、操作手順中に約 60 秒* 1) 以上何も操作をしないと、それ以上の操作ができなくなります。
この場合、ディスプレイに次のメッセージが表示されますので、リセットキーを押して初めから操作してください。

```
J04:入力タイムアウト
リセットキーを押して
もう一度、
やり直して下さい。
```

＊ 1)：60 秒の時間は変更することができます。
変更は、「機器設定」（2-109 ページ）の
キー入力タイマにて行います。



●安全上の注意

・ サーマルヘッドにさわらないでください。
高熱でやけどをするおそれがあります。
・ カッターには触れないでください。
けがの原因となります。

●行ってはいけないこと

・ **強い電磁波のあるところの近くで使用しないでください。**（電磁波の影響により誤動作の原因）
電子レンジ、万引き防止装置、自動ドア、磁石、高圧線、通信用アンテナなど
・ **こんなところには設置しないでください。**
温度や湿度変化の激しいところ（誤動作・変形・故障の原因）
火気・熱機器・冷暖房機の近く、結露するような場所など
日光のあたるところ（変形・故障の原因）
屋外、直射日光のあたる室内など
空気清浄の悪いところ（故障の原因）
ほこりの多い場所、レジや POS などの排気があたる場所、油煙を多く発生するところなど
ピアノ・高級家具などの上（キズや熱によるひびわれ・変色の原因）
不安定なところ（落下による破損の原因）
異常発生時に容易に電源プラグが抜けないところ
静電気の起きやすいところ（誤動作・故障の原因）
じゅうたんを使用しているところなど
水などの液体がかかるところ（誤動作・故障の原因）
・ 磁気カードリーダ部には、磁気カード以外は通さないでください。（故障の原因）
・ IC カード挿入口には、IC カード以外は挿入しないでください。（故障の原因）
・ プリンタ印字中は、紙を引っ張ったり、伝票出口に手や物を置かないでください。
（紙づまり・故障の原因）
・ アルコール類、ベンジン、シンナーは使わないでください。また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色・変質の原因）

●行っていただきたいこと

・端末の側面に貼ってあるセキュリティシール*2) を確認し、不正開封がされていないことを確認してください。
・本機は室内に設置して使用してください。
・長時間にわたって本機をご使用にならないときなどは、電源を OFF にしてください。ただし、自動日計起動を「あり」に設定されている場合、自動日計時刻に本機の電源が OFF になっていると自動日計は機能しませんので、ご注意願います。
・長期間にわたって本機をご使用にならないときは、AC アダプターをコンセントから抜いておいてください。(電源を OFF にした状態でも、約 1W の電力を消費しています。)
・本機の汚れを拭き取るときは、布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた水溶液を含ませ、かたくしぼって拭いてください。
＊ 2)： セキュリティシールは端末が不正開封されていないことを確認するためのシールです。

●暗証番号の入力方法について

取引中にお客様に暗証番号の入力が必要なときは、お客様に暗証番号を入力していただいてください。
暗証番号は他人に知られると悪用される可能性がありますので、暗証番号の漏えい防止のため、以下のことをお守りください。

■お客様にお伝えください

・必ずお客様に入力していただいてください。
・できるだけ手に持って入力していただくよう、お客様にお伝えください。
・周りの人に見られないように、手や体で隠すようにして入力していただいてください。
・監視カメラに手元が映らないように入力していただいてください。

●不正利用を防ぐために

本機のご利用におきまして、「意図しない第三者が本機を容易に利用可能な運用状態」が常時続くような運用である場合は、「管理パスワード」および「業務パスワード」を設定してください。
詳しくは、「パスワード設定」(2-122 ページ) を参照してください。

2.2　回線についてのお願い

●電話回線についてのお願い（JT-C07A シリーズ　アナログの場合）

1）キャッチホン回線との接続
NTT のキャッチホンサービスの契約を行っている電話回線に「JT-C07A シリーズ　アナログ」を接続した場合、キャッチホンの呼び出し音によりデータ通信に支障が発生することがあります。「JT-C07A シリーズ　アナログ」を接続する回線で、キャッチホンサービスも同時に利用したい場合には、キャッチホンⅡサービスの契約をおすすめいたします。キャッチホンⅡサービスで呼び出し回数を0に設定することにより、データ通信に支障を発生させずにキャッチホンサービスを利用することができます。

2）PBX への接続
構内交換機（PBX）に接続するときは、回線の電気的な条件が一般加入電話回線と同等であることを PBX の製造会社や保守担当会社に確認の上使用してください。回線の電気的な条件が異なると使用できない場合があります。

3）2線式でない電話装置（ホームテレホンなど）でのご使用
ビジネスホンやホームテレホンなどの2線式でない電話装置は、回線の電気的な条件が一般加入電話回線と異なるため、そのまま接続することはできません。接続する場合には、電話装置の製造会社や保守担当会社に相談してください。

4）電話機・FAX との併設
電話機・FAX との併設用接続ケーブルは一端はモジュラーケーブルで、もう一端はお手持ちの電話機・FAX に接続できる形状のものを用意してください。（詳しくは電話機・FAX をお買い上げいただいた販売店に相談してください。）
本機が通信中のとき、FAX または電話機の使用ができなくなっています。

5）本機のご使用にあたって、NTT レンタル電話機が不要となる場合は、NTT へ連絡してください。ご連絡いただいた日をもって「機器使用料」は不要となります。
詳しくは局番なしの 116 番へ問い合わせてください。

6）ファクスを送信されるときは、受話器、またはモニターで回線音（ツー音）を確認後、ダイヤルしてファクスを送信してください。
回線音（ツー音）確認前にダイヤルしますと、ダイヤルの一部が欠落し、誤った電話番号に送信されることがあります。

●LAN 回線についてのお願い（JT-C07L シリーズ　LAN の場合）

1）正しく結線された信頼性のある LAN ケーブルを使用してください。
2）PoE 給電機能付のハブなどの装置と接続しないでください。
3）ハブと本端末間の距離は最大 100 m までにしてください。
4）間違って他のコネクタを接続しないでください。故障の原因になります。

2.3 操作上のお願い

2.3.1 基本事項

■ クレジットカード処理

(1) 暗証番号について

「IC クレジットカード取引」の「売上」の場合は、暗証番号の入力が必要となります。本体をお客様にお渡しし、お客様に暗証番号を入力していただきます。
ピンパッドをご使用の場合は、ピンパッドにてお客様の暗証番号を入力していただきます。

(2) 売上票の取り扱い

カード会社用（1 枚目）をカード会社が指定するところへ送ってください。

(3) 端末故障、センタダウン、センタ休止時のイレギュラー時の処理

有効期限の確認 ･･･････必ずクレジットカードの有効期限を確認してください。
伝票処理 ･･･････････････カード会社指定の伝票によりインプリンターまたは手書き処理を行い、本機の売上票とは別集計の上、該当のカード会社へ送付してください。
オーソリゼーション ･･･全件についてカード会社に連絡して承認番号を取得してください。

(4) メッセージ対応

本機を利用してカード処理をしますと、いろいろなメッセージがディスプレイ、もしくは売上票に表示されますが、次の点を特に守ってください。

[1]「サービスデスクへ TEL 願います」と表示された場合
必ず CARDNET サービスデスクに電話をし、CARDNET サービスデスクの指示にしたがってください。

[2]「無効カード」「事故カード」と表示された場合
該当カードを回収の上速やかに該当カード会社に電話をし、カード会社の指示にしたがってください。

これ以外のメッセージは、「エラーコード」（2-153 ページ）を参照してください。

(5) サインの徴求と照会

「IC クレジットカード取引」の「売上」以外の取引の場合は、必ずお客様のサインをいただき、カード裏面のサインと照合してください。
ただし、加盟店様とカード会社のご契約により、必ずしもサインをいただく必要がない場合もあります。その場合は、売上票のご署名欄に「サインは省略させていただきます」と印字されます。

(6) 取消、返品について

売上または承認後売上で完了した取引を取消または返品できます。
ただし、返品を行う場合は、先に該当カード会社へ返品を行ってよいかをご確認ください。

[1] 取消 ･･･当日の売上分に対する取消
[2] 返品 ･･･当日以外の売上分に対する取消

■ 銀聯カード処理

銀聯カード取引の場合、売上票の送付により精算を行うのでなく、取引データの送信により精算処理を行います。

(1) 暗証番号入力について

銀聯カード処理では、お客様に暗証番号を入力していただく必要があります。本体をお客様にお渡しし、お客様に暗証番号を入力していただきます。
ピンパッドをご使用の場合は、ピンパッドにてお客様に暗証番号を入力していただきます。

(2) 売上票の取り扱い

カード会社用（1 枚目）をカード会社が指定するところへ送ってください。

(3) 端末故障、センタダウン、センタ休止時のイレギュラー時の処理

銀聯カード処理の場合は、お取り扱いできません。

(4) メッセージ対応

銀聯カード処理に関するメッセージについては、「エラーコード」（2-153 ページ）参照してください。

(5) サインの徴求と照合

銀聯カード取引の場合は、必ずお客様のサインをいただき、カード裏面のサインと照合してください。ただし、加盟店様とカード会社のご契約により、必ずしもサインをいただく必要がない場合もあります。その場合は、売上票のご署名欄に「サインは省略させていただきます」と印字されます。

(6) 取消、返品について

売上で完了した取引を取消または返品できます。
[1] 取消 ･･･ 当日の売上分に対する取消
[2] 返品 ･･･ 当日以外の売上分に対する取消
＊操作ミスなどにより、金額が間違って入力して売上が成立してしまった場合は、その売上票ごとに「取消」処理を行ってください。

■ デビットカード処理

デビットカード取引の場合、売上票の送付により精算を行うのではなく、取引データの送信により精算処理を行います。

(1) 暗証番号入力について

デビットカード処理では、お客様に暗証番号を入力いただく必要があります。本体をお客様にお渡しし、お客様に暗証番号を入力していただきます。
ピンパッドをご使用の場合は、ピンパッドにてお客様に暗証番号を入力していただきます。

(2) 売上票の取り扱い

保管センタ用（2 枚目）は、クレジット売上票と一緒に CARDNET 売上票保管センタに送ってください。

(3) 端末故障、センタダウン、センタ休止時のイレギュラー時の処理

デビットカード処理の場合は、お取り扱いできません。

(4) メッセージ対応

デビットカード処理に関するメッセージについては、「エラーコード」（2-153 ページ）を参照してください。

(5) サインの徴求と照合

デビットカード処理の場合、サインは必要ありません。

(6) 取消、返品について

デビットカード処理の場合、取消は当日のみ可能です。
取消対象の取引の翌日以降の取消はできません。
[1] 取消 ･･･ 当日の売上分に対する取消
[2] 返品 ･･･ 運用上ご利用いただけません。
＊操作ミスなどにより、金額、支払方法など間違って入力して売上が成立してしまった場合は、その売上票ごとに「取消」処理を行ってください。

2.3.2　端末操作に関する事項

（1）取消、返品の各々の違い

デビットカード処理の場合、取消は当日のみ可能です。
取消対象の取引の翌日以降の取消はできません。

[1] 取消 ･･･ 当日の売上分に対する取消
[2] 返品 ･･･ 当日以外の売上分に対する取消
返品（当日以外の売上分に対する取消）を行う場合は、先に該当カード会社へ返品を行って良いか確認してください。

＊操作ミスなどにより、金額、支払方法など間違って入力して売上が成立してしまった場合は、その売上票ごとに「取消」「返品」で処理してください。

（2）クレジット承認後売上　　＊オーソリ専用端末にはクレジット承認後売上の機能はありません。

本機を利用して売上保留となり、電話承認でカード会社より承認番号を取得した場合にこの操作をしてください。
もう一度お客様のカードを端末に通していただくことになります。途中「承認番号」を入力する画面が表示されますので、取得した承認番号を入力してください。なお、アルファベットが混在している場合など、詳しくは「クレジット承認後売上処理」（2-31 ページ）を参照してください。

（3）オーソリ予約（クレジット事前承認）

販売業務の「クレジット事前承認処理」（2-34 ページ）を参照してください。

（4）マニュアル入力

カード情報（カード番号、有効期限）を数字キーから手動入力することにより取り扱いが可能となります。（ただし、カード会社とのご契約によって、マニュアル入力できない場合がありますので、該当カード会社へ問い合わせてください。）
この場合、「カード会社番号をどうぞ」と表示されますので、該当のカード会社番号（KID）を入力してください。
詳しくは「KID 入力（カード会社番号入力)」（2-87 ページ）を参照してください。
わからない場合は、「KID 入力」（2-87 ページ）の検索方法か、または「KID 一覧」（2-98 ページ）を参照しカード会社番号を印字して確認してください。

（5）売上票の再印字

空打ちや紙詰まりにより正常に売上票が作成されなかった場合はロール紙を正しくセットした上で、再印字 ○ キーを押すともう一度同じ売上票が作成されます。
詳しくは、「再印字」（2-133 ページ）を参照してください。
ただし、別の取引または日計処理を行うと再印字はできませんので注意してください。

（6）練習機能

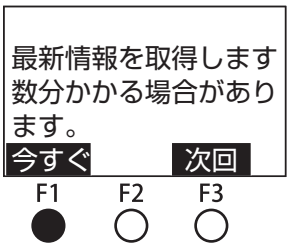
本機に慣れていない販売員の方が業務の練習をすることができます。
詳しくは「練習モード」（2-99 ページ）を参照してください。
練習モードで作成された売上票は、本来の売上票ではありません。
印字するデータはダミーデータとなります。
＊練習機能を行うときは、実際に加盟店様でご利用いただけるカードが必要となります。

2.3.3　日計処理および日計表の見方

本機にはその日の取引内容全件を蓄積する機能があります。日計の操作を行うことにより蓄積された取引内容（日計表）を伝票に印字することができます。

（1）日計処理後のプログラム DLL

本機に機能追加や設定内容の変更が生じた場合、本機を最新情報で更新するために日計処理後に下の画面が表示される場合があります。この場合、画面に従って処理を進めてください。



F1 ◯（今すぐ）キーを押してください

Point

・上記画面で F3 ◯（次回）キーを押した場合、下の画面が表示され伝票を印字します。

（F3 ◯（次回）キーは 10 回のみ押下可能です。Nに残りの押下可能な回数が表示されますので、早めに最新情報の取得を行ってください。）

次回は実施して下さい
次回キー押下は、
残りあとN回まで可能です。

・10 回連続して F3 ◯（次回）キーを押した場合は、10 回目に下の画面が表示されます。

次回の日計処理後は、
自動的に最新情報を
取得します。

・上の画面表示後の次の日計処理後には、下記の画面を一定時間表示した後、自動的に最新情報の取得が行われます。

次回押下が10回を超えたため、最新情報の取得を開始します。数分かかる場合があります

（2）日計処理は毎日営業終了時に必ず行い、印字された日計表を確認してください。毎日決まった時刻に自動的に日計処理（自動日計処理）を実施することができます。（業務設定で設定）日計処理を行うことにより、万一、端末とセンタの間で取引の不整合が発生していた場合にも自動的に補正が行われます。日計表の見方は「伝票印字例」の「日計／中間計表」（2-143 ページ）を参照してください。

(3) 日計表のカード会社ごとのトータルの日付の後ろに「NG」と印字されている場合は、必ずCARDNET サービスデスクに連絡してください。
この場合､各取引の先頭に「＊」が印字されていることがありますのであわせて連絡してください。

(4) 日計処理を行わずに３日間を経過すると日計表を印字していただくようディスプレイにメッセージが表示されます。
この場合リセットキーを押すと初期画面に戻り通常の処理ができますが早めに日計処理を行ってください。

```
J09:日計
モードキーを押して、
日計処理を実行して下
さい。
```

(5) 本機で記録できる取引件数はクレジットで最大 400 件、銀聯で最大 300 件、デビットで最大 100 件です。
３日間経過していなくても、記録できる取引件数が残り 10 件となった時点から日計表を印字していただきますようディスプレイにメッセージが表示されますが、この場合リセットキーを押すと初期画面に戻り通常の処理ができます。ただし、引き続き取引を行いますと最大件数分の取引がたまった時点で、取引できなくなりますので、早めに日計処理を行ってください。

(6) 日計表は一度印字すると蓄積されていたデータがクリアされます。
日計表印字中にロール紙がなくなったり、詰まったり、からまったりしてエラーになった場合は、ロール紙を正しくセットし、ガイダンスに従い、もう一度日計をやり直してください。
もう一度印字することができます。詳しくは、「再印字」（2 - 133 ページ）を参照してください。

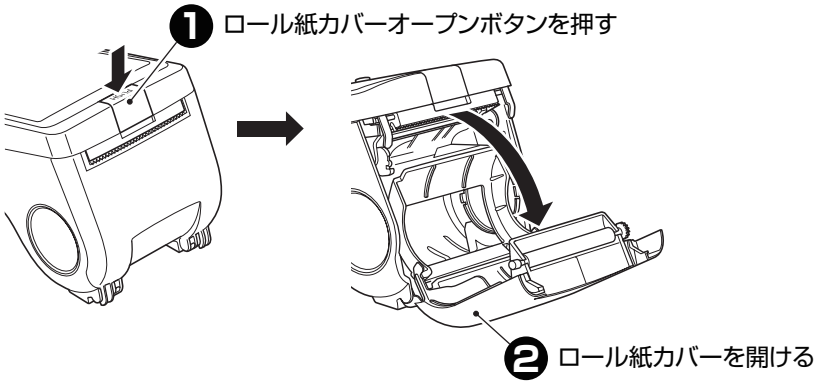
(7) 日計表に印字する取引データは午前０時で日付が変わります。
したがって、午前０時をまたがって営業される加盟店様の場合は、午前 0 時までの取引が前日分の売上、午前０時以降の取引が当日分の売上として日計表に印字されます。

2.4 ロール紙の入れ方

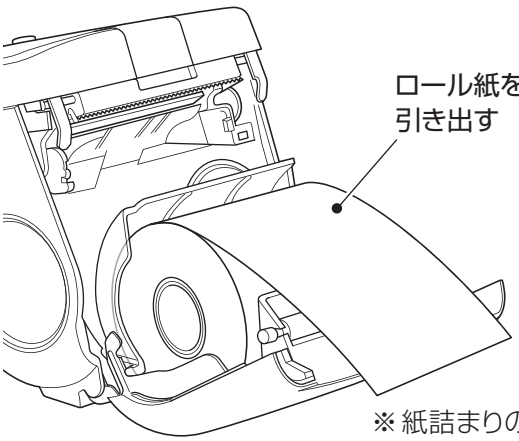
1 本体の電源を OFF にします。

Point
・サーマルヘッドが熱くなっていますので、必ず電源を OFF にしてください。

2 ロール紙カバーを開けます。

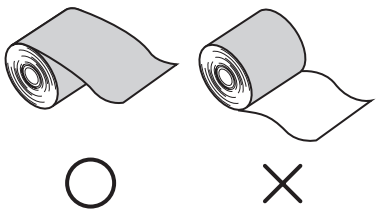


3 ロール紙フォルダにロール紙をセットします。



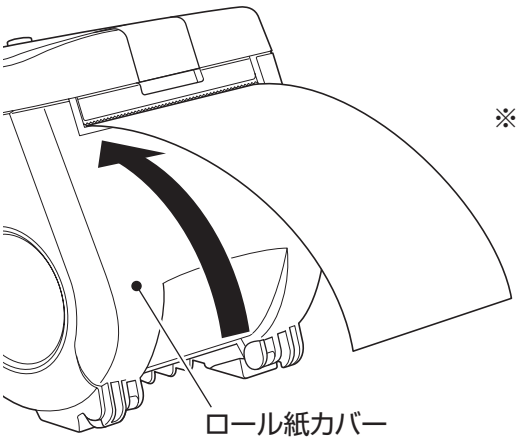
※紙詰まりの原因となりますので、ロール紙は**まっすぐ**に引き出した状態でセットしてください。

●ロール紙のセット方法
（向きを確認して入れてください。）



Point
・ロール紙は専用の用紙をご使用ください。（紙づまりの原因）
・ロール紙を入れた後、15 cm ほど、引き出してください。（新しいロール紙はのりやテープで貼り付けられているため、はじめの約 1 周分は使えません）
・ロール紙が変形しているときは、丸く整えてセットしてください。

4 「カチッ」と音がするまでロール紙カバーを閉めます。

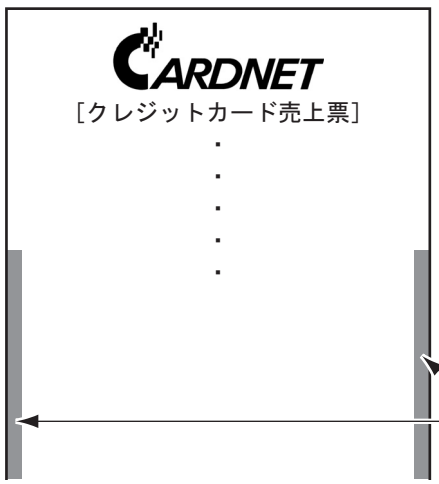


※ロール紙カバーを閉めた状態が不十分の場合は、ロール紙が出てこない場合があります。

5 端末を軽く押さえ、余分な紙を手前に引きながらカットします。

※紙詰まりの原因となりますので、図の方向以外へは引っ張らないでください。

●売上票に赤い帯が出てきたら・・・

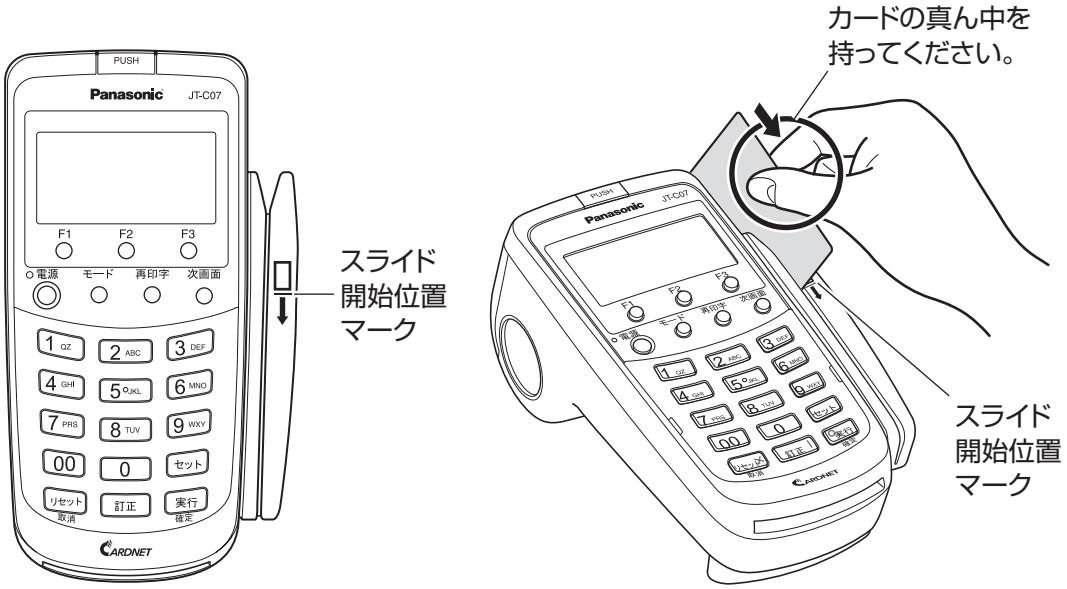


ロール紙が最後の 1 m ほどになると、売上票の両側に赤い帯が出てきます。
ここから取引約２回分の売上票を印字できますが、残り少ないロール紙のご使用は、プリンタ部の紙詰まりの原因となり、取引中のロール紙交換はお客様をお待たせすることにもなりますので、すみやかに新しいロール紙をセットしてください。

MEMO 感熱紙を使用するため、インクリボンの必要はありません。

2.5 カードの通し方

カードの真ん中を持ち、スライド開始位置マークからカードをスライドさせてください。



※スライド開始位置マークからカードをスライドさせてください。

2.6 会員番号非表示について

会員番号非表示とは、端末をお申し込みされたカード会社とのご契約により、カード番号（会員番号）の一部と有効期限を非表示にすることです。これは、個人情報保護の観点から個人情報の漏洩およびそれに起因する不正使用発生防止を目的としております。
対象となるのは売上票、中間計、日計表に印字されるカード番号（会員番号）と有効期限です。
なお、会員番号非表示は端末ごとの設定となりますので、ご利用になられるお取引はすべて会員番号非表示の対象となります。
実際の印字例は「会員番号非表示」（2-151 ページ）をご参照ください。

Point

- 会員番号非表示の場合において、カードのないクレジット取消返品を行う場合は、「マニュアル取消サポート機能」（2-50 ページ）を参照してください。
- 「マニュアル取消サポート機能」で取消返品が行えない場合は、売上票に印字されているカード会社（下図参照）にお問い合せください。
- 会員番号非表示に関してのご質問などは、端末をお申し込みされたカード会社へお問い合せください。

〈売上票〉

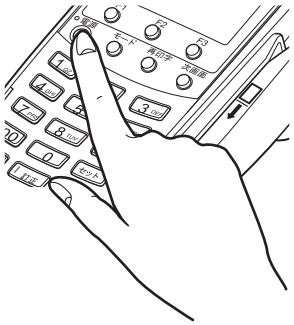
CARDNET
［クレジットカード売上票］
（データギャザ専用）
端末番号 00000 000 00000 R
ｶｰﾄﾞ会社 XXXXXXXXX (999)

3 開店前・閉店後の操作

3.1 開店前の操作

1 日の始めに行う操作手順を説明します。

1



電源ボタンを 2 秒以上押し、電源を ON にします。

Point
- 端末の側面に貼ってあるセキュリティシールを確認し、不正開封がされていないことを確認してください。

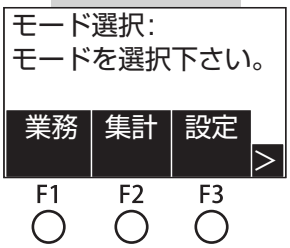
電源が ON されると、左の画面が一定時間表示され、操作 *2* の画面が表示されます。

2

パスワードが設定されている場合は、業務パスワードを入力し、セットキーを押します。

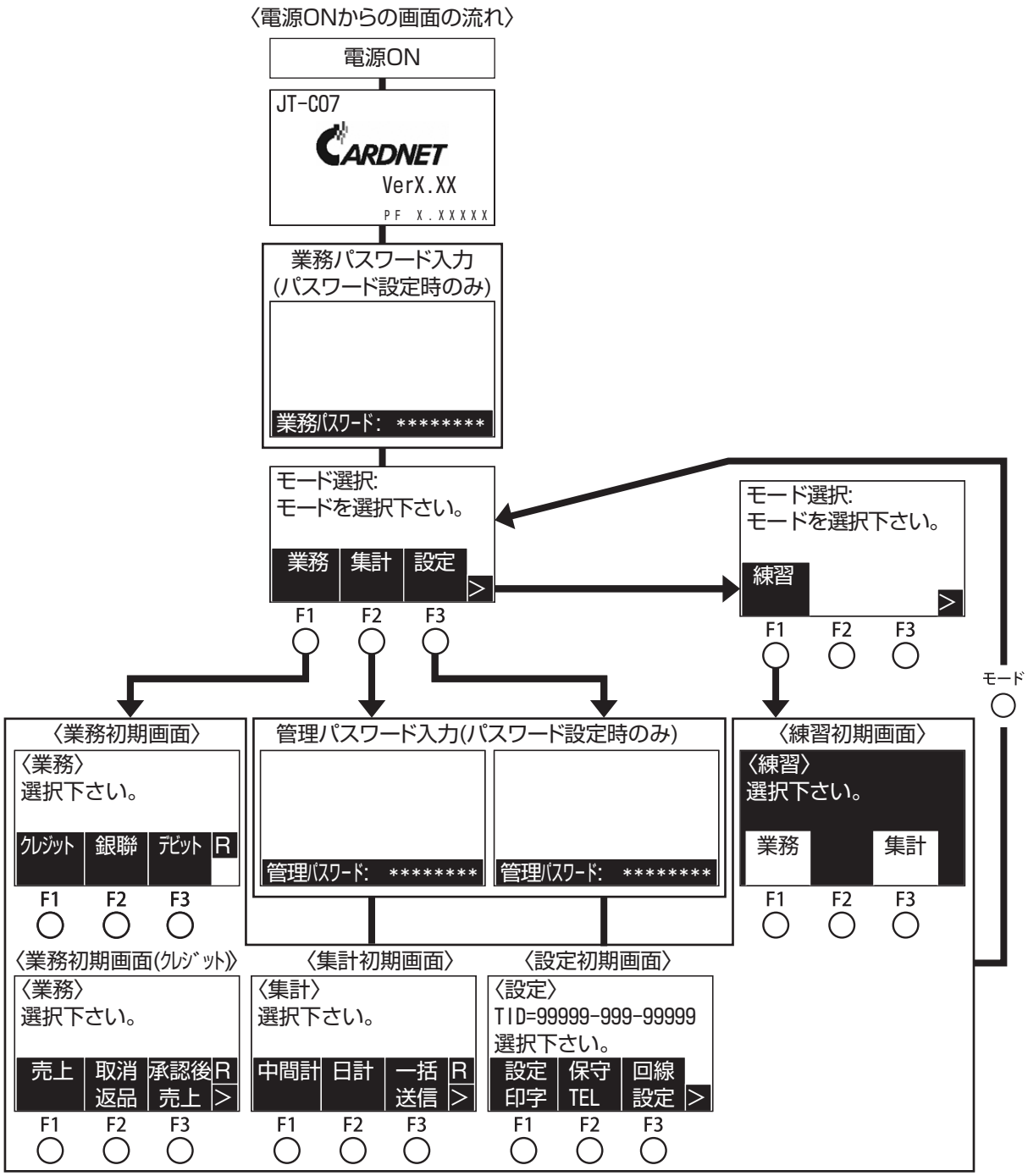
Point
- パスワードが設定されていない場合は、左の画面は表示されません。
- 入力したパスワードは「*」で表示されます。
  パスワードの設定方法は、「パスワード設定」（2-122 ページ）を参照してください。

3



モード選択画面が表示されます。

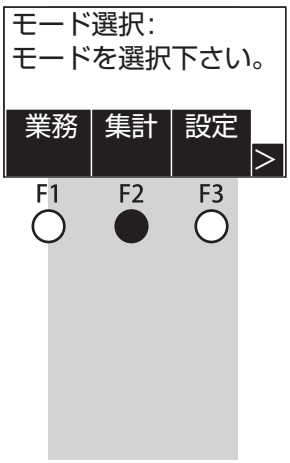
モードを選択して、業務を行ってください。


〈電源ONからの画面の流れ〉
電源ON
JT-C07
CARDNET
VerX.XX
PF X.XXXXX
業務パスワード入力
(パスワード設定時のみ)
業務ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ: ********
モード選択:
モードを選択下さい。
業務
集計
設定
>
F1
F2
F3
モード選択:
モードを選択下さい。
練習
>
F1
F2
F3
モード
〈業務初期画面〉
〈業務〉
選択下さい。
ｸﾚｼﾞｯﾄ
銀聯
ﾃﾞﾋﾞｯﾄ
R
F1
F2
F3
管理パスワード入力(パスワード設定時のみ)
管理ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ: ********
管理ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ: ********
〈練習初期画面〉
〈練習〉
選択下さい。
業務
集計
F1
F2
F3
〈業務初期画面(ｸﾚｼﾞｯﾄ)〉
〈業務〉
選択下さい。
売上
取消
返品
承認後
売上
R
>
F1
F2
F3
〈集計初期画面〉
〈集計〉
選択下さい。
中間計
日計
一括
送信
R
>
F1
F2
F3
〈設定初期画面〉
〈設定〉
TID=99999-999-99999
選択下さい。
設定
印字
保守
TEL
回線
設定
>
F1
F2
F3

3.2　閉店後の操作

1 日の終わりで、行う操作手順を説明します。

1



F2
○**（集計）キーを押して、日計処理を行います。**

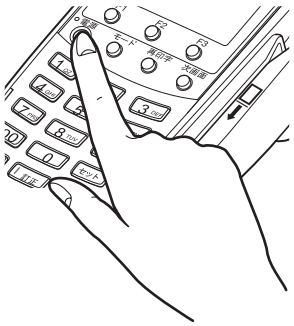
Point
・詳しくは、「日計業務」（2-92 ページ）を参照してください。

2

日計表の印字データを確認します。

Point
・詳しくは、「伝票印字例」の「日計／中間計表」（2-143 ページ）を参照してください。

3



電源ボタンを 2 秒以上押し、電源を OFF にします。

第2部

操作マニュアル編

1 販売業務

1.1 販売業務に入る前に

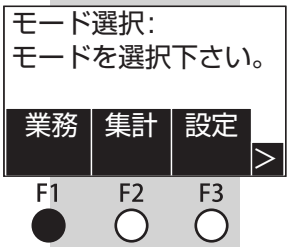
ここでは、日常の販売業務について説明します。
本機の操作手順は、本体ディスプレイ部に表示される入力メッセージにしたがってデータを入力してください。エラーが発生した場合もブザーとメッセージでお知らせします。
誤操作のときは、「誤操作に対する対応」（付 -1 ページ）を、エラーメッセージが表示されたときは、「エラーコード」（2-153 ページ）を参照してください。

1

電源を ON にします。パスワードが設定されている場合、業務パスワードを入力します。

2

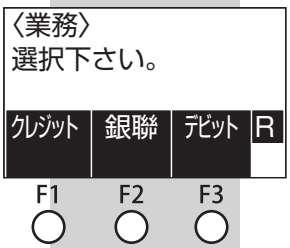
＜モード選択画面＞



F1（業務）キーを押すと、業務初期画面が表示されます。

3

＜業務初期画面＞

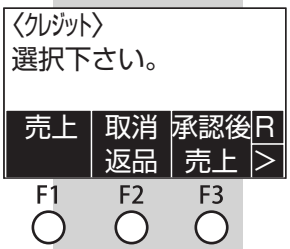


F1（クレジット）キー、F2（銀聯）キーまたはF3（デビット）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。

4

＜クレジットカード処理＞



クレジットの各販売業務は、左の画面から始めてください。

→ クレジット販売業務の操作へ

Point
- クレジット専用端末の場合、〈業務〉と表示されます。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。

＜銀聯カード処理＞

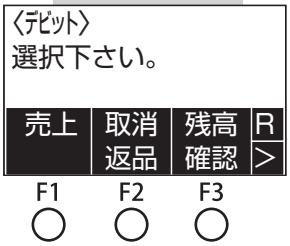
銀聯の各販売業務は、左の画面から始めてください。

→　銀聯販売業務の操作へ

Point

・再印字は、左の画面で有効です。

＜デビットカード処理＞



デビットの各販売業務は、左の画面から始めてください。

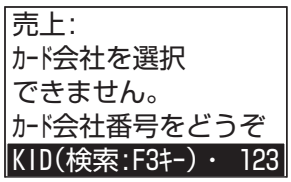
→　デビット販売業務の操作へ

Point

・再印字は、左の画面で有効です。

・設定によって、F3 ○（残高確認）キーは、表示されない場合があります。

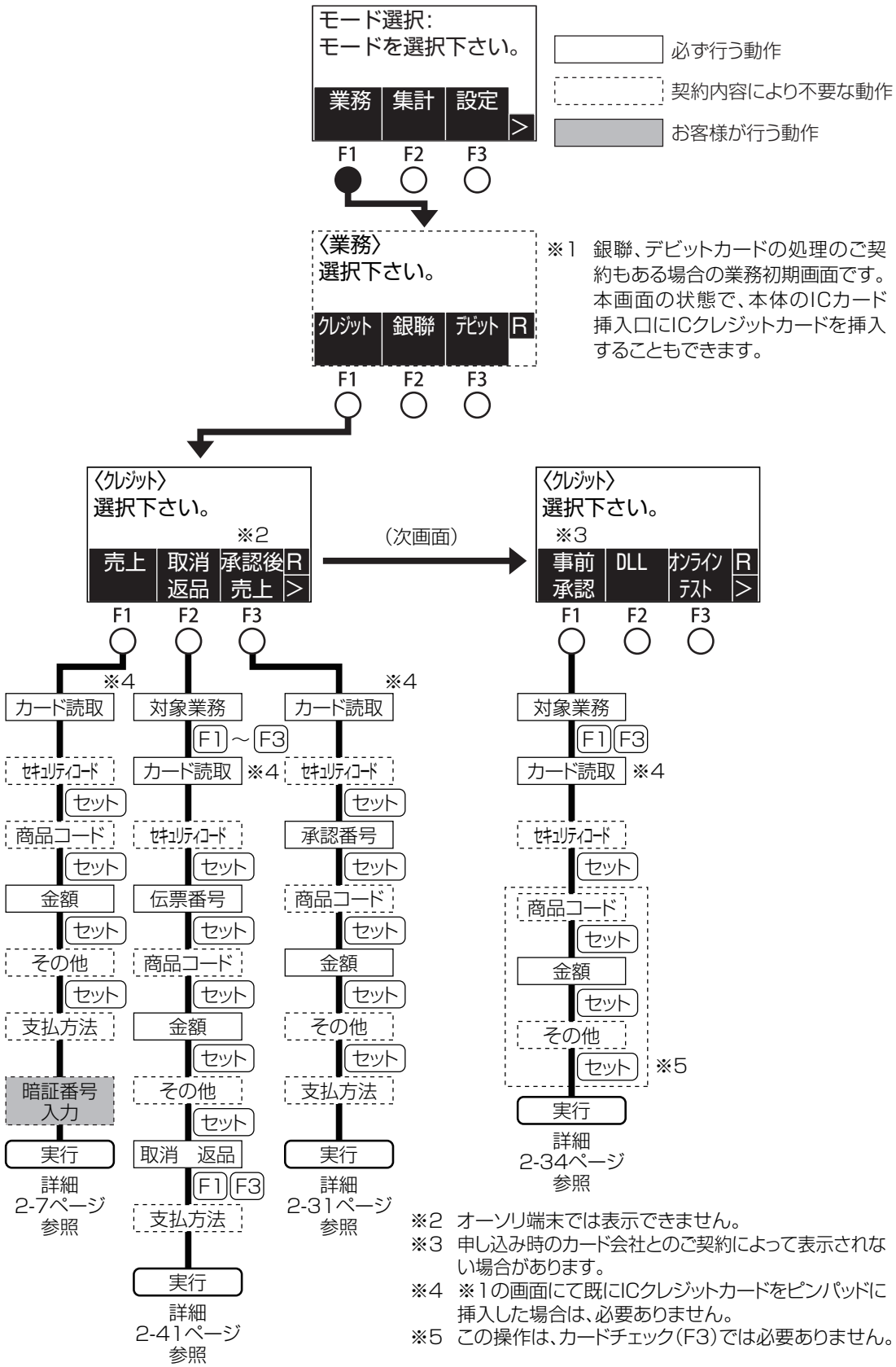
＊操作手順の中で、異なるメッセージが表示されることがあります。
これはカード会社の運営形態に差異があるためで、故障ではありませんので表示されたメッセージにしたがって操作してください。
クレジットカードに磁気ストライプが入っていない場合や、磁気ストライプが読み取れない場合には、カード情報を手動で入力します。詳しくは、「カード情報の手動入力（マニュアル入力）」（2-84 ページ）を参照してください。



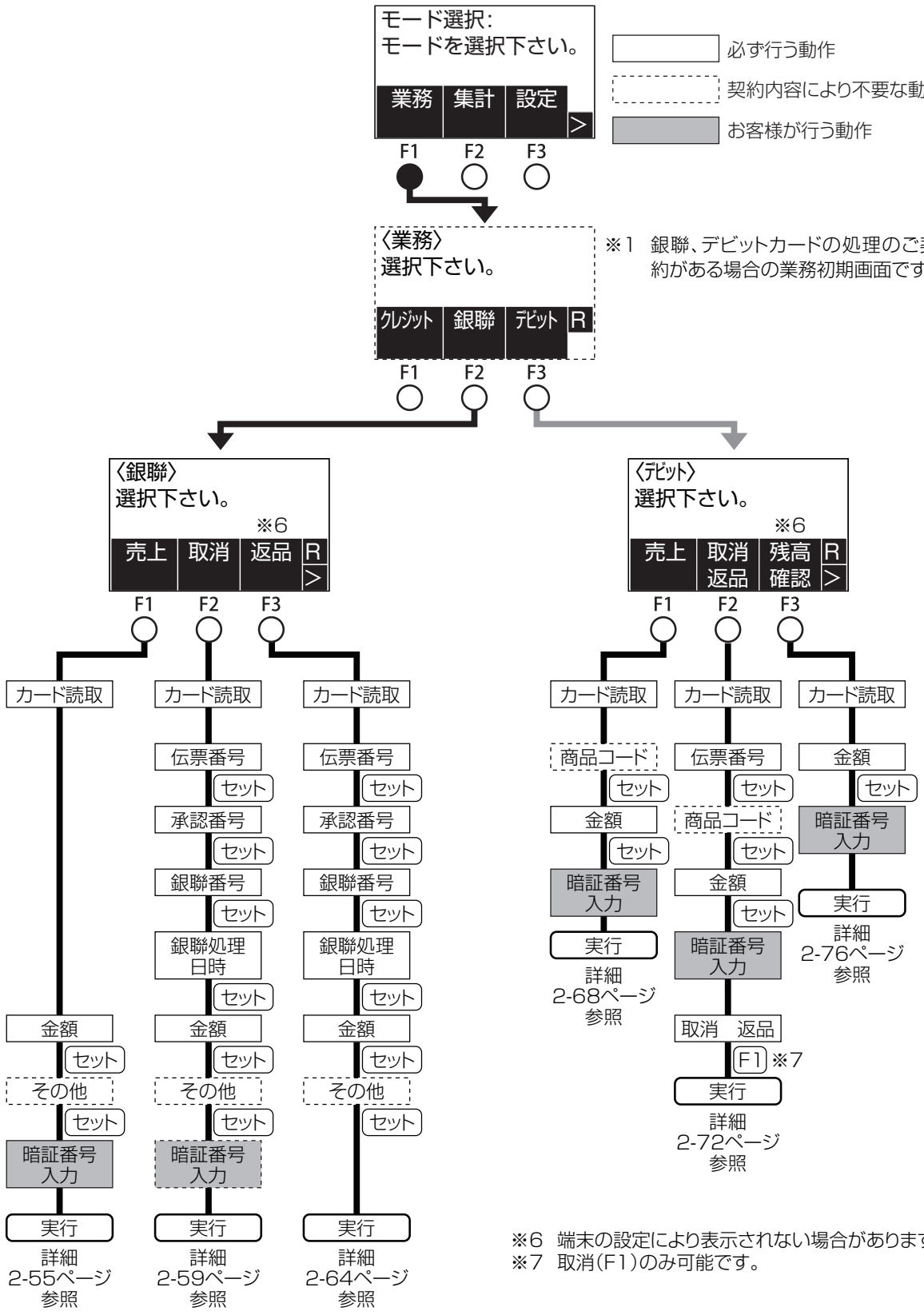
クレジットカードを読み取った場合でも、本機に登録されていないカード会社のカードの場合は、左の画面が表示されます。
この場合は、カード会社番号（KID）を入力することにより、取引が可能となることがあります。
詳しくは、「KID 入力（カード会社番号入力）」（2-87 ページ）を参照してください。

販売業務での処理の一覧を以下に示します。

業　務　名		処　　理	ページ
クレジット売上	売上共通の操作	売上取引の操作（業務初期画面から支払方法選択まで） ※支払方法選択以降は次の処理を参照してください	2-7
	一括払い	お客様が一括払いを利用される場合	2-13
	分割払い	お客様が分割払いを利用される場合	2-16
	ボーナス払い	お客様がボーナス払いを利用される場合	2-20
	ボーナス併用払い	お客様がボーナス併用払いを利用される場合	2-24
	リボルビング払い	お客様がリボルビング払いを利用される場合	2-28
クレジット承認後売上	承認後売上	電話等でカード会社から承認を得た後に行う売上取引の操作　※オーソリ専用端末にはクレジット承認後売上の機能はありません	2-31
クレジット事前承認	オーソリ予約	事前に、取引金額でご利用可能かをカード会社に確認する操作	2-34
	カードチェック	お客様のカードがご利用可能かをカード会社に確認する操作	2-38
クレジット取消返品	売上 / 承認後売上取消	売上または承認後売上で完了した取引の取消取引の操作	2-41
	オーソリ予約取消	オーソリ予約で完了した取引の取消取引の操作	2-46
銀聯売上		お客様が銀聯カードを使って支払われる場合の操作	2-55
銀聯取消		銀聯売上で完了した取引の取消取引の操作 当日の売上に対する全額取消のみ可能	2-59
銀聯返品		銀聯売上で完了した取引の返品取引の操作 銀聯返品では、当日以外の売上に対する返品となり、全額返品・一部金額返品のいずれかも可能です。	2-64
デビット売上		お客様がデビットカードを使って支払われる場合の操作	2-68
デビット取消		デビット売上で完了した取引の取消取引の操作	2-72
デビット残高確認		お客様のデビットカードがご利用可能かを確認する操作	2-76
カード会社からの最新情報の受取り（DLL）		カード会社から変更情報など最新の情報を受け取る操作	2-80
オンラインテスト		端末機と CARDNET センタとのオンライン通信を確認する操作	2-82
カード情報の手動入力（マニュアル入力）	マニュアル入力	カードが読み取れない場合やカードがない場合に行う手動入力の操作	2-84
	KID 入力 (カード会社番号入力)	カード入力操作でカード会社の判定ができない場合にカード会社番号を入力する操作	2-87



※2　オーソリ端末では表示できません。
※3　申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。
※4　※1の画面にて既にICクレジットカードをピンパッドに挿入した場合は、必要ありません。
※5　この操作は、カードチェック(F3)では必要ありません。



※6 端末の設定により表示されない場合があります。
※7 取消(F1)のみ可能です。

1.2 クレジット業務

1.2.1 クレジット売上処理

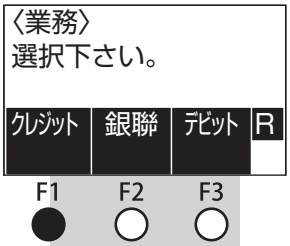
■売上共通の操作（IC クレジットカード取り扱いの場合）

「IC チップ」付のクレジットカード（以降、「IC クレジットカード」という）のお取り扱い時は、本機にて「IC クレジットカード取引」処理を行います。

Point ご利用できる IC クレジットカードの種類については、カード会社へ問い合わせてください。

1

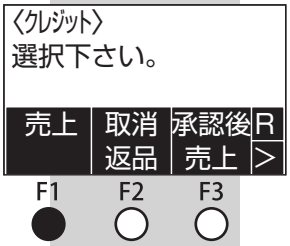
＜本体画面＞



F1 ○（クレジット）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- クレジット専用端末の場合は、左の画面が表示されません。

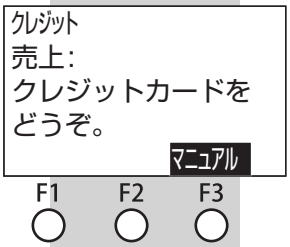
2



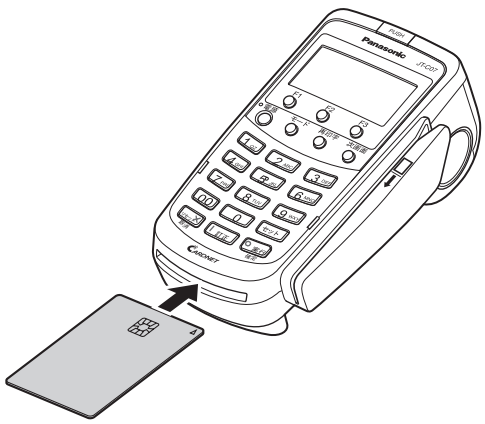
F1 ○（売上）キーを押します。

Point
- クレジット専用端末の場合、〈業務〉と表示されます。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。

3



お客様の IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入します。



Point

一部の IC クレジットカードについては、IC カード挿入時に次のメッセージが表示されます。
その場合、お客様のカードを本体の磁気カードリーダにすばやく通します。

＜本体画面＞

I17:ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ選択ｴﾗｰ 磁気カードリーダで 処理を行って下さい。	I18:ﾃｰﾌﾞﾙ未登録(IC) 磁気カードリーダで 処理を行って下さい。 リセットキーをどうぞ	I25:ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ選択ｴﾗｰ 磁気カードリーダで 処理を行って下さい。 リセットキーをどうぞ
I29:最終処理選択ｴﾗｰ 磁気カードリーダで 処理を行って下さい。 リセットキーをどうぞ	I30:最終処理選択ｴﾗｰ 磁気カードリーダで 処理を行って下さい。	

4

ｸﾚｼﾞｯﾄ
売上:

商品ｺｰﾄﾞ・・・・　123

商品コードを入力し、セットキーを押します。
（「商品区分コード」（付 -15 ページ）参照）

Point

- 申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。
- 商品コードを 3 桁で入力します。
- 入力を省略する場合は、セットキーのみを押します。
- なお、入力画面の有無を変更する場合は、「IC 業務設定」（2-118 ページ）を参照してください。

5

ｸﾚｼﾞｯﾄ
売上:

商品ｺｰﾄﾞ・・・・　123
金額・・・¥1,234,567

商品の金額を入力し、セットキーを押します。

Point

- 金額は、7 桁まで入力できます。

6

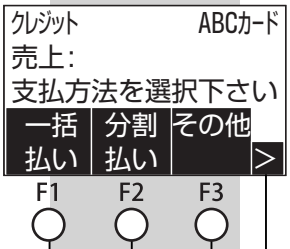
ｸﾚｼﾞｯﾄ
売上:
商品ｺｰﾄﾞ・・・・　123
金額・・・¥1,234,567
その他・・　¥123,456

その他を入力し、セットキーを押します。

Point

- 申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。
- その他は、6 桁まで入力できます。
- なお、入力画面の有無を変更する場合は、「IC 業務設定」（2-118 ページ）を参照してください。

7 (1)



支払方法を選択します。
お客様が指定された支払方法の選択キーを押します。

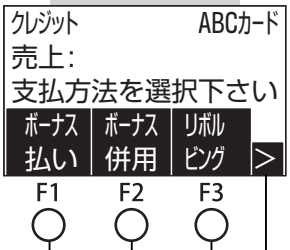
Point
- 左の画面の選択表示は、カード会社によって使用できない支払方法もあります。
- お客様のカードのカード会社名が画面右上に表示されます。

F3 ○ その他または 次画面 ○（次画面）の場合　：次画面〔操作**7**(2)〕

F2 ○ 分割払いの場合　：2-16 ページ参照

F1 ○ 一括払いの場合　：2-13 ページ参照

(2)



支払方法を選択します。
お客様が指定された支払方法の選択キーを押します。

Point
- 左の画面の選択表示は、カード会社によって使用できない支払方法もあります。
- お客様のカードのカード会社名が画面右上に表示されます。

次画面 ○（次画面）の場合　：前画面〔操作**7**(1)〕

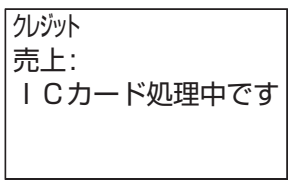
F3 ○ リボルビング払いの場合　：2-28 ページ参照

F2 ○ ボーナス併用払いの場合　：2-24 ページ参照

F1 ○ ボーナス払いの場合　：2-20 ページ参照

MEMO

操作 ***3***、***6*** の画面が表示されたあと、右の画面が表示される場合があります。



■売上共通の操作（磁気クレジットカード取り扱いの場合）

1

＜本体画面＞

〈業務〉
選択下さい。

クレジット	銀聯	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ	R

F1 ● F2 ○ F3 ○

F1
○（クレジット）キーを押します。

Point

- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- クレジット専用端末の場合は、左の画面が表示されません。

2

〈ｸﾚｼﾞｯﾄ〉
選択下さい。

売上	取消 返品	承認後 売上	R >

F1 ● F2 ○ F3 ○

F1
○（売上）キーを押します。

Point

- クレジット専用端末の場合、〈業務〉と表示されます。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。

3

ｸﾚｼﾞｯﾄ
売上:
クレジットカードを
どうぞ。

マニュアル

F1 ○ F2 ○ F3 ○

お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

Point

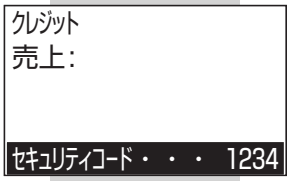
カードの通し方

※スライド開始位置マークからカードをスライドさせてください。

- F3
○（マニュアル）キーを押すと、カード情報の手動入力ができます。詳しくは、「クレジットの手動入力動作」（2-84 ページ）を参照してください。
- IC クレジットカードの場合、下の画面が表示されることがあります。その場合は、IC カード挿入口に IC クレジットカードを挿入してください。（2-7 ページ参照）

102:ｻｰﾋﾞｽｺｰﾄﾞﾁｪｯｸｴﾗｰ ICカード挿入口にカードを差し込んで下さい

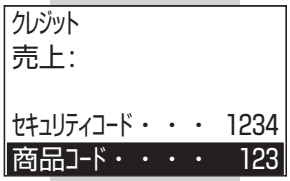
4



お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力し、セットキーを押します。

Point
- 申し込み時のカード会社とのご契約によって、左の画面が表示されない場合があります。
- セキュリティコードは４桁まで入力できます。
- 次の場合は、セットキーのみを押してください。セキュリティコードの入力をスキップすることができます。
  - セキュリティコードが不明な場合
  - セキュリティコードの入力を省略する場合
- セキュリティコードについてご不明な場合は、ご契約されているカード会社へ問い合わせてください。

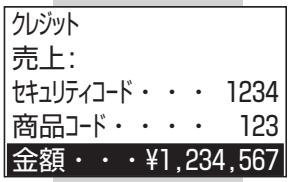
5



商品コードを入力し、セットキーを押します。
（「商品区分コード」（付 -15 ページ）参照）

Point
- 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。
- 商品コードを３桁で入力します。
  入力を省略する場合は、セットキーのみを押します。

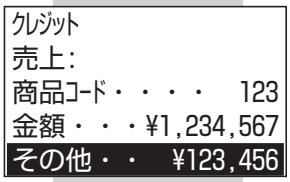
6



商品の金額を入力し、セットキーを押します。

Point
- 金額は、７桁まで入力できます。

7

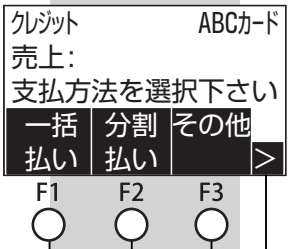


その他を入力し、セットキーを押します。

Point
- 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。
- その他は、６桁まで入力できます。

8

(1)



支払方法を選択します。
お客様が指定された支払方法の選択キーを押します。

Point

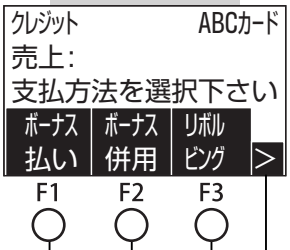
・ 左の画面の選択表示は、カード会社によって使用できない支払方法もあります。
・ お客様のカードのカード会社名が画面右上に表示されます。

F3
○その他または 次画面 ○（次画面）の場合　：次画面〔操作**8**(2)〕

F2
○分割払いの場合　：2-16 ページ参照

F1
○一括払いの場合　：2-13 ページ参照

(2)



支払方法を選択します。
お客様が指定された支払方法の選択キーを押します。

Point

・ 左の画面の選択表示は、カード会社によって使用できない支払方法もあります。
・ お客様のカードのカード会社名が画面右上に表示されます。

次画面
○（次画面）の場合　：前画面〔操作**8**(1)〕

F3
○リボルビング払いの場合　：2-28 ページ参照

F2
○ボーナス併用払いの場合　：2-24 ページ参照

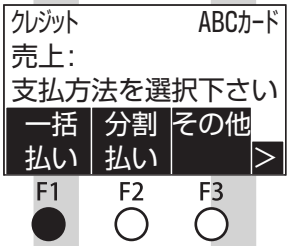
F1
○ボーナス払いの場合　：2-20 ページ参照

■一括払い

お客様が一括払いを利用される場合の操作について説明します。

〈磁気クレジットカードの場合〉〈IC クレジットカードの場合〉

1



F1（一括払い）キーを押します。

一括払い
金額・・　¥1,358,023
暗証番号を入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号**********

暗証番号入力が必要な場合、左の画面が表示されます。お客様に本体の数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。
入力された暗証番号は「＊」で表示されます。最後に実行キーを押していただきます。

Point

- ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合、「付 3 ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作」（付 -7 ページ）を参照してください。
- 暗証番号入力が不要な場合もあります。
- 暗証番号入力制限時間（設定方法は 2-109 ページ参照）を超えた、または 60 秒間キー入力がなかった場合はタイムアウトとなってしまいますので、ご注意ください。

暗証番号の確認完了
ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を
係員にお戻し下さい。

暗証番号確認が終了すると、左の画面が表示され、お客様に本体を返していただきます。

Point

- 暗証番号入力後も、IC クレジットカードとの通信がありますので、IC クレジットカードを引き抜かないでください。
- お客様ご本人の確認を暗証番号で行った場合は、サイン（署名）は不要です。伝票上に「暗証番号は確認済みです」と印字されますので確認してください。

2

クレジット　　ABCカード
売上:　　一括払い
実行キーをどうぞ。

実行キーを押します。

3

センタと通信中です。
→　→　→　→

センタとの通信が開始されます。

Point
・通信を開始すると、左の画面が表示されます。
・「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。
通信が終了すると、操作 ***4*** の画面が表示されます。

4

センタとの通信を
終了しました。

センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

5

1枚目を印字中です。

1 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-135 ページを参照してください。)

6

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)
カードを抜いて下さい

1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point
・サイン（署名）が必要な場合は、1 枚目を切取り後、お客様にサインをいただきます。
・F3 ◯キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。
・IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

7

2枚目を印字中です。

2 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-136 ページを参照してください。)

8

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)
カードを抜いて下さい

2 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。2 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- カードと２枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。(IC クレジットカードでの取引の場合は、IC クレジットカードを抜いてください。)
- F3 キーを押すと、２枚目を再印字することができます。
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

9

3枚目を印字中です。

3枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-137 ページを参照してください。)

10

3枚目を印字しました
切り取って下さい。

カードを抜いて下さい

3 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

Point

- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。
- IC クレジットカードが残ったままの場合は、下記の画面が表示されます。IC クレジットカードを抜いてお客様にお返しします。

カードを抜いて 下さい。	JMT:カードお取り忘れ カードを抜いた後 リセットキーをどうぞ

11

〈業務〉
選択下さい。

ｸﾚｼﾞｯﾄ	銀聯	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ	R

F1　F2　F3

伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

Point

- 業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。

〈業務〉
選択下さい。

売上	取消 返品	承認後 売上	R >

F1　F2　F3

■ 分割払い

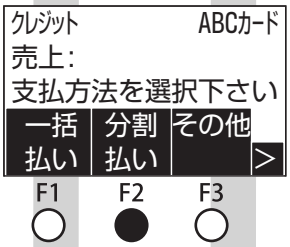
お客様が分割払いを利用される場合の操作について説明します。

Point

分割払いには２パターンあります。
パターン１ ..... 支払開始月と分割回数を入力する方法
パターン２ ..... 支払開始月と分割回数と初回金額を入力する方法
このパターンは、各カード会社に応じてかわります。画面に応じて対応してください。
支払開始月、分割回数、初回金額が不明な場合は、該当カード会社へ問い合わせてください。

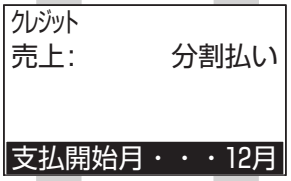
〈磁気クレジットカードの場合〉〈IC クレジットカードの場合〉

1



F2
○（分割払い）キーを押します。

2

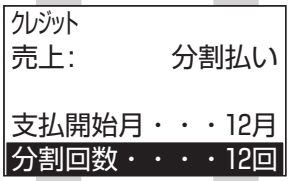


支払開始月を入力し、セットキーを押します。

Point

- 使用されるカードによって、左の画面が表示されないことがあります。
- 入力を省略する場合は、セットキーのみ押します。

3



分割回数を入力し、セットキーを押します。

Point

- 分割回数は、２桁まで入力できます。

4

初回金額を入力し、セットキーを押します。

Point

- 初回金額入力が必要な場合は、左の画面が表示されます。
- 初回金額は、７桁まで入力できます。

分割払い
金額・・・¥1,358,023
暗証番号を入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号**********

暗証番号入力が必要な場合、左の画面が表示されます。お客様に本体の数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。
入力された暗証番号は「＊」で表示されます。最後に[実行]キーを押していただきます。

Point
- ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合、「付 3 ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作」（付 -7 ページ）を参照してください。
- 暗証番号入力が不要な場合もあります。
- 暗証番号入力制限時間（設定方法は 2-109 ページ参照）を超えた、または 60 秒間キー入力がなかった場合はタイムアウトとなってしまいますので、ご注意ください。

暗証番号の確認完了
ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を
係員にお戻し下さい。

暗証番号確認が終了すると、左の画面が表示され、お客様に本体を返していただきます。

Point
- 暗証番号入力後も、IC クレジットカードとの通信がありますので、IC クレジットカードを引き抜かないでください。
- お客様ご本人の確認を暗証番号で行った場合は、サイン（署名）は不要です。伝票上に「暗証番号は確認済みです」と印字されますので確認してください。

5

ｸﾚｼﾞｯﾄ　　ABCｶｰﾄﾞ
売上:　　分割払い
実行キーをどうぞ。

[実行]キーを押します。

6

センタと通信中です。
→　→　→　→

センタとの通信が開始されます。

Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。通信が終了すると、操作 ***7*** の画面が表示されます。

7

センタとの通信を
終了しました。

センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

8

1枚目を印字中です。

1 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-135 ページを参照してください。)

9

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)
カードを抜いて下さい

1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- サイン（署名）が必要な場合は、1 枚目を切取り後、お客様にサインをいただきます。
- F3 キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

10

2枚目を印字中です。

2 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-136 ページを参照してください。)

11

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)
カードを抜いて下さい

2 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。2 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- カードと 2 枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。(IC クレジットカードでの取引の場合は、IC クレジットカードを抜いてください。)
- F3 キーを押すと、2 枚目を再印字することができます。
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

12

```
3枚目を印字中です。
```

３枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-137 ページを参照してください。)

13

```
3枚目を印字しました
切り取って下さい。

カードを抜いて下さい
```

３枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

Point

- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。
- IC クレジットカードが残ったままの場合は、下記の画面が表示されます。IC クレジットカードを抜いてお客様にお返しします。

```
カードを抜いて
下さい。
```

```
JMT:カードお取り忘れ

カードを抜いた後
リセットキーをどうぞ
```

14

```
〈業務〉
選択下さい。

ｸﾚｼﾞｯﾄ | 銀聯 | ﾃﾞﾋﾞｯﾄ | R
  F1      F2      F3
```

伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

Point

- 業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。

```
〈業務〉
選択下さい。

売上 | 取消 返品 | 承認後 売上 | R >
 F1      F2          F3
```

■ ボーナス払い

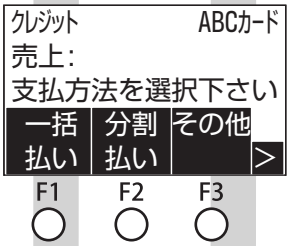
お客様がボーナス払いを利用される場合の操作について説明します。

Point

ボーナス払いには３パターンあります。
パターン１ ..... ボーナス払いを選択するだけの方法
パターン２ ..... ボーナス払い回数のみ入力する方法
パターン３ ..... ボーナス払い回数とその月を入力する方法
このパターンは、各カード会社に応じてかわります。画面に応じて対応してください。
ボーナス回数、ボーナス月が不明な場合は、該当カード会社へ問い合わせてください。

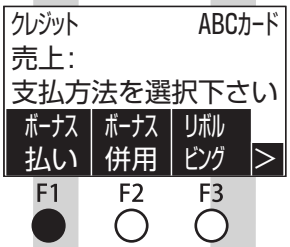
〈磁気クレジットカードの場合〉〈IC クレジットカードの場合〉

1



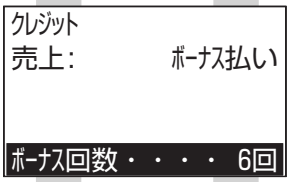
F3 ○（その他）または 次画面 ○（次画面）キーを押します。

2



F1 ○（ボーナス払い）キーを押します。

3

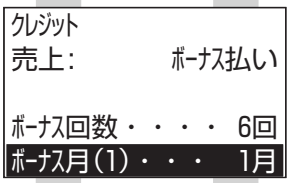


ボーナス回数を入力し、セットキーを押します。

Point

・ ボーナス回数が必要な場合は、左の画面が表示されます。
・ ボーナス回数は、２桁まで入力できます。

4



ボーナス月を入力し、セットキーを押します。

Point

・ ボーナス月の入力が必要な場合は、左の画面が表示されます。（ボーナス回数分の入力が可能です。）
・ 実際のボーナス請求順は、入力順と異なる場合があります。（カード会社により異なります。）
・ ボーナス回数分の入力が必要ない場合、セットキーのみ押してスキップしてください。

ﾎﾞｰﾅｽ払い
金額・・・¥1,358,023
暗証番号を入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号**********

暗証番号入力が必要な場合、左の画面が表示されます。お客様に本体の数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。
入力された暗証番号は「＊」で表示されます。最後に[実行]キーを押していただきます。

Point
- ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合、「付 3 ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作」（付 -7 ページ）を参照してください。
- 暗証番号入力が不要な場合もあります。
- 暗証番号入力制限時間（設定方法は 2-109 ページ参照）を超えた、または 60 秒間キー入力がなかった場合はタイムアウトとなってしまいますので、ご注意ください。

暗証番号の確認完了
ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を
係員にお戻し下さい。

暗証番号確認が終了すると、左の画面が表示され、お客様に本体を返していただきます。

Point
- 暗証番号入力後も、IC クレジットカードとの通信がありますので、IC クレジットカードを引き抜かないでください。
- お客様ご本人の確認を暗証番号で行った場合は、サイン（署名）は不要です。伝票上に「暗証番号は確認済みです」と印字されますので確認してください。

5

ｸﾚｼﾞｯﾄ　　ABCｶｰﾄﾞ
売上:　　ﾎﾞｰﾅｽ払い
実行キーをどうぞ。

[実行]キーを押します。

6

センタと通信中です。
→　→　→　→

センタとの通信が開始されます。

Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。通信が終了すると、操作 ***7*** の画面が表示されます。

7

センタとの通信を
終了しました。

センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

8

1枚目を印字中です。

1 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-135 ページを参照してください。)

9

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)
カードを抜いて下さい

1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- サイン（署名）が必要な場合は、1 枚目を切取り後、お客様にサインをいただきます。
- F3 ◯キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

10

2枚目を印字中です。

2 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-136 ページを参照してください。)

11

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)
カードを抜いて下さい

2 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。2 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- カードと 2 枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。(IC クレジットカードでの取引の場合は、IC クレジットカードを抜いてください。)
- F3 ◯キーを押すと、2 枚目を再印字することができます。
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

12

3枚目を印字中です。

３枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-137 ページを参照してください。)

13

3枚目を印字しました
切り取って下さい。

カードを抜いて下さい

３枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

Point

・IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。
・IC クレジットカードが残ったままの場合は、下記の画面が表示されます。IC クレジットカードを抜いてお客様にお返しします。

カードを抜いて 下さい。	JMT:カードお取り忘れ カードを抜いた後 リセットキーをどうぞ

14

〈業務〉
選択下さい。

ｸﾚｼﾞｯﾄ	銀聯	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ	R

F1　F2　F3

伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

Point

・業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
・オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。

〈業務〉
選択下さい。

売上	取消 返品	承認後 売上	R >

F1　F2　F3

■ ボーナス併用払い

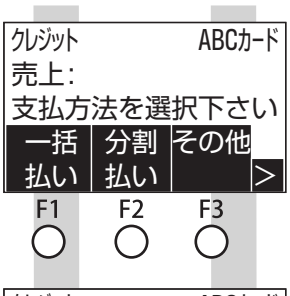
お客様がボーナス併用払いを利用される場合の操作について説明します。

Point

ボーナス併用払いには２パターンあります。
パターン１ ..... 支払開始月と分割回数を入力する方法
パターン２ ..... 支払開始月と分割回数とボーナス回数とその回数に応じたボーナス月、ボーナス金額を入力する方法
このパターンは、各カード会社に応じてかわります。画面に応じて対応してください。
また、支払開始月、分割回数、ボーナス回数、ボーナス月、ボーナス金額が不明な場合は、該当カード会社へ問い合わせてください。さい。

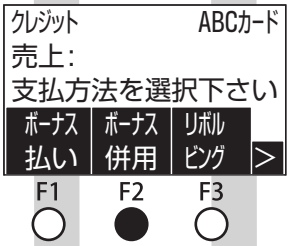
〈磁気クレジットカードの場合〉〈IC クレジットカードの場合〉

1



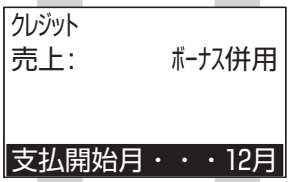
F3 ○（その他）または 次画面 ○（次画面）キーを押します。

2



F2 ○（ボーナス併用払い）キーを押します。

3

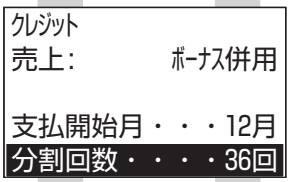


支払開始月を入力し、セットキーを押します。

Point

・使用されるカードによって、左の画面が表示されないことがあります。
・入力を省略する場合は、セットキーのみ押します。

4

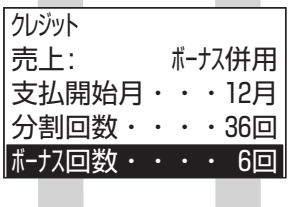


分割回数を入力し、セットキーを押します。

Point

・分割回数は、２桁まで入力できます。

5



ボーナス回数を入力し、セットキーを押します。

Point

・ボーナス回数入力が必要な場合は、左の画面が表示されます。
・ボーナス回数は、２桁まで入力できます。

6

クレジット
売上:　　ボーナス併用
分割回数・・・・36回
ボーナス回数・・・・　6回
ボーナス月(1)・・・　7月

ボーナス月を入力し、セットキーを押します。

Point
- ボーナス月の入力が必要な場合は、左の画面が表示されます。（ボーナス回数分の入力が可能です。）
- 実際のボーナス請求順は、入力順と異なる場合があります。（カード会社により異なります。）
- ボーナス回数分の入力が必要ない場合、セットキーのみ押してスキップしてください。

7

クレジット
売上:　　ボーナス併用
ボーナス回数・・・・　6回
ボーナス月(1)・・・　7月
ボーナス金額・¥1,234,567

ボーナス金額を入力し、セットキーを押します。

Point
- ボーナス金額は、7 桁まで入力できます。
- 操作 ***6*** のボーナス月入力、操作 ***7*** のボーナス金額入力は、入力したボーナス回数分入力ができます。

ボーナス併用
金額・・・¥1,358,023
暗証番号を入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号**********

暗証番号入力が必要な場合、左の画面が表示されます。お客様に本体の数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。
入力された暗証番号は「＊」で表示されます。最後に実行キーを押していただきます。

Point
- ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合、「付 3 ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作」（付 -7 ページ）を参照してください。
- 暗証番号入力が不要な場合もあります。
- 暗証番号入力制限時間（設定方法は 2-109 ページ参照）を超えた、または 60 秒間キー入力がなかった場合はタイムアウトとなってしまいますので、ご注意ください。

暗証番号の確認完了
ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を
係員にお戻し下さい。

暗証番号確認が終了すると、左の画面が表示され、お客様に本体を返していただきます。

Point
- 暗証番号入力後も、IC クレジットカードとの通信がありますので、IC クレジットカードを引き抜かないでください。
- お客様ご本人の確認を暗証番号で行った場合は、サイン（署名）は不要です。伝票上に「暗証番号は確認済みです」と印字されますので確認してください。

8

クレジット　　ABCカード
売上:　　ボーナス併用
実行キーをどうぞ。

実行キーを押します。

9

センタと通信中です。
→　→　→　→

センタとの通信が開始されます。

Point

・通信を開始すると、左の画面が表示されます。
・「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。
通信が終了すると、操作 ***10*** の画面が表示されます。

10

センタとの通信を
終了しました。

センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

11

1枚目を印字中です。

1 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-135 ページを参照してください。)

12

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)
カードを抜いて下さい

1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

・サイン（署名）が必要な場合は、1 枚目を切取り後、お客様にサインをいただきます。
・F3 ◯キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。
・IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

13

2枚目を印字中です。

2 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-136 ページを参照してください。)

14

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)
カードを抜いて下さい

２枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。２枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point
- カードと２枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。(IC クレジットカードでの取引の場合は、IC クレジットカードを抜いてください。)
- F3 ◯キーを押すと、２枚目を再印字することができます。
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

15

3枚目を印字中です。

３枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-137 ページを参照してください。)

16

3枚目を印字しました
切り取って下さい。

カードを抜いて下さい

３枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

Point
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。
- IC クレジットカードが残ったままの場合は、下記の画面が表示されます。IC クレジットカードを抜いてお客様にお返しします。

カードを抜いて 下さい。	JMT:カードお取り忘れ カードを抜いた後 リセットキーをどうぞ

17

〈業務〉
選択下さい。

ｸﾚｼﾞｯﾄ	銀聯	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ	R

F1 F2 F3

伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

Point
- 業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。

〈業務〉
選択下さい。

売上	取消 返品	承認後 売上	R >

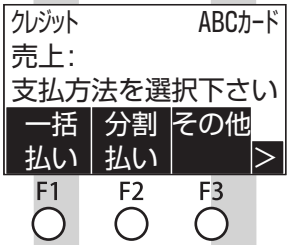
F1 F2 F3

■ リボルビング払い

お客様がリボルビング払いを利用される場合の操作について説明します。

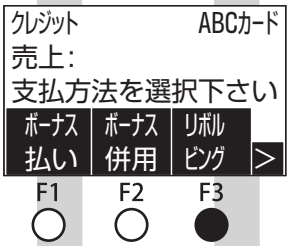
〈磁気クレジットカードの場合〉〈IC クレジットカードの場合〉

1

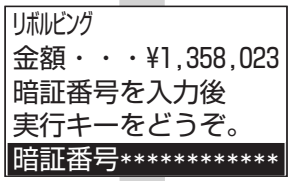


F3 ○（その他）または 次画面 ○（次画面）キーを押します。

2



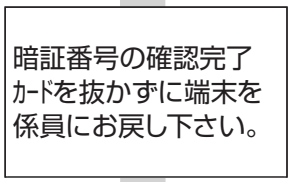
F3 ○（リボルビング払い）キーを押します。



暗証番号入力が必要な場合、左の画面が表示されます。お客様に本体の数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。
入力された暗証番号は「＊」で表示されます。最後に 実行 キーを押していただきます。

Point

- ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合、「付 3 ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作」（付 -7 ページ）を参照してください。
- 暗証番号入力が不要な場合もあります。
- 暗証番号入力制限時間（設定方法は 2-109 ページ参照）を超えた、または 60 秒間キー入力がなかった場合はタイムアウトとなってしまいますので、ご注意ください。

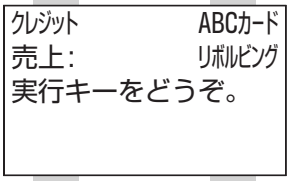


暗証番号確認が終了すると、左の画面が表示され、お客様に本体を返していただきます。

Point

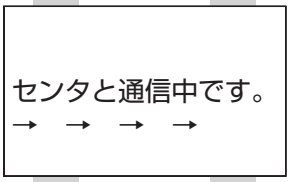
- 暗証番号入力後も、IC クレジットカードとの通信がありますので、IC クレジットカードを引き抜かないでください。
- お客様ご本人の確認を暗証番号で行った場合は、サイン（署名）は不要です。伝票上に「暗証番号は確認済みです」と印字されますので確認してください。

3



実行キーを押します。

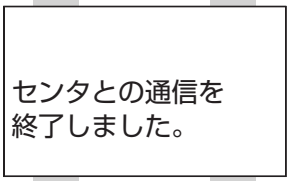
4



センタとの通信が開始されます。

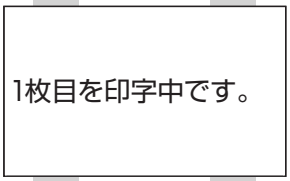
Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。通信が終了すると、操作 ***5*** の画面が表示されます。

5



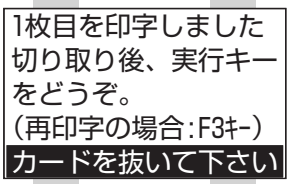
センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

6



1 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-135 ページを参照してください。)

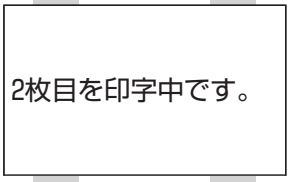
7



1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point
- サイン（署名）が必要な場合は、1 枚目を切取り後、お客様にサインをいただきます。
- F3 ◯キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

8



2 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-136 ページを参照してください。)

9

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)
カードを抜いて下さい

2 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。2 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- カードと 2 枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。(IC クレジットカードでの取引の場合は、IC クレジットカードを抜いてください。)
- F3 ◯キーを押すと、2 枚目を再印字することができます。
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

10

3枚目を印字中です。

3枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-137 ページを参照してください。)

11

3枚目を印字しました
切り取って下さい。

カードを抜いて下さい

3 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

Point

- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。
- IC クレジットカードが残ったままの場合は、下記の画面が表示されます。IC クレジットカードを抜いてお客様にお返しします。

カードを抜いて 下さい。	JMT:カードお取り忘れ カードを抜いた後 リセットキーをどうぞ

12

〈業務〉
選択下さい。

クレジット	銀聯	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ	R

F1 F2 F3
◯ ◯ ◯

伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

Point

- 業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。

〈業務〉
選択下さい。

売上	取消 返品	承認後 売上	R >

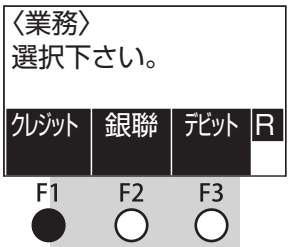
F1 F2 F3
◯ ◯ ◯

1.2.2　クレジット承認後売上処理

売上を行った結果、取引が保留となり、電話などでクレジットカード会社から承認を得たあとに、再度、売上を行うための承認後売上の操作について説明します。
オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。

1

＜本体画面＞



F1
○（クレジット）キーを押します。

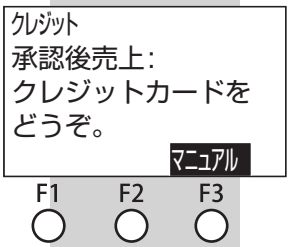
Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- クレジット専用端末の場合は、左の画面が表示されません。

2

F3
○（承認後売上）キーを押します。

Point
- クレジット専用端末の場合、〈業務〉と表示されます。
- 再印字は、左の画面で有効です。

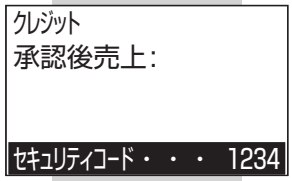
3



お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

Point
- カードの通し方については、「カードの通し方」（1-20 ページ）を参照してください。
- F3 ○（マニュアル）キーを押すと、カード情報の手動入力ができます。詳しくは、「クレジットの手動入力動作」（2-84 ページ）を参照してください。
- IC クレジットカードでの取引の場合は、IC カード挿入口に挿入し処理を行うことも可能です。（一部の IC クレジットカードについては処理できない場合があります。）

4

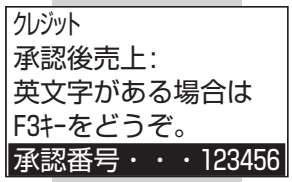


お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力し、セットキーを押します。

Point

- 申し込み時のカード会社とのご契約によって、左の画面が表示されない場合があります。
- セキュリティコードは 4 桁まで入力できます。
- 次の場合は、セットキーのみを押してください。セキュリティコードの入力をスキップすることができます。
  - ・セキュリティコードが不明な場合
  - ・セキュリティコードの入力を省略する場合
- セキュリティコードについてご不明な場合は、ご契約されているカード会社へ問い合わせてください。
- IC クレジットカードを挿入し処理を行った場合、セキュリティコードの入力メッセージは表示されません。

5

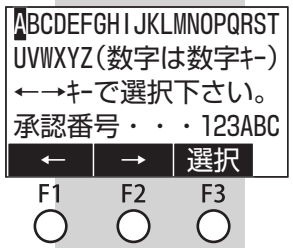


承認番号を入入し、セットキーを押します。

Point

- 承認番号に英文字が入っている場合、F3 キー（英文字入力）を押してください。
- 承認番号は 6 桁まで入力できます。7 桁以上の番号をカード会社から指示された場合は、再度カード会社へ問い合わせてください。

6

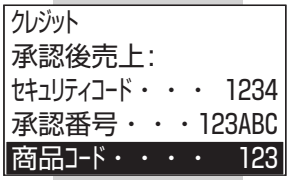


F1（←）／F2（→）キーで、承認番号の英文字を選択し、F3（選択）キーで決定し、セットキーを押します。

Point

- 1 行目と 2 行目に英文字が表示されます。
- 'T' から 'U' への移動は F2（→）キーで可能です。
  〔'U' から 'T' の場合は F1（←）キー〕
- 'A' から 'Z' への移動は F1（←）キーで可能です。
  〔'Z' から 'A' の場合は F2（→）キー〕
- 数字は数字キーで直接入力します。

7

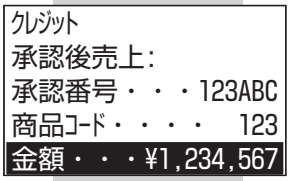


商品コードを入力し、セットキーを押します。

Point

- 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。
- 商品コードを 3 桁で入力します。
  入力を省略する場合は、セットキーのみを押します。

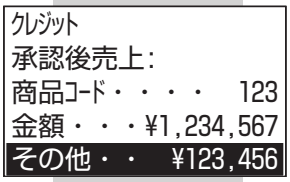
8



商品の金額を入力し、セットキーを押します。

Point
- 金額は、７桁まで入力できます。

9

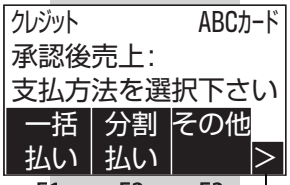


その他を入力し、セットキーを押します。

Point
- 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。
- その他は、６桁まで入力できます。

10

(1)



支払方法を選択します。
お客様が指定された支払方法の選択キーを押します。

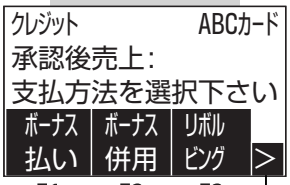
Point
- 左の画面の選択表示は、カード会社によって使用できない支払方法もあります。
- お客様のカードのカード会社名が画面右上に表示されます。

F3
○その他または 次画面 ○（次画面）の場合：次画面〔操作**10**(2)〕

F2
○分割払いの場合　：2-16 ページ参照

F1
○一括払いの場合　：2-13 ページ参照

(2)



支払方法を選択します。
お客様が指定された支払方法の選択キーを押します。

Point
- 左の画面の選択表示は、カード会社によって使用できない支払方法もあります。
- お客様のカードのカード会社名が画面右上に表示されます。

次画面
○（次画面）の場合　：前画面〔操作**10**(1)〕

F3
○リボルビング払いの場合　：2-28 ページ参照

F2
○ボーナス併用払いの場合　：2-24 ページ参照

F1
○ボーナス払いの場合　：2-20 ページ参照

1.2.3　クレジット事前承認処理

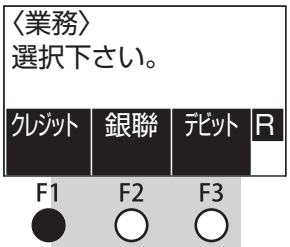
オーソリ予約やカードチェックをするときに行います。
出力される伝票は、加盟店控のみになります。

■オーソリ予約

お客様のカードで、入力した金額分の取引ができるかどうかを事前に確認するオーソリ予約について説明します。
オーソリ予約は、端末を申し込みされたカード会社とのご契約によってご利用になれます。

1

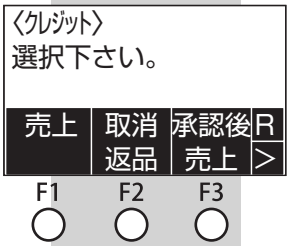
＜本体画面＞



F1
○（クレジット）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- クレジット専用端末の場合は、左の画面が表示されません。

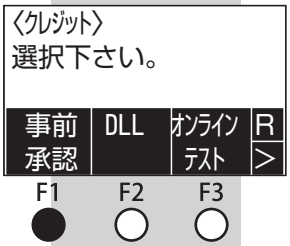
2



次画面
○（次画面）キーを押します。

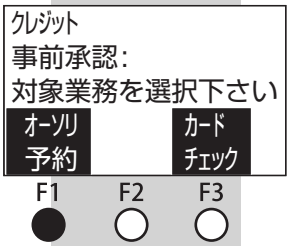
Point
- クレジット専用端末の場合、〈業務〉と表示されます。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。

3



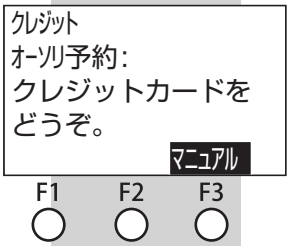
F1
○（事前承認）キーを押します。

4



F1
○（オーソリ予約）キーを押します。

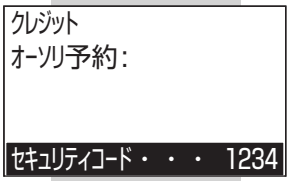
5



お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

Point
- カードの通し方については、「カードの通し方」（1-20 ページ）を参照してください。
- F3（マニュアル）キーを押すと、カード情報の手動入力ができます。詳しくは、「クレジットの手動入力動作」（2-84 ページ）を参照してください。
- IC クレジットカードでの取引の場合は、IC カード挿入口に挿入し処理を行うことも可能です。（一部の IC クレジットカードについては処理できない場合があります。）

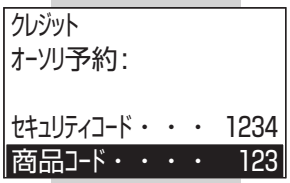
6



お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力し、セット キーを押します。

Point
- 申し込み時のカード会社とのご契約によって、左の画面が表示されない場合があります。
- セキュリティコードは 4 桁まで入力できます。
- 次の場合は、セット キーのみを押してください。セキュリティコードの入力をスキップすることができます。
  - セキュリティコードが不明な場合
  - セキュリティコードの入力を省略する場合
- セキュリティコードについてご不明な場合は、ご契約されているカード会社へ問い合わせてください。
- IC クレジットカードを挿入し処理を行った場合、セキュリティコードの入力メッセージは表示されません。

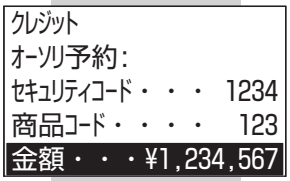
7



商品コードを入力し、セット キーを押します

Point
- 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。
- 商品コードを 3 桁で入力します。
  入力を省略する場合は、セット キーのみを押します。

8



購入金額を入力し、セット キーを押します。

Point
- 金額は、7 桁まで入力できます。

9

```
ｸﾚｼﾞｯﾄ
ｵｰｿﾘ予約:
商品ｺｰﾄﾞ・・・・  123
金額・・・¥1,234,567
その他・・  ¥123,456
```

その他を入力し、セットキーを押します。

Point
- 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。
- その他は、6 桁まで入力できます。

10

```
ｸﾚｼﾞｯﾄ          ABCｶｰﾄﾞ
ｵｰｿﾘ予約:
実行キーをどうぞ。
```

実行キーを押します。

Point
- お客様のカードのカード会社名が画面右上に表示されます。

11

```
センタと通信中です。
→  →  →  →
```

センタとの通信が開始されます。

Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。通信が終了すると、操作 ***12*** の画面が表示されます。

12

```
センタとの通信を
終了しました。
```

センタと通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

13

```
1枚目を印字中です。
```

1 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-137 ページを参照してください。)

14

```
1枚目を印字しました
切り取って下さい。

カードを抜いて下さい
```

伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

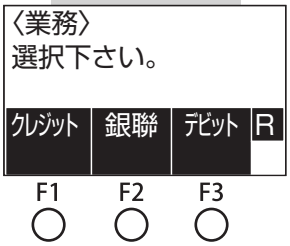
Point
- カードをお客様にお返しします。(IC クレジットカードでの取引の場合は、IC クレジットカードを抜いてください。)
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。
- IC クレジットカードが残ったままの場合は、下記の画面が表示されます。IC クレジットカードを抜いてお客様にお返しします。

```
カードを抜いて
下さい。
```

```
JMT:カードお取り忘れ

カードを抜いた後
リセットキーをどうぞ
```

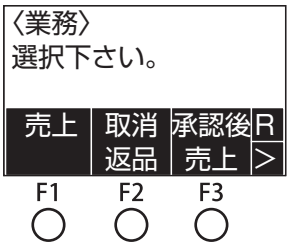
15



伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

Point

・業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
・オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。

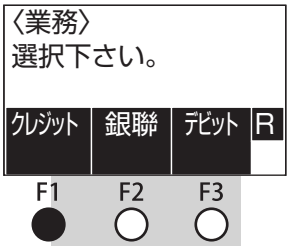


■カードチェック

お客様のカードがご利用いただけるかチェックする、カードチェックの操作について説明します。
カードチェックは、端末を申し込みされたカード会社とのご契約によってご利用になれます。

1

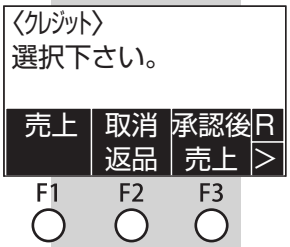
＜本体画面＞



F1
○（クレジット）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- クレジット専用端末の場合は、左の画面が表示されません。

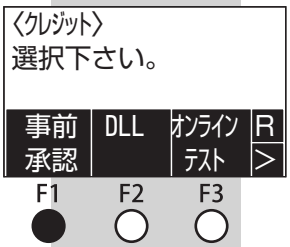
2



次画面
○（次画面）キーを押します。

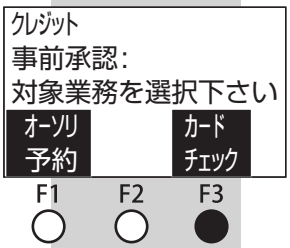
Point
- クレジット専用端末の場合、〈業務〉と表示されます。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。

3



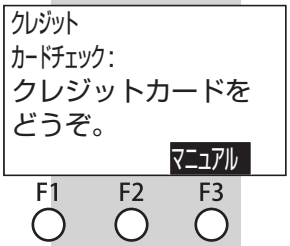
F1
○（事前承認）キーを押します。

4



F3
○（カードチェック）キーを押します。

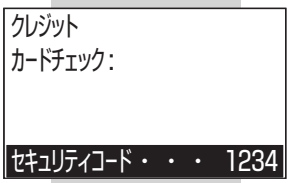
5



お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

Point
- カードの通し方については、「カードの通し方」（1-20 ページ）を参照してください。
- F3 ◯（マニュアル）キーを押すと、カード情報の手動入力ができます。詳しくは、「クレジットの手動入力動作」（2-84 ページ）を参照してください。
- IC クレジットカードでの取引の場合は、IC カード挿入口に挿入し処理を行うことも可能です。（一部の IC クレジットカードについては処理できない場合があります。）

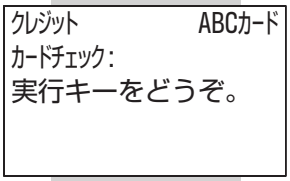
6



お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力し、セットキーを押します。

Point
- 申し込み時のカード会社とのご契約によって、左の画面が表示されない場合があります。
- セキュリティコードは４桁まで入力できます。
- 次の場合は、セットキーのみを押してください。セキュリティコードの入力をスキップすることができます。
  - ・セキュリティコードが不明な場合
  - ・セキュリティコードの入力を省略する場合
- セキュリティコードについてご不明な場合は、ご契約されているカード会社へ問い合わせてください。
- IC クレジットカードを挿入し処理を行った場合、セキュリティコードの入力メッセージは表示されません。

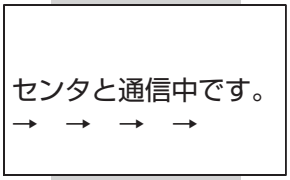
7



実行キーを押します。

Point
- お客様のカードのカード会社名が画面右上に表示されます。

8



センタとの通信が開始されます。

Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると、通信が終了します。通信が終了すると、操作 ***9*** の画面が表示されます。

9

センタとの通信を
終了しました。

センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

10

1枚目を印字中です。

1 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-137 ページを参照してください。)

11

1枚目を印字しました
切り取って下さい。

カードを抜いて下さい

伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

Point

- カードをお客様にお返しします。(IC クレジットカードでの取引の場合は、IC クレジットカードを抜いてください。)
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。
- IC クレジットカードが残ったままの場合は、下記の画面が表示されます。IC クレジットカードを抜いてお客様にお返しします。

カードを抜いて 下さい。	JMT:カードお取り忘れ カードを抜いた後 リセットキーをどうぞ

12

〈業務〉
選択下さい。

クレジット	銀聯	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ	R
F1	F2	F3	

伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

Point

- 業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。

〈業務〉
選択下さい。

売上	取消 返品	承認後 売上	R >
F1	F2	F3	

1.2.4　クレジット取消返品処理

売上または承認後売上で完了した取引を、取消または返品する操作について説明します。
お客様の売上票を見ながら操作してください。
取消と返品は、次のように使い分けてください。
　取消：当日の売上分に対する取消　　返品：当日以外の売上分に対する取消
なお、マニュアル入力での取消返品処理でクレジットカードがなく、売上票のカード番号・有効期限が非表示の場合、マニュアル取消サポート機能を使って取消・返品を行います。（2-50 ページ）

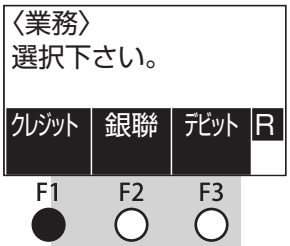
Point
返品（当日以外の売上分に対する取消）を行う場合は、先に該当カード会社へ返品を行ってよいかを確認してください。

■売上／承認後売上取消

売上または承認後売上にて取引完了したものを取消／返品する操作について説明します。

1

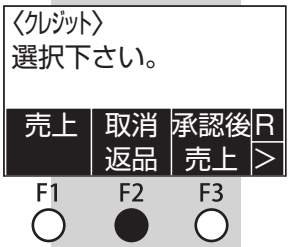
＜本体画面＞



F1（クレジット）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- クレジット専用端末の場合は、左の画面が表示されません。

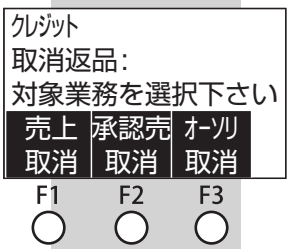
2



F2（取消返品）キーを押します。

Point
- クレジット専用端末の場合、〈業務〉と表示されます。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。

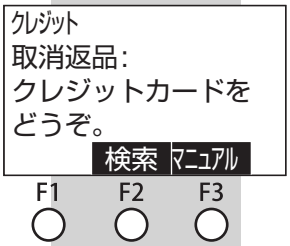
3



取消・返品を行いたい業務を選択します。

Point
- 売上に対しては、F1（売上取消）キーを、承認後売上に対しては、F2（承認売取消）キーを押します。
- F3（オーソリ取消）キーについては、「オーソリ予約取消」（2-46 ページ）を参照してください。

4

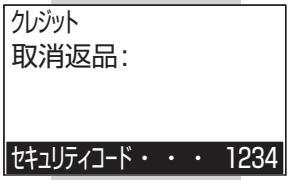


お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

Point

- カードの通し方については、「カードの通し方」（1-20 ページ）を参照してください。
- F2（検索）キーは、会員番号非表示（2-151 ページ）に対応している場合に表示されます。F2（検索）キーを押すと、伝票番号から対応する取引データを検索して処理できます。詳しくは、「マニュアル取消サポート機能」（2-50 ページ）を参照してください。
- F3（マニュアル）キーを押すと、カード情報の手動入力ができます。詳しくは、「クレジットの手動入力動作」（2-84 ページ）を参照してください。
- IC クレジットカードでの取引の場合は、IC カード挿入口に挿入し処理を行うことも可能です。（一部の IC クレジットカードについては処理できない場合があります。）

5



お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力し、セットキーを押します。

Point

- 申し込み時のカード会社とのご契約によって、左の画面が表示されない場合があります。
- セキュリティコードは 4 桁まで入力できます。
- 次の場合は、セットキーのみを押してください。セキュリティコードの入力をスキップすることができます。
  - セキュリティコードが不明な場合
  - セキュリティコードの入力を省略する場合
- セキュリティコードについてご不明な場合は、ご契約されているカード会社へ問い合わせてください。
- IC クレジットカードを挿入し処理を行った場合、セキュリティコードの入力メッセージは表示されません。

6

クレジット
取消返品:

ｾｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞ・・・ 1234
伝票番号・・・ 12345

伝票番号を入力します。
売上票に印字されている伝票番号を入力し、
セット キーを押します。

Point
・ 売上票に印字されている伝票番号を入力します。

※伝票印字例

伝票番号	有効期限	取引内容
12345	YY年MM月	売上
支払区分	取扱区分	商品区分

7

クレジット
取消返品:
ｾｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞ・・・ 1234
伝票番号・・・ 12345
商品ｺｰﾄﾞ・・・・ 123

商品コードを入力します。
売上票に印字されている商品区分を入力し、
セット キーを押します。

Point
・ 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。
・ 商品コードを３桁で入力します。
入力を省略する場合は、セット キーのみを押します。

8

クレジット
取消返品:
伝票番号・・・ 12345
商品ｺｰﾄﾞ・・・・ 123
金額・・・¥1,234,567

購入金額を入力します。
売上票に印字されているお客様の購入金額を入力し、
セット キーを押します。

9

クレジット
取消返品:
商品ｺｰﾄﾞ・・・・ 123
金額・・・¥1,234,567
その他・・ ¥123,456

その他を入力します。
売上票に印字されているお客様のその他を入力し、
セット キーを押します。

Point
・ 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。

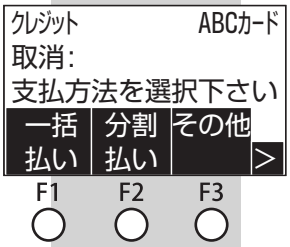
10

クレジット　ABCｶｰﾄﾞ
取消返品:
取消区分を選択下さい
取消　返品
F1　F2　F3

取消区分の F1 （取消）または F3 （返品）キーのいずれかを押します。

Point
・ 取消：当日売上分に対する取消
返品：当日以外の売上分に対する取消
・ お客様のカードのカード会社名が画面右上に表示されます

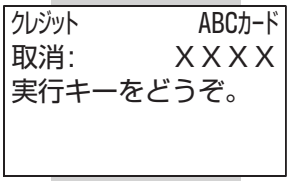
11



支払方法を入力します。
売上票に印字されているお客様の支払方法を選択します。

Point
・取消区分の選択にて「返品」を選択したときは、“返品”が表示されます。

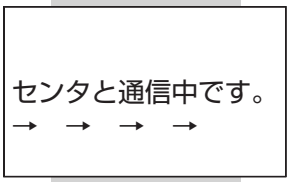
12



実行キーを押します。

Point
・画面右上の“ＸＸＸＸ”には、選択した支払方法が表示されます。

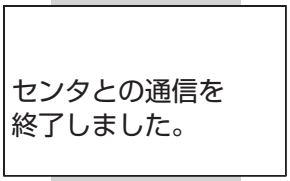
13



センタとの通信が開始されます。

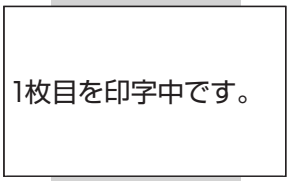
Point
・通信を開始すると、左の画面が表示されます。
・「→」を４つめまで表示すると、通信が終了します。通信が終了すると、操作 ***14*** の画面が表示されます。

14



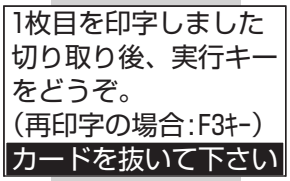
センタと通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

15



1 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-135 ページを参照してください。)

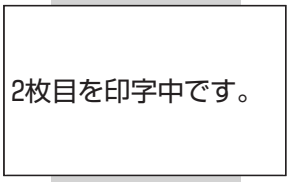
16



1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point
・サイン（署名）が必要な場合は、1 枚目を切取り後、お客様にサインをいただきます。
・F3 ◯キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。
・IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

17



2 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-136 ページを参照してください。)

18

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)
カードを抜いて下さい

２枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。２枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- カードと２枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。(IC クレジットカードでの取引の場合は、IC クレジットカードを抜いてください。)
- F3 ◯キーを押すと、２枚目を再印字することができます。
- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。

19

3枚目を印字中です。

３枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-137 ページを参照してください。)

20

3枚目を印字しました
切り取って下さい。

カードを抜いて下さい

３枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

Point

- IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。
- IC クレジットカードが残ったままの場合は、下記の画面が表示されます。IC クレジットカードを抜いてお客様にお返しします。

カードを抜いて 下さい。	JMT:カードお取り忘れ カードを抜いた後 リセットキーをどうぞ

21

〈業務〉
選択下さい。

ｸﾚｼﾞｯﾄ	銀聯	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ	R

F1 F2 F3

伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

Point

- 業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。

〈業務〉
選択下さい。

売上	取消 返品	承認後 売上	R >

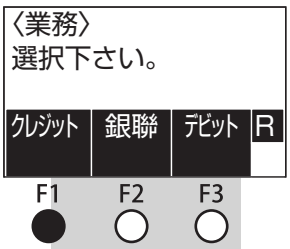
F1 F2 F3

■オーソリ予約取消

オーソリ予約にて処理したものを取り消す場合の操作について説明します。
オーソリ予約取消は、端末を申し込みされたカード会社とのご契約によってご利用になれます。
なお、会員番号･有効期限が分からない場合、マニュアル入力での取消返品はできませんので、カード会社へお問い合せください。

1

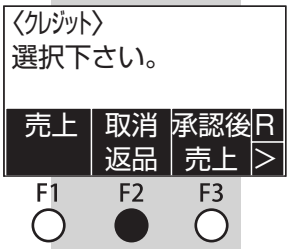
＜本体画面＞



F1 ◯（クレジット）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- クレジット専用端末の場合は、左の画面が表示されません。

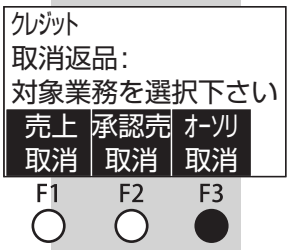
2



F2 ◯（取消返品）キーを押します。

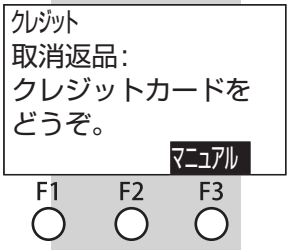
Point
- クレジット専用端末の場合､〈業務〉と表示されます。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。

3



F3 ◯（オーソリ取消）キーを押します。

4



お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

Point
- カードの通し方については､「カードの通し方」（1-20 ページ）を参照してください。
- F3 ◯（マニュアル）キーを押すと、カード情報の手動入力ができます。詳しくは、「クレジットの手動入力動作」（2-84 ページ）を参照してください。
- IC クレジットカードでの取引の場合は、IC カード挿入口に挿入し処理を行うことも可能です。（一部の IC クレジットカードについては処理できない場合があります。）

5

クレジット
取消返品:

ｾｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞ・・・ 1234

お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力し、セット キーを押します。

Point
- 申し込み時のカード会社とのご契約によって、左の画面が表示されない場合があります。
- セキュリティコードは４桁まで入力できます。
- 次の場合は、セット キーのみを押してください。セキュリティコードの入力をスキップすることができます。
  - ・セキュリティコードが不明な場合
  - ・セキュリティコードの入力を省略する場合
- セキュリティコードについてご不明な場合は、ご契約されているカード会社へ問い合わせてください。
- IC クレジットカードを挿入し処理を行った場合、セキュリティコードの入力メッセージは表示されません。

6

クレジット
取消返品:

ｾｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞ・・・ 1234
伝票番号・・・ 12345

伝票番号を入力します。
売上票に印字されている伝票番号を入力し、
セット キーを押します。

Point
- 売上票に印字されている伝票番号を入力します。

※伝票印字例

伝票番号 12345	有効期限 YY年MM月	取引内容 ｵｰｿﾘ予約
支払区分	取扱区分	商品区分

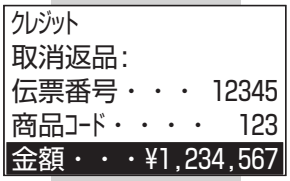
7

クレジット
取消返品:
ｾｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞ・・・ 1234
伝票番号・・・ 12345
商品ｺｰﾄﾞ・・・・ 123

商品コードを入力します。
売上票に印字されている商品区分を入力し、
セット キーを押します。

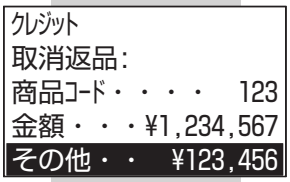
Point
- 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。
- 商品コードを３桁で入力します。
  入力を省略する場合は、セット キーのみを押します。

8



購入金額を入力します。
売上票に印字されているお客様の購入金額を入力し、セットキーを押します。

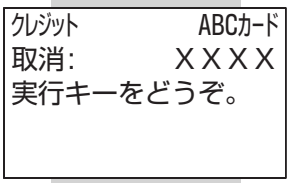
9



その他を入力します。
売上票に印字されているお客様のその他を入力し、セットキーを押します。

Point
- 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。

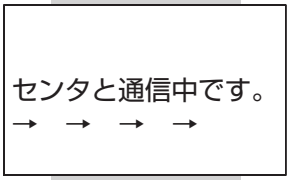
10



実行キーを押します。

Point
- お客様のカードのカード会社名が画面右上に表示されます
- 画面右上の“ＸＸＸＸ”には、選択した支払方法が表示されます。

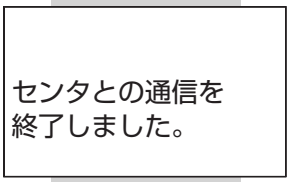
11



センタとの通信が開始されます。

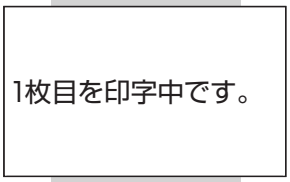
Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると、通信が終了します。通信が終了すると、操作 ***12*** の画面が表示されます。

12



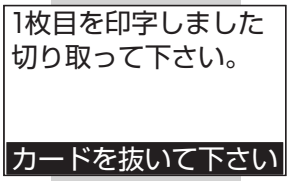
センタと通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

13



センタとの通信が終了すると、1 枚目の伝票の印字が開始されます。（伝票は 2-137 ページを参照してください。）

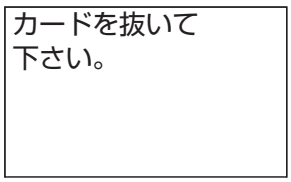
14

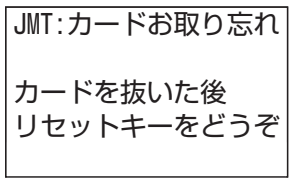


伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

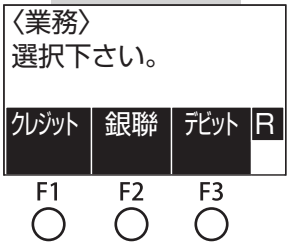
Point

・カードをお客様にお返しします。（IC クレジットカードでの取引の場合は、IC クレジットカードを抜いてください。）
・IC クレジットカードでの取引の場合のみ、画面下部に「カードを抜いて下さい」と表示されます。
・IC クレジットカードが残ったままの場合は、下記の画面が表示されます。IC クレジットカードを抜いてお客様にお返しします。





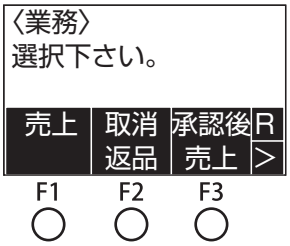
15



伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

Point

・業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
・オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。



1.2.5　マニュアル取消サポート機能

この操作は、会員番号非表示に対応しているため、伝票の会員番号や有効期限が読み取れず、取消・返品処理の「マニュアル入力」ができない場合に行います。

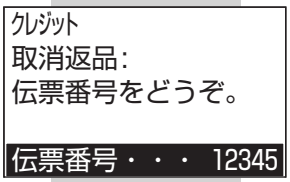
Point
- 端末が複数ある場合、必ず、取消・返品対象取引が行われた端末で実施してください。
- 本機能ではオーソリ予約取消を行うことができません。

1

F2
○（検索）キーを押します。

Point
- 会員番号非表示に対応していない端末には、検索の機能はありません。

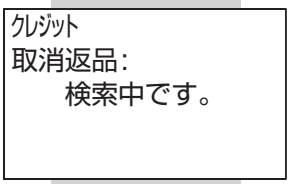
2



伝票番号を入力します。
売上票に印字されている伝票番号を入力し、
セットキーを押します。

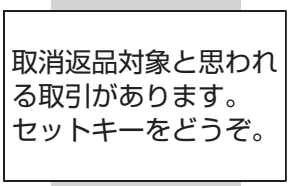
Point
- 売上票に印字されている伝票番号を入力します。

3



取引を検索している間、表示されます。

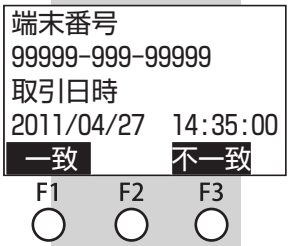
4



取消返品対象の可能性がある取引データが端末に残っていた場合、左の画面を表示します。
セットキーを押します。

Point
- 入力された伝票番号に一致する取引データが見つかった場合に表示されます。
- 見つからなかった場合、操作 ***21*** の画面を表示します。

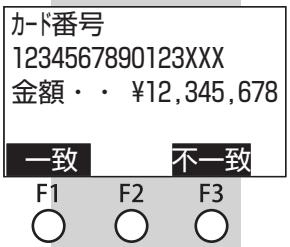
5



検索された取引データの内容が表示されます。
伝票の端末番号と、ご利用日（左記画面の取引日時）が一致している場合、F1（一致）キーを押します。

Point
・一致しない場合は、F3（不一致）キーを押して処理を中止し、操作 ***21*** の画面に進みます。

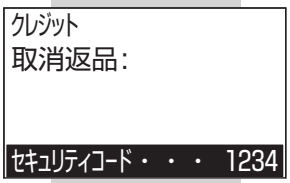
6



検索された取引データの内容が表示されます。
伝票のカード番号と合計金額（左記画面の金額）が一致しているか確認し、F1（一致）キーを押します。

Point
・カード番号は加盟店控伝票と同じ部分が非表示されます。
・一致しない場合は、F3（不一致）キーを押して処理を中止し、操作 ***21*** の画面に進みます。

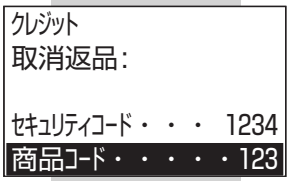
7



お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力し、セットキーを押します。

Point
・申し込み時のカード会社とのご契約によって、左の画面が表示されない場合があります。
・セキュリティコードは４桁まで入力できます。
・次の場合は、セットキーのみを押してください。セキュリティコードの入力をスキップすることができます。
　・セキュリティコードが不明な場合
　・セキュリティコードの入力を省略する場合
・セキュリティコードについてご不明な場合は、ご契約されているカード会社へ問い合わせてください。

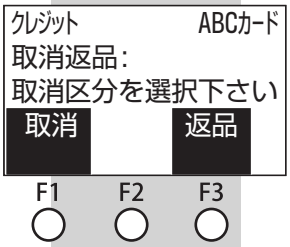
8



商品コードを入力します。
売上票に印字されている商品区分を入力し、セットキーを押します。

Point
・使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。
・商品コードを３桁で入力します。
入力を省略する場合は、セットキーのみを押します。

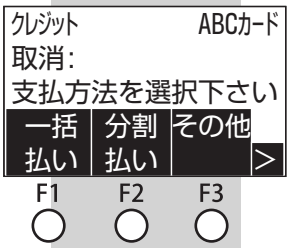
9



取消区分の F1 ○（取消）または F3 ○（返品）キーのいずれかを押します。

Point
・取消：当日売上分に対する取消
　返品：当日以外の売上分に対する取消

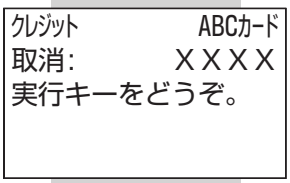
10



支払方法を入力します。
売上票に印字されているお客様の支払方法を選択します。

Point
・取消区分の選択にて「返品」を選択したときは、“返品”が表示されます。

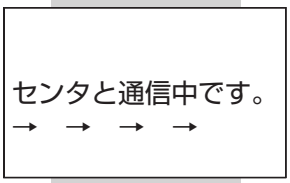
11



実行キーを押します。

Point
・画面右上の“ＸＸＸＸ”には、選択した支払方法が表示されます。

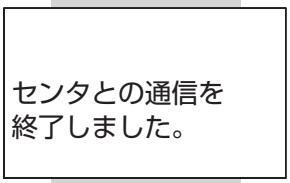
12



センタとの通信が開始されます。

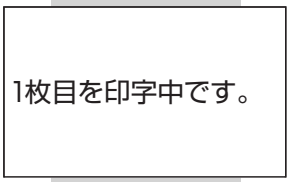
Point
・通信を開始すると、左の画面が表示されます。
・「→」を４つめまで表示すると、通信が終了します。
　通信が終了すると、操作 ***13*** の画面が表示されます。

13



センタと通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

14



センタとの通信が終了すると、1 枚目の伝票の印字が開始されます。（伝票は 2-135 ページを参照してください。）

15

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
（再印字の場合：F3ｷｰ）

1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

・サイン（署名）が必要な場合は、1 枚目を切取り後、お客様にサインをいただきます。
・F3 キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。

16

2枚目を印字中です。

2 枚目の伝票の印字が開始されます。（伝票は 2-136 ページを参照してください。）

17

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
（再印字の場合：F3ｷｰ）

2 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。2 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

・F3 キーを押すと、2 枚目を再印字することができます。

18

3枚目を印字中です。

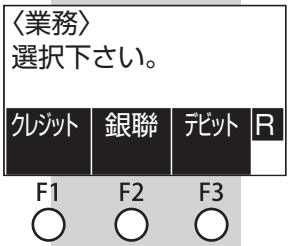
3 枚目の伝票の印字が開始されます。（伝票は 2-137 ページを参照してください。）

19

3枚目を印字しました
切り取って下さい。

3 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

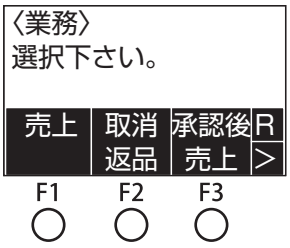
20



伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

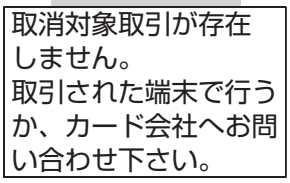
Point

- 業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。



取消対象の取引がない場合のメッセージ

21



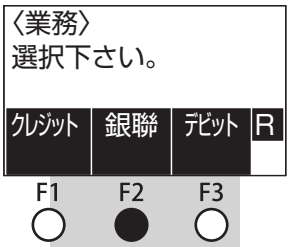
取引データが端末内にないときや、操作*5*、*6*において F3 ◯（不一致）キーを押したときは、左記のメッセージが表示されます。
売上票のカード会社欄に印字されたカード会社（2-151ページ参照）へお問い合わせの上、ご対応ください。

1.3　銀聯業務

1.3.1　銀聯売上処理

お客様が銀聯カードを使って支払われる場合の操作について説明します。

1



F2
○（銀聯）キーを押します。

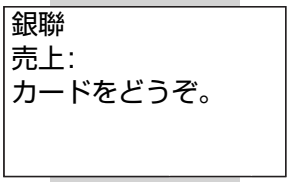
Point
・ご契約内容によって表示される内容が異なります。
・再印字は、左の画面で有効です。

2

F1
○（売上）キーを押します。

Point
・再印字は、左の画面で有効です。

3



お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

Point
・カードの通し方については、「カードの通し方」（1-20ページ）を参照してください。

4

商品の金額を入力し、セットキーを押します。

Point
・金額は、７桁まで入力できます。

5

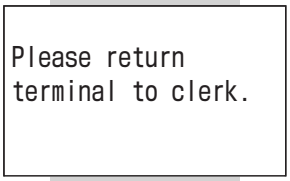
その他を入力し、セットキーを押します。

Point
・ご契約内容によって、左の画面が表示されない場合があります。
・その他は、６桁まで入力できます。

6

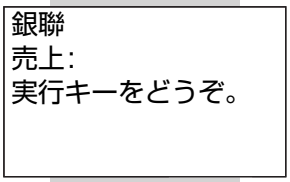
お客様に本体の数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。
入力された暗証番号は「＊」で表示されます。
最後に実行キーを押していただきます。

Point
- ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合、「付3 ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作」（付 -7 ページ）を参照してください。
- 中止するときは、本体のリセットキーを押してください。
- お客様が暗証番号をお忘れの場合は、暗証番号入力をスキップすることができます。詳しくは、「付４暗証番号入力をスキップするときは」(付 -9 ページ) を参照してください。



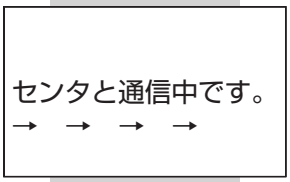
暗証番号確認が終了すると、左の画面が表示され、お客様に本体を返していただきます。

7



実行キーを押します。

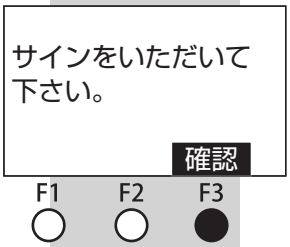
8



センタとの通信が開始されます。

Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。

9



サインが必要な場合、左の画面が表示されます。
F3 ○（確認）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって、左の画面が表示されない場合があります。

10

センタとの通信を
終了しました。

センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

11

1枚目を印字中です。

1 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-138 ページを参照してください。)

12

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)

1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- サイン（署名）が必要な場合は、1 枚目を切取り後、お客様にサインをいただきます。
- F3 キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。

13

2枚目を印字中です。

2 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-139 ページを参照してください。)

14

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)

2 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。2 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

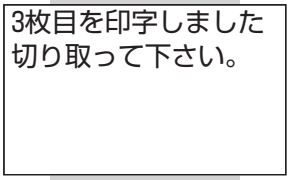
- カードと２枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。
- F3 キーを押すと、2 枚目を再印字することができます。

15

3枚目を印字中です。

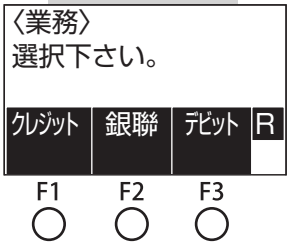
3 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-140 ページを参照してください。)

16



3 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

17



伝票の印字が終了すると、業務初期画面に戻ります。

Point

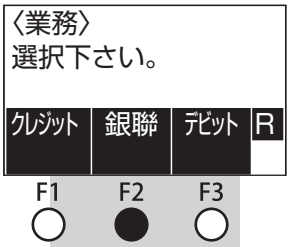
・ご契約内容によっては、F3（デビット）が表示されない場合があります。

1.3.2　銀聯取消処理

銀聯売上にて取引完了したものを取消する操作について説明します。
当日の売上に対する全額取消のみ可能です。

Point
・取消操作では、売上票に印字されている伝票番号、承認番号、銀聯番号、銀聯処理日時、金額、その他を入力します。

1



F2 ○（銀聯）キーを押します。

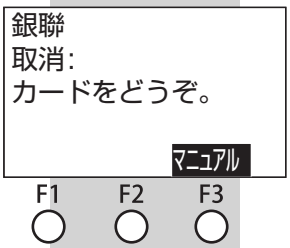
Point
・ご契約内容によって表示される内容が異なります。
・再印字は、左の画面で有効です。

2

F2 ○（取消）キーを押します。

Point
・再印字は、左の画面で有効です。

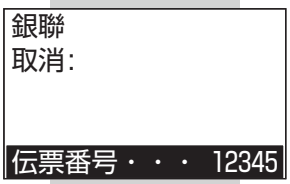
3



お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

Point
・カードの通し方については、「カードの通し方」（1-20 ページ）を参照してください。
・ご契約内容によって、F3 ○（マニュアル）が表示されない場合があります。
・F3 ○（マニュアル）キーを押すと、カード情報の手動入力ができます。詳しくは、「銀聯カード取引の手動入力操作」（2-86 ページ）を参照してください。

4



伝票番号を入力します。
売上票に印字されている伝票番号を入力し、
セット キーを押します。

5

銀聯
取消:
英文字がある場合は
セットキーをどうぞ。
承認番号・・・123456

承認番号を入力します。
売上票に印字されている承認番号を入力し、
セットキーを押します。

Point

・承認番号の中に英文字が含まれている場合、または承認番号が空白の場合は、何も入力せずに、承認番号は空白のままセットキーを押してください。

6

銀聯
取消:
伝票番号・・・ 12345
承認番号・・・123456
銀聯番号・・・123456

銀聯番号を入力します。
売上票に印字されている銀聯番号を入力し、
セットキーを押します。

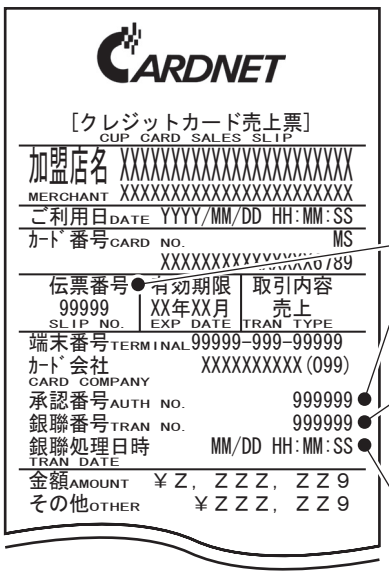
7

銀聯
取消:
銀聯番号・・・123456
銀聯処理日時
・・・・・1113213540

銀聯処理日時を入力します。
売上票に印字されている銀聯処理日時を入力し、
セットキーを押します。

Point

・売上票に印字されている銀聯処理日時の「月日時分秒」を 0 は省略せずに 10 桁で入力します。
（左の画面は、売上票の銀聯処理日時に「11/13 21:35:40」と印字されている場合の例です。）



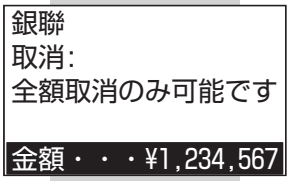
<伝票番号>
操作**4**で入力します。

<承認番号>
操作**5**で入力します。

<銀聯番号>
操作**6**で入力します。

<銀聯処理日時>
操作**7**で入力します。

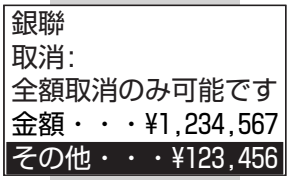
8



金額を入力します。
売上票に印字されている金額を入力し、
セットキーを押します。

Point
・銀聯取消では、全額取消のみ可能です。

9



その他を入力します。
売上票に印字されているその他を入力し、
セットキーを押します。

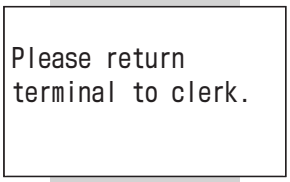
Point
・ご契約内容によって、左の画面が表示されない場合があります。

10

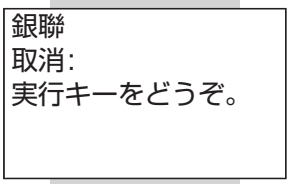
お客様に本体の数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。
入力された暗証番号は「＊」で表示されます。
最後に実行キーを押していただきます。

Point
・ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合、「付３ ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作」（付 -7 ページ）を参照してください。
・暗証番号入力が不要な場合もあります。
・お客様が暗証番号をお忘れの場合は、暗証番号入力をスキップすることができます。詳しくは、「暗証番号入力をスキップするときは」（付 -9 ページ）を参照してください。

11



暗証番号確認が終了すると、左の画面が表示され、お客様に本体を返していただきます。



実行キーを押します。

12

センタと通信中です。
→　→　→　→

センタとの通信が開始されます。

Point
・通信を開始すると、左の画面が表示されます。
・「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。

13

センタとの通信を
終了しました。

センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

14

1枚目を印字中です。

1枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-138 ページを参照してください。)

15

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)

1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point
・F3 ◯キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。

16

2枚目を印字中です。

2 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-139 ページを参照してください。)

17

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)

2 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。2 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

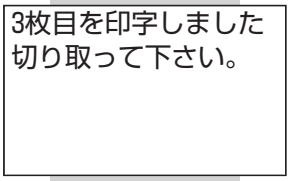
Point
・カードと２枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。
・F3 ◯キーを押すと、2 枚目を再印字することができます。

18

3枚目を印字中です。

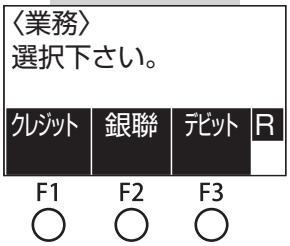
3 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-140 ページを参照してください。)

19



３枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

20



伝票の印字が終了すると、業務初期画面に戻ります。

Point

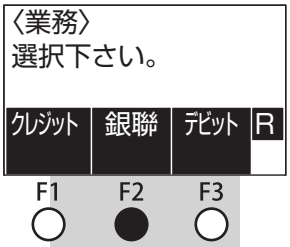
・ご契約内容によっては、F3（デビット）が表示されない場合があります。

1.3.3　銀聯返品処理

銀聯売上にて取引完了したものを返品する操作について説明します。
銀聯返品では、当日以外の売上に対する返品となり、全額返品・一部金額返品のどちらも可能です。

Point
・返品操作では、売上票に印字されている伝票番号、承認番号、銀聯番号、銀聯処理日時、金額、その他を入力します。

1



F2 ○（銀聯）キーを押します。

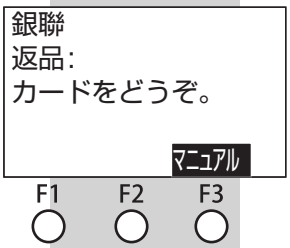
Point
・ご契約内容によって表示される内容が異なります。
・再印字は、左の画面で有効です。

2

F3 ○（返品）キーを押します。

Point
・再印字は、左の画面で有効です。

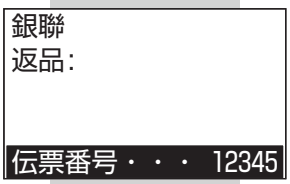
3



お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

Point
・カードの通し方については、「カードの通し方」（1-20 ページ）を参照してください。
・ご契約内容によって、F3 ○（マニュアル）が表示されない場合があります。
・F3 ○（マニュアル）キーを押すと、カード情報の手動入力ができます。詳しくは、「銀聯カード取引の手動入力操作」（2-86 ページ）を参照してください。

4



伝票番号を入力します。
売上票に印字されている伝票番号を入力し、
セット キーを押します。

5

銀聯
返品:
英文字がある場合は
セットキーをどうぞ。
承認番号・・・123456

承認番号を入力します。
売上票に印字されている承認番号を入力し、
セットキーを押します。

Point
・承認番号の中に英文字が含まれている場合は、何も入力せずに、承認番号は空白のまま セット キーを押してください。

6

銀聯
返品:
伝票番号・・・ 12345
承認番号・・・123456
銀聯番号・・・123456

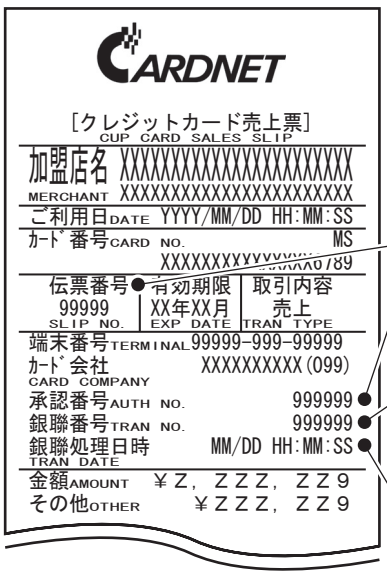
銀聯番号を入力します。
売上票に印字されている銀聯番号を入力し、
セットキーを押します。

7

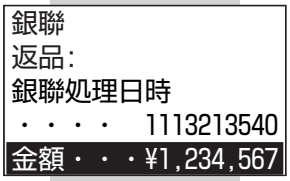
銀聯
返品:
銀聯番号・・・123456
銀聯処理日時
・・・・・1113213540

銀聯処理日時を入力します。
売上票に印字されている銀聯処理日時を入力し、
セットキーを押します。

Point
・売上票に印字されている銀聯処理日時の「月日時分秒」を０は省略せずに 10 桁で入力します。（左の画面は、売上票の銀聯処理日時に「11/13 21:35:40」と印字されている場合の例です。）



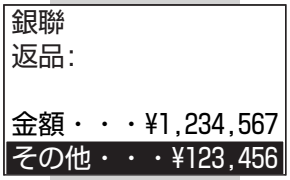
8



金額を入力します。
売上票に印字されている金額を入力し、
セットキーを押します。

Point
・銀聯返品では、全額返品および一部返品が可能です。

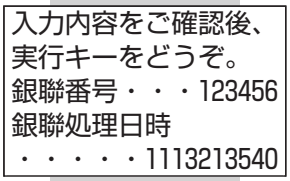
9



その他を入力します。
売上票に印字されているその他を入力し、
セットキーを押します。

Point
・ご契約内容によって、左の画面が表示されない場合があります。

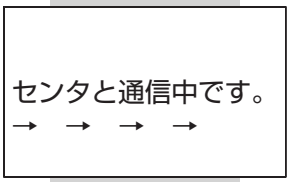
10



入力した銀聯番号、銀聯処理日時を再度、ご確認のうえ、
実行キーを押します。

Point
・銀聯番号、銀聯処理日時が売上票の値と一致しているか確認してください。

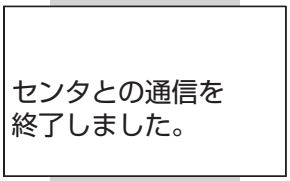
11



センタとの通信が開始されます。

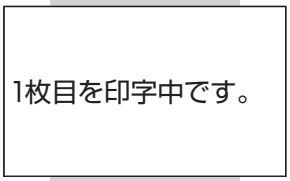
Point
・通信を開始すると、左の画面が表示されます。
・「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。

12



センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

13



１枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-138 ページを参照してください。)

14

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
（再印字の場合：F3ｷｰ）

1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point
・ F3 ◯ キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。

15

2枚目を印字中です。

2 枚目の伝票の印字が開始されます。（伝票は 2-139 ページを参照してください。）

16

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
（再印字の場合：F3ｷｰ）

2 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。2 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point
・ カードと２枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。
・ F3 ◯ キーを押すと、2 枚目を再印字することができます。

17

3枚目を印字中です。

3 枚目の伝票の印字が開始されます。（伝票は 2-140 ページを参照してください。）

18

3枚目を印字しました
切り取って下さい。

3 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

19

〈業務〉
選択下さい。

ｸﾚｼﾞｯﾄ	銀聯	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ	R

F1 ◯　F2 ◯　F3 ◯

伝票の印字が終了すると、業務初期画面に戻ります。

Point
・ ご契約内容によっては、F3 ◯（デビット）が表示されない場合があります。

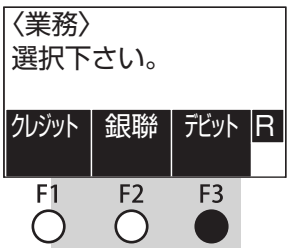
1.4 デビット業務

1.4.1 デビット売上処理

お客様がデビットカードを使って支払われる場合の操作について説明します。
ご契約の内容によりデビット業務をご利用になれない場合があります。

1

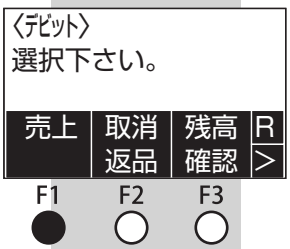
＜本体画面＞



F3 ○（デビット）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。

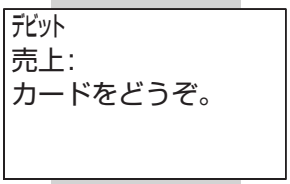
2



F1 ○（売上）キーを押します。

Point
- F3 ○（残高確認）キーは、端末の業務設定によって、表示されない場合があります。詳しくは、「業務設定」（2-113 ページ）を参照してください。
- 再印字は、左の画面で有効です。

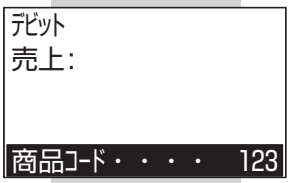
3



お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

Point
- カードの通し方については、「カードの通し方」（1-20 ページ）を参照してください。
- デビット売上操作ではマニュアル入力できません。

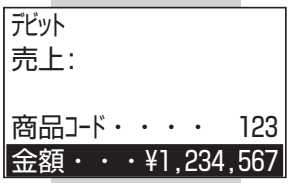
4



商品コードを入力し、セットキーを押します。
（「商品区分コード」 付 -15 ページ参照）

Point
- 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。
- 商品コードを 3 桁で入力します。
  入力を省略する場合は、セットキーのみを押します。

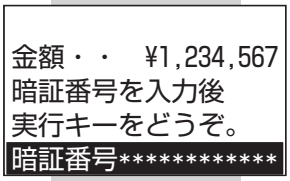
5



商品の金額を入力し、セットキーを押します。

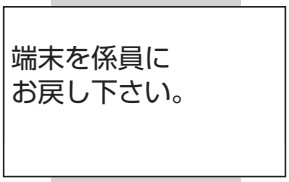
Point
- 金額は、7 桁まで入力できます。

6



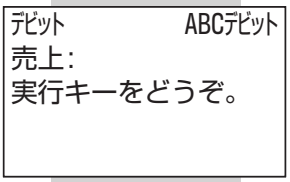
お客様に本体の数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。
入力された暗証番号は「＊」で表示されます。
最後に実行キーを押していただきます。

Point
- ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合、「付３ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作」（付 -7 ページ）を参照してください。
- 中止するときは、本体のリセットキーを押してください。
- 暗証番号入力制限時間（設定方法は 2-109 ページ参照）を超えた、または 60 秒間キー入力がなかった場合はタイムアウトとなってしまいますので、ご注意ください。



暗証番号確認が終了すると、左の画面が表示され、お客様に本体を返していただきます。

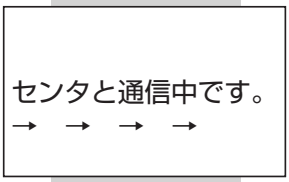
7



実行キーを押します。

Point
- お客様のカードのデビットカード会社名が画面右上に表示されます。

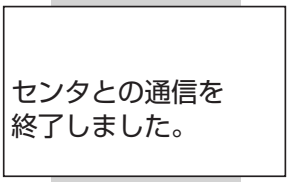
8



センタとの通信が開始されます。

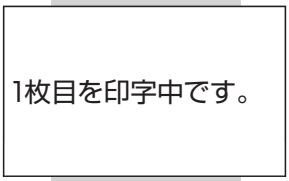
Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。

9



センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

10



１枚目の伝票の印字が開始されます。（伝票は 2-141 ページを参照してください。）

11

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)

1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- カードと 1 枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。
- F3 キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。

12

2枚目を印字中です。

2枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-141 ページを参照してください。)

13

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)

2 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。2 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- F3 キーを押すと、2 枚目を再印字することができます。

14

3枚目を印字中です。

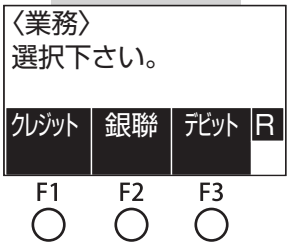
3枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-141 ページを参照してください。)

15

3枚目を印字しました
切り取って下さい。

3 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

16



伝票の印字が終了すると、業務初期画面に戻ります。

Point

・ご契約内容によっては、F2（銀聯）が表示されない場合があります。

MEMO

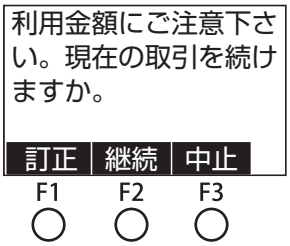
デビット売上においてデビット警告金額（設定方法は 2-114 ページ参照）を超える金額を入力すると、右に示す画面が表示されます。

金額入力に戻る場合は F1（訂正）キー

取引を継続する場合は F2（継続）キー

取引を中止する場合は F3（中止）キー

を押してください。



Point

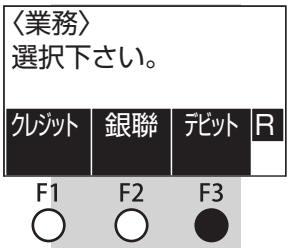
・デビット警告金額（設定モード：業務設定）を０円に設定すると右の画面は表示されません。

1.4.2　デビット取消処理

デビット売上にて取引完了したものを取消する操作について説明します。
当日以外の取消はご利用になれません。
翌日以降の取消については現金等によりお客様へお支払いください。

1

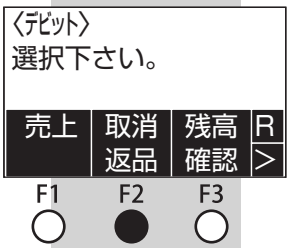
＜本体画面＞



F3
○（デビット）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。

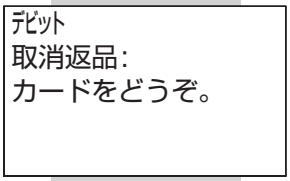
2



F2
○（取消返品）キーを押します。

Point
- F3 ○（残高確認）キーは、端末の業務設定によって、表示されない場合があります。詳しくは、「業務設定」（2-113 ページ）を参照してください。
- 再印字は、左の画面で有効です。

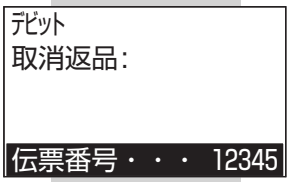
3



お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

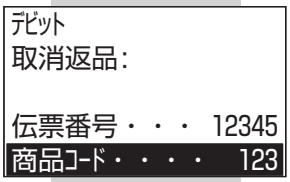
Point
- カードの通し方については、「カードの通し方」（1-20 ページ）を参照してください。
- デビット取消操作ではマニュアル入力できません。

4



伝票番号を入力します。
売上票に印字されている伝票番号を入力し、
セットキーを押します。

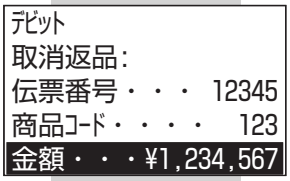
5



商品コードを入力します。
売上票に印字されている商品区分を入力し、
セットキーを押します。

Point
- 使用されるカードによって、左の画面が表示されない場合があります。
- 商品コードを 3 桁で入力します。
  入力を省略する場合は、セットキーのみを押します。

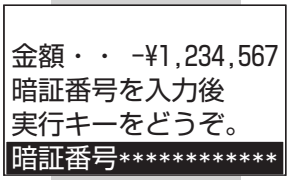
6



購入金額を入力します。
売上票に印字されている購入金額を入力し、
セット キーを押します。

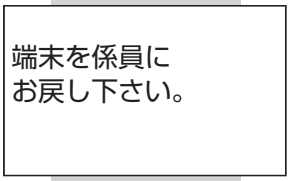
Point
- 金額は、7 桁まで入力できます。

7



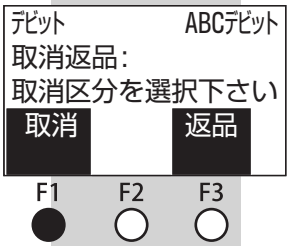
お客様に本体の数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。
入力された暗証番号は「＊」で表示されます。
最後に 実行 キーを押していただきます。

Point
- ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合、「付 3 ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作」（付 -7 ページ）を参照してください。
- 中止するときは、本体の リセット キーを押してください。
- 暗証番号入力制限時間（設定方法は 2-109 ページ参照）を超えた、または 60 秒間キー入力がなかった場合はタイムアウトとなってしまいますので、ご注意ください。



暗証番号確認が終了すると、左の画面が表示され、お客様に本体を返していただきます。

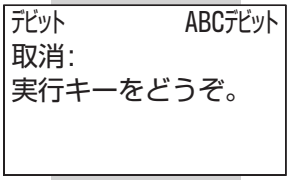
8



F1 ○（取消）キーを押します。

Point
- デビットカードの取り扱いにおいては、取消のみ可能です。必ず、F1 ○（取消）キーを押してください。
- お客様のカードのデビットカード会社名が画面右上に表示されます。

9



実行 キーを押します。

10

センタと通信中です。
→　→　→　→

センタとの通信が開始されます。

Point
・通信を開始すると、左の画面が表示されます。
・「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。

11

センタとの通信を
終了しました。

センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

12

1枚目を印字中です。

センタとの通信が終了すると、1 枚目の伝票の印字が開始されます。（伝票は 2-141 ページを参照してください。）

13

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
（再印字の場合:F3ｷｰ）

1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point
・カードと 1 枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。
・F3 キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。

14

2枚目を印字中です。

2枚目の伝票の印字が開始されます。（伝票は 2-141 ページを参照してください。）

15

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
（再印字の場合:F3ｷｰ）

2 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。2 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

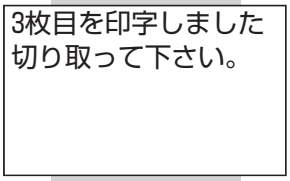
Point
・F3 キーを押すと、2 枚目を再印字することができます。

16

3枚目を印字中です。

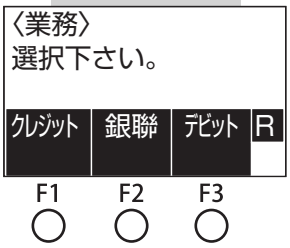
3枚目の伝票の印字が開始されます。（伝票は 2-141 ページを参照してください。）

17



３枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

18



伝票の印字が終了すると、業務初期画面に戻ります。

Point

・ご契約内容によっては、F2 ○（銀聯）が表示されない場合があります。

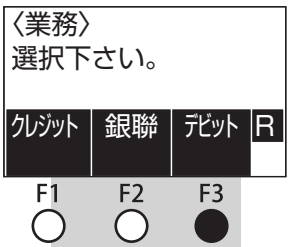
1.4.3　デビット残高確認処理

この操作は、入力した金額について、お客様のカードで取り扱い可能かどうか確認するときに行います。

Point
デビット残高確認は、端末の業務設定で「残高確認表示」（2-113 ページ）を“あり”にした場合に行うことができます。

1

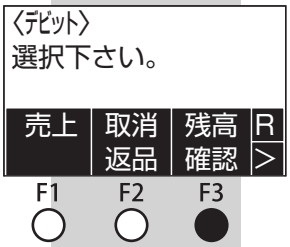
＜本体画面＞



F3
○（デビット）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。

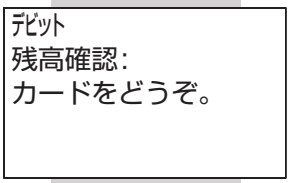
2



F3
○（残高確認）キーを押します。

Point
- 再印字は、左の画面で有効です。

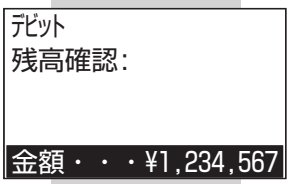
3



お客様のカードを磁気カードリーダにすばやく通します。

Point
- カードの通し方については、「カードの通し方」（1-20 ページ）を参照してください。
- デビット残高確認操作ではマニュアル入力できません。

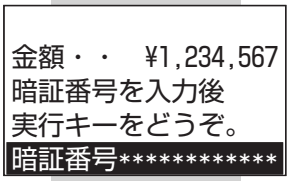
4



商品の金額を入力し、セットキーを押します。

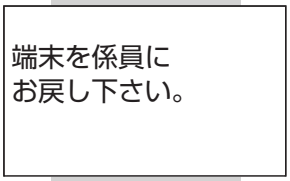
Point
- 金額は、7 桁まで入力できます。

5



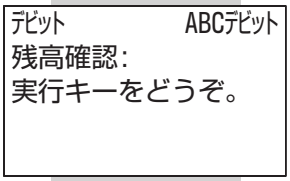
お客様に本体の数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。
入力された暗証番号は「＊」で表示されます。
最後に実行キーを押していただきます。

Point
- ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合、「付３ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作」（付 -7 ページ）を参照してください。
- 中止するときは、本体のリセットキーを押してください。
- 暗証番号入力制限時間（設定方法は 2-109 ページ参照）を超えた、または 60 秒間キー入力がなかった場合はタイムアウトとなってしまいますので、ご注意ください。



暗証番号確認が終了すると、左の画面が表示され、お客様に本体を返していただきます。

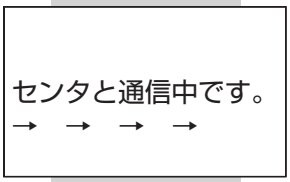
6



実行キーを押します。

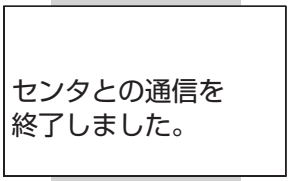
Point
- お客様のカードのデビットカード会社名が画面右上に表示されます。

7



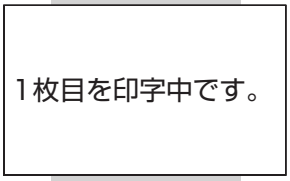
Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。

8



センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

9



センタとの通信が終了すると、１枚目の伝票の印字が開始されます。（伝票は 2-142 ページを参照してください。）

10

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)

1 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。1 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- カードと 1 枚目の伝票を一緒にお客様にお返しします。
- F3 キーを押すと、1 枚目を再印字することができます。
- 「業務設定」の残高確認伝票印字（2-113 ページ）を“なし”に設定している場合は、残高の印字はされません。

11

2枚目を印字中です。

2 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-142 ページを参照してください。)

12

2枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。
(再印字の場合:F3ｷｰ)

2 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されます。2 枚目の伝票を切り取り後、実行キーを押します。

Point

- F3 キーを押すと、2 枚目を再印字することができます。

13

3枚目を印字中です。

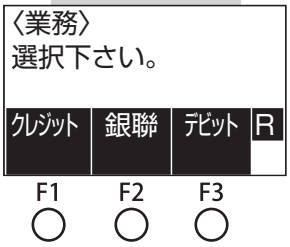
3 枚目の伝票の印字が開始されます。(伝票は 2-142 ページを参照してください。)

14

3枚目を印字しました
切り取って下さい。

3 枚目の伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

15



伝票の印字が終了すると、業務初期画面に戻ります。

Point

・ご契約内容によっては、F2（銀聯）が表示されない場合があります。

MEMO

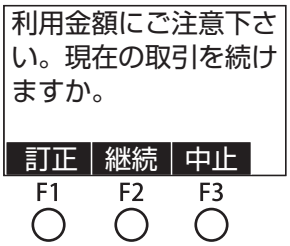
残高確認においてデビット警告金額（業務設定で設定）を超える金額を入力すると、右に示す画面が表示されます。

金額入力に戻る場合は　F1（訂正）キー

取引を継続する場合は　F2（継続）キー

取引を中止する場合は　F3（中止）キー

を押してください。



Point

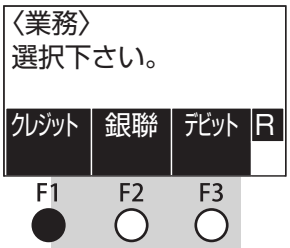
・デビット警告金額（設定モード：業務設定）を０円に設定すると右の画面は表示されません。

1.5 カード会社からの最新情報の受取り（DLL）

この操作は、取り扱いカード会社の情報、売上票に印字される加盟店名称・電話番号などに変更が生じた場合、本機にカード会社からの最新情報を受け取るために行います。
カード会社または CARDNET サービスデスクからの要請があったときに行ってください。

1

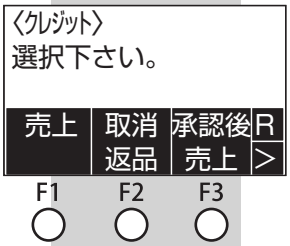
＜本体画面＞



F1
○（クレジット）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- クレジット専用端末の場合は、左の画面が表示されません。

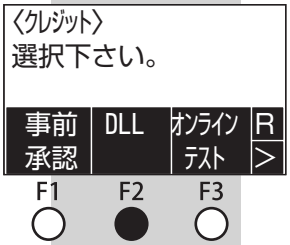
2



次画面
○（次画面）キーを押します。

Point
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。
- 再印字は、左の画面で有効です。

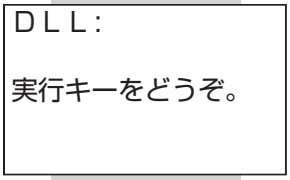
3



F2
○（DLL）キーを押します。

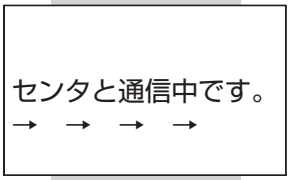
Point
- F1 ○（事前承認）キーについては、申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。

4



実行キーを押します。

5



センタとの通信が開始されます。

Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。

6

データ保存中
電源を切らないで
お待ち下さい。

最新情報を反映しています。
電源を OFF にしないでください。

7

センタとの通信を
終了しました。

センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

8

1枚目を印字中です。

1 枚目の伝票の印字が開始されます。

9

1枚目を印字しました
切り取って下さい。

伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

10

〈業務〉
選択下さい。

ｸﾚｼﾞｯﾄ	銀聯	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ	R

F1　F2　F3

伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

Point

・業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
・オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。

〈業務〉
選択下さい。

売上	取消 返品	承認後 売上	R ＞

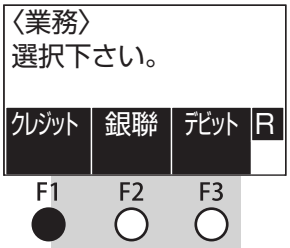
F1　F2　F3

1.6 オンラインテスト

この操作は、端末と CARDNET センタとのオンライン通信に問題がないかを確認するときに行います。CARDNET サービスデスクからの要請があったときに行ってください。

1

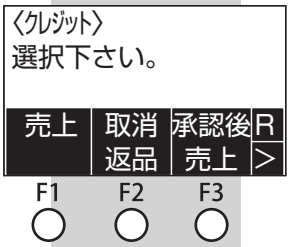
＜本体画面＞



F1
◯（クレジット）キーを押します。

Point
- ご契約内容によって表示される内容が異なります。
- 再印字は、左の画面で有効です。
- クレジット専用端末の場合は、左の画面が表示されません。

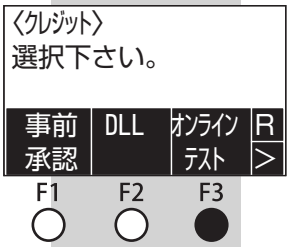
2



次画面
◯（次画面）キーを押します。

Point
- オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。
- 再印字は、左の画面で有効です。

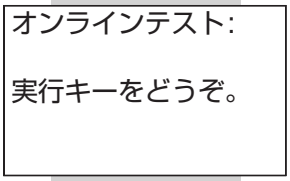
3



F3
◯（オンラインテスト）キーを押します。

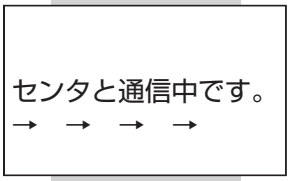
Point
- F1
◯（事前承認）キーについては、申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。

4



実行キーを押します。

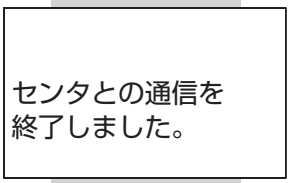
5



センタとの通信が開始されます。

Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。

6



センタとの通信が終了すると、伝票の印字が開始されます。

7

1枚目を印字中です。

1 枚目の伝票の印字が開始されます。

8

1枚目を印字しました
切り取って下さい。

伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

9

〈業務〉
選択下さい。

ｸﾚｼﾞｯﾄ	銀聯	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ	R

F1　F2　F3

伝票の印字が終わったら、業務初期画面に戻ります。

Point

・業務初期画面は、クレジット専用端末の場合、次の画面となります。
・オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上機能はありません。

〈業務〉
選択下さい。

売上	取消 返品	承認後 売上	R ＞

F1　F2　F3

1.7 カード情報の手動入力（マニュアル入力）

お客様のクレジットカードが読み取れない場合、お客様のクレジットカードが無い場合、銀聯取引においてカード情報を入力する場合に行います。

ただし、カード会社によってはマニュアル入力ができない場合もありますので、そのときは、該当カード会社へ問い合わせてください。

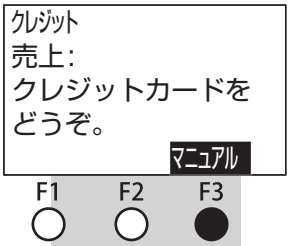
1.7.1 マニュアル入力

「お客様のカードが読み取れない場合」や「お客様のカードが無い場合」に行う手動入力（マニュアル入力）の操作について説明します。

■ クレジットの手動入力動作

クレジットの手動入力（マニュアル入力）の操作について、説明します。

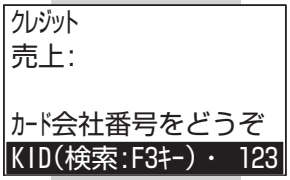
1



F3 ○（マニュアル）キーを押します。

Point
- 左の画面の「売上 :」は売上から利用した場合の例です。選択された取引の名称が表示されます。

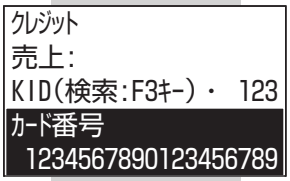
2



カード会社番号を入力し、セットキーを押します。

Point
- 本機でご利用できるカード会社の KID3 桁を入力します。
- ご利用できるカード会社がわからない場合は、「KID 入力」（2-87 ページ）の検索操作か、または「KID 一覧」（2-98 ページ）を出力して確認してください。
- F3 ○（KID 検索）キーについては、「KID 入力」（2-87 ページ）を参照してください。

3



カード番号を入力し、セットキーを押します。

Point
- カード番号は、19 桁まで入力できます。

4

有効期限を入力し、セットキーを押します。

→ 次の操作へ

Point
- 有効期限は、年と月、4 桁で入力してください。（左の画面は、有効期限が 2015 年 12 月の場合の例です。）

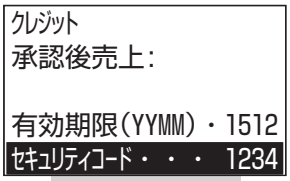
(1) クレジット売上処理・事前承認（オーソリ予約）処理の場合

ここからは、カードが読み取られたときと同じ操作手順です。
「クレジット売上処理」(2-11 ページ　操作 ***4*** 以降を参照)、「クレジット事前承認処理　オーソリ予約」(2-35 ページ　操作 ***6*** 以降を参照)

(2) クレジット取消返品処理の場合

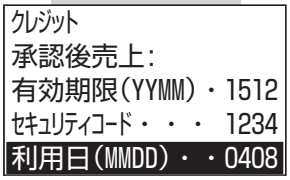
ここからは、カードが読み取られたときと同じ操作手順です。
「クレジット取消返品処理」(2-42 ページ　操作 ***5*** 以降を参照)

(3) クレジット承認後売上処理の場合



お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力し、セットキーを押します。

Point
- 申し込み時のカード会社とのご契約によって、左の画面が表示されない場合があります。
- セキュリティコードは４桁まで入力できます。
- 次の場合は、セットキーのみを押してください。セキュリティコードの入力をスキップすることができます。
  - セキュリティコードが不明な場合
  - セキュリティコードの入力を省略する場合
- セキュリティコードについてご不明な場合は、ご契約されているカード会社へ問い合わせてください。



利用日を入力し、セットキーを押します。

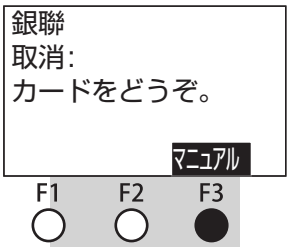
Point
- 利用日は、月と日、４桁で入力してください。
  （左の画面は、利用日が４月８日の場合の例です。）

ここからは、カードが読み取られたときと同じ操作手順です。
「クレジット承認後売上処理」(2-32 ページ　操作 ***5*** 以降を参照)

■ 銀聯カード取引の手動入力操作

銀聯カード取引の手動入力（マニュアル入力）の操作について、説明します。
カード情報（カード番号、有効期限）を数字キーで入力できます。
銀聯取消、銀聯返品において、ご契約によってはマニュアル入力が可能な場合があります。
券面に有効期限が表記されていないカードがございます。この場合、マニュアル入力はご利用いただけませんので、ご注意ください。

1



F3
○（マニュアル）キーを押します。

Point
・ 左の画面の「取消 :」は銀聯取消処理を選択した場合の例です。返品の場合は、「返品 :」が表示されます。

2

カード番号を入力し、セットキーを押します。

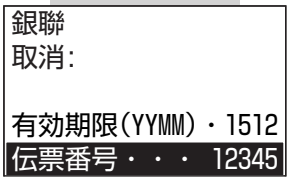
Point
・ カード番号は 19 桁まで入力できます。

3

有効期限を入力し、セットキーを押します。

Point
・ 有効期限は、年と月、4 桁で入力してください。
（左の画面は、有効期限が 2015 年 12 月の場合の例です。）

4



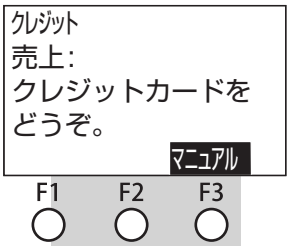
伝票番号を入力します。
売上票に印字されている伝票番号を入力し、
セットキーを押します。

Point
・ 以降の操作については、カードが読み取られたときと同じ操作です。
取消：2-60 ページの操作 ***5*** 以降を参照
返品：2-65 ページの操作 ***5*** 以降を参照

1.7.2　KID 入力 (カード会社番号入力)

この操作は、端末で自動的にカード会社の判定ができない場合に行います。

1

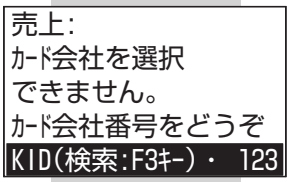


カード入力処理を行います。

Point

- 左の画面の「売上 :」は売上から利用した場合の例です。選択された取引の名称が表示されます。
- F3 ◯（マニュアル）キーを押すと、カード情報の手動入力ができます。詳しくは、「マニュアル入力」（2-84 ページ）を参照してください。

2

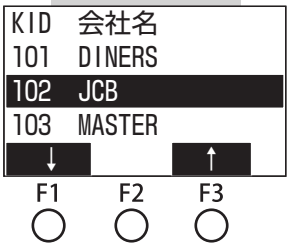


このようなメッセージが表示されたら、KID（カード会社番号）を入力し、セット キーを押します。

Point

- 本機でご利用できるカード会社の KID3 桁を入力します。
- ご利用できるカード会社がわからない場合は、F3 ◯（検索）キーを押して、操作 ***3*** の KID 検索か、または「KID 一覧」（2-98 ページ）を出力して確認してください。

3



F1 ◯（↓）／F3 ◯（↑）キーで、適切な会社名を選択し、セット キーを押して決定します。

ここからは、通常の業務操作と同じです。	
（IC クレジットカード取り扱いの場合）	（磁気クレジットカード取り扱いの場合）
売上： 2-9 ページの操作 7 以降を参照	**売上：** 2-11 ページの操作 4 以降を参照
承認後売上： 2-33 ページの操作 10 以降を参照	**承認後売上：** 2-32 ページの操作 4 以降を参照
事前承認処理（オーソリ予約）： 2-36 ページの操作 10 以降を参照	**事前承認処理（オーソリ予約）：** 2-35 ページの操作 6 以降を参照
事前承認処理（カードチェック）： 2-39 ページの操作 7 以降を参照	**事前承認処理（カードチェック）：** 2-39 ページの操作 6 以降を参照
取消返品（売上／承認後売上取消）： 2-44 ページの操作 11 以降を参照	**取消返品（売上／承認後売上取消）：** 2-42 ページの操作 5 以降を参照
取消返品（オーソリ予約取消）： 2-48 ページの操作 10 以降を参照	**取消返品（オーソリ予約取消）：** 2-47 ページの操作 5 以降を参照

2 店舗業務

ここでは、毎日の集計や各種の設定など本機をお使いいただく場合に知っておいていただきたい内容について説明します。

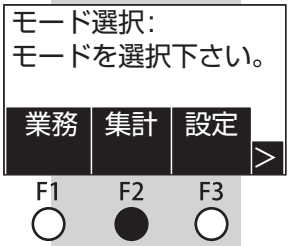
2.1 集計業務

2.1.1 集計業務に入る前に

1

電源を ON にします。パスワードが設定されている場合、業務パスワードを入力します。

2



F2（集計）キーを押します。

3

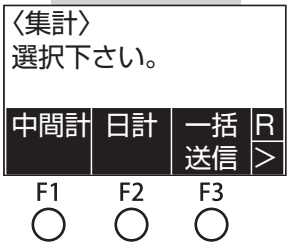
管理パスワードを入力し、セットキーを押します。

Point

- パスワードが設定されていない場合は、左の画面は表示されません。
- 入力したパスワードは「＊」で表示されます。
- パスワードは 8 桁まで入力できます。

4

＜集計初期画面＞



各集計業務は、左の画面（集計初期画面）から始めてください。

→ 各集計業務の操作へ

Point

- ご契約内容によって、F3（一括送信）キーについては、表示されない場合があります。

集計業務での各処理の一覧を次に示します。

業　務　名	内　容	ページ
中間計業務	1 日の途中で、現在までの取引の内容を伝票に印字する操作	2-90
日計業務	1 日の営業終了後に、取引の内容を伝票に印字する操作	2-92
一括送信業務（結果通知）	IC クレジットカード取引の結果通知送信が失敗の場合に強制（一括）送信を行う操作	2-95
KID 一覧	本機で利用できるカード会社名を伝票に印字する操作	2-98

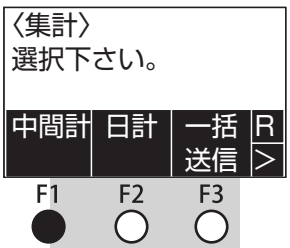
Point

本機は、カード取引のあった日の営業終了後、日計を必ず行う必要があります。
日計表には、成立した取引の明細が印字されます。
また、端末とセンタの間で取引の不整合が発生している場合は、その取引明細に「＊」を印字する場合があります。この場合、小計欄に「NG」と印字されますので CARDNET サービスデスクに必ず連絡してください。その際、「＊」が印字されている取引明細も合わせて連絡してください。

2.1.2　中間計業務

1 日の途中で現在までの取引を確認したいとき、取引の内容を伝票に印字して確認することができます。

1

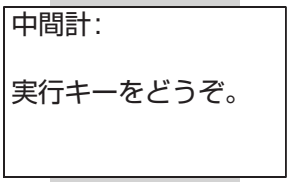


F1 ○（中間計）キーを押します。

Point

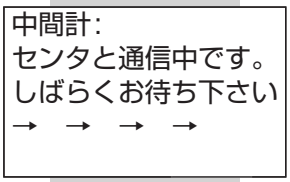
・ F3 ○（一括送信）キーについては、申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。

2



実行 キーを押します。

3

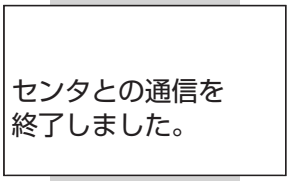


センタとの通信が開始されます。

Point

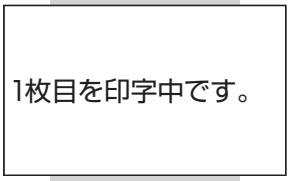
・ 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
・ 未送信の結果通知データが残っている場合にのみ表示されます。

4



センタとの通信が終了すると一定時間左の画面が表示されます。

5



中間計データを 1 枚目の伝票に印字します。
（伝票は 2-143 ページを参照してください。）

6

1枚目を印字しました
切り取って下さい。

左の画面が一定時間表示されます。伝票を切り取ってください。

Point

・印字データが２枚の場合は、下記の画面が表示されます。伝票を切り取り後、実行キーを押してください。２枚目の伝票が印字されます。

1枚目を印字しました
切り取り後、実行キー
をどうぞ。

7

〈集計〉
選択下さい。

中間計	日計	一括送信	R >
F1 ○	F2 ○	F3 ○	

集計初期画面に戻ります。

Point

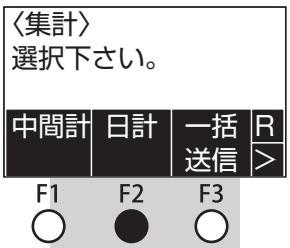
・F3 ○（一括送信）キーについては、申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。

2.1.3　日計業務

カード取引のあった日の営業終了後に、日計を行う場合に行います。

Point
1 度日計を出してしまうと集計データがクリアされてしまいます。
もう一度、同じ内容の日計表を出力したい場合には、再印字を行ってください。

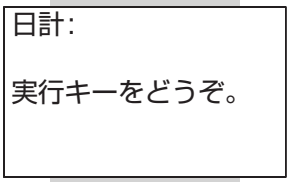
1



F2 ○（日計）キーを押します。

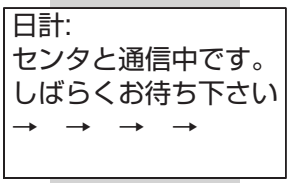
Point
・ F3 ○（一括送信）キーについては、申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。

2



実行キーを押します。

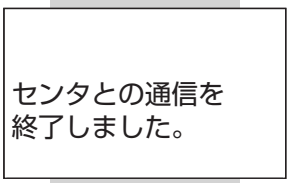
3



センタとの通信が開始されます。

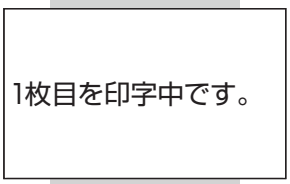
Point
・ 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
・ 未送信の結果通知データが残っている場合にのみ表示されます。

4



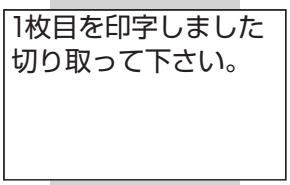
センタとの通信が終了すると一定時間左の画面が表示されます。

5



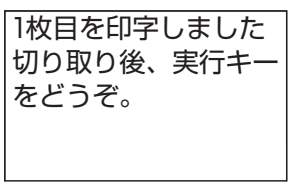
日計データを 1 枚目の伝票に印字します。
（伝票は 2-143 ページを参照してください。）

6

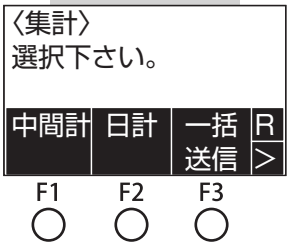


左の画面が一定時間表示されます。伝票を切り取ってください。

Point
・ 印字データが２枚の場合は、下記の画面が表示されます。伝票を切り取り後、実行キーを押してください。２枚目の伝票が印字されます。



7



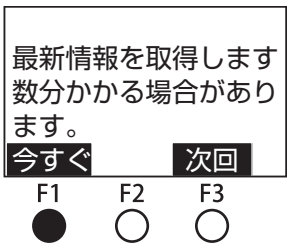
集計初期画面に戻ります。

Point

・F3 ◯（一括送信）キーについては、申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。

MEMO

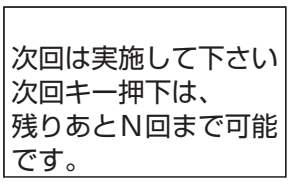
本機に機能追加や設定内容の変更が生じた場合、本機を最新情報で更新するために日計処理後に下の画面が表示される場合があります。この場合、画面に従って処理を進めてください。



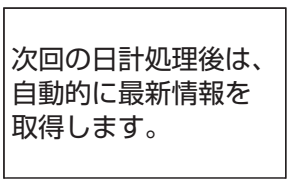
F1 ◯（今すぐ）キーを押してください

Point

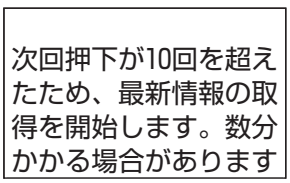
・上記画面でF3 ◯（次回）キーを押した場合、下の画面が表示され伝票を印字します。
（F3 ◯（次回）キーは 10 回のみ押下可能です。Nに残りの押下可能な回数が表示されますので、早めに最新情報の取得を行ってください。）



・10 回連続してF3 ◯（次回）キーを押した場合は、10 回目に下の画面が表示されます。

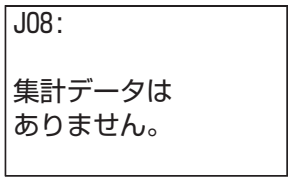


・上の画面表示後の次の日計処理後には、下記の画面を一定時間表示した後、自動的に最新情報の取得が行われます。



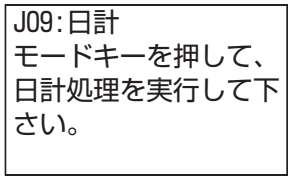
2.1.4　中間計・日計業務においてのお願い

◆ 前回の日計から 1 件も取引が成立していない場合に、中間計・日計を実行すると次のような画面が表示されます。



＊一定時間後に集計初期画面に戻ります。

◆ 本機は 3 日間、日計操作を行わなかった場合は、日計操作をしていただくため、次のような画面を表示します。この画面表示にしたがって モード キーを押すと、通常のモード選択画面を表示しますので、日計処理を行ってください。日計処理を行わなくとも、リセット キーを押すと取引はできますが、取引が終わるたびに下の画面を表示しますので、早めに日計操作を行ってください。



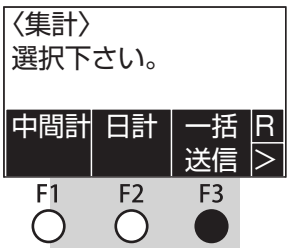
MEMO

本機には、クレジットカード最大 400 件分、銀聯カード最大 300 件分、デビットカード最大 100 件分のデータを記録できます。記録できる取引件数が残り 10 件以下になると「日計処理を実行してください。」とメッセージによる注意を行いますが、そのまま日計を行わずに最大件分の取引がたまってしまうと、上の画面を表示したまま、取引ができなくなります。（リセット キーも無効となります。）このときは、集計モードにして日計を行えば、元通りに使用できるようになります。ただし、その際、最大件分の取引内容が印字されますので、時間を要します。

2.1.5　一括送信業務（結果通知）

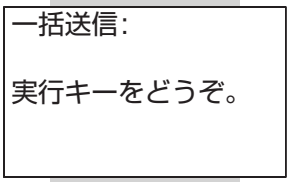
「IC クレジットカード取引」処理後の結果通知が失敗した場合に、未送信の結果通知データを送信するための操作です。
一括送信業務（結果通知）は、端末を申し込みされたカード会社と「IC クレジットカード取引」業務のご契約がある場合にのみご利用になれます。

1



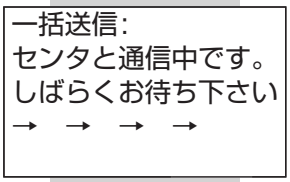
F3
○（一括送信）キーを押します。

2



実行キーを押します。

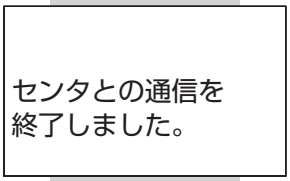
3



センタとの通信が開始されます。

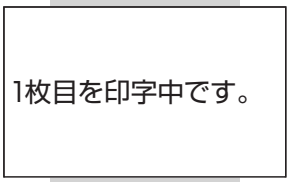
Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 未送信の結果通知データが残っている場合にのみ表示されます。
- 通信が終了すると、操作 ***4*** の画面が表示されます。

4



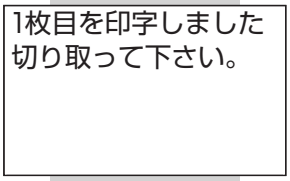
センタとの通信が終了すると、左の画面が表示されます。

5



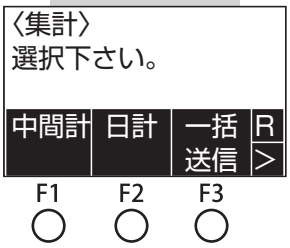
結果を 1 枚目の伝票に印字します。

6



印字が終了すると、左の画面を一定時間表示します。
伝票を切り取ってください。

7



集計初期画面に戻ります。

2.1.6　一括送信業務（結果通知）においてのお願い

「IC クレジットカード取引」処理後、通常売上票印字前に結果通知を行います。
送信が失敗した場合には、次の画面が表示されますので、一括送信業務（結果通知）の手順にそって処理を行ってください。

I12:XXXX　通信エラー ｾﾝﾀへの処理結果通知 に失敗しました。 実行キーをどうぞ。

実行キーを押してください。データが再送信されます。
リセットキーを押すと処理が中断され、下の画面が表示されます。

◆ 3 回再送してエラーになった場合は、次の画面が表示されます。

I13:通信ﾘﾄﾗｲｱｳﾄ ｾﾝﾀへの処理結果通知 に失敗しました。 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL:0120-800-661

リセットキーを押すと処理が終了し、下の画面が表示されます。

◆ 業務規制になった場合は、次の画面が表示されます。

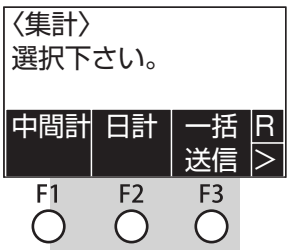
I15:業務規制中 モードキーを押して、 一括送信処理を実行 して下さい。

モード キーを押すとモード選択画面が表示されます。モード選択画面にて、F2（集計）キーを押し、F3（一括送信）キーを押して一括送信業務を行ってください。

2.1.7　KID 一覧

この操作を行うと、本機でご利用できるカード会社名の一覧を印字できます。
もし、ご利用カード会社の名前がないときは、該当のカード会社へ連絡してください。

1

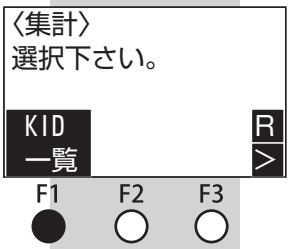


次画面 ○（次画面）キーを押します。

Point

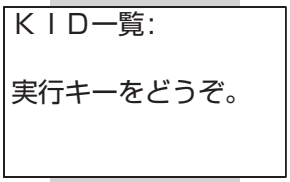
・ F3 ○（一括送信）キーについては、申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。

2



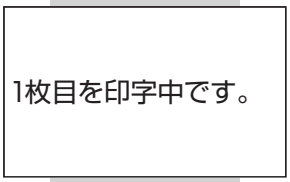
F1 ○（KID 一覧）キーを押します。

3



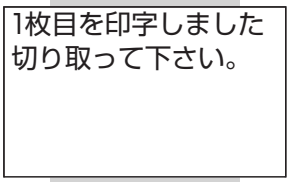
実行 キーを押します。

4



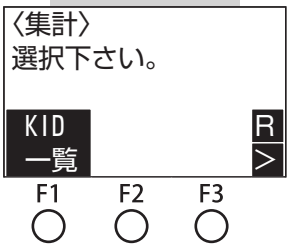
カード会社の会社一覧が伝票に印字されます。
（伝票は 2-150 ページを参照してください。）

5



印字が終了すると、左の画面を一定時間表示します。
伝票を切り取ってください。

6

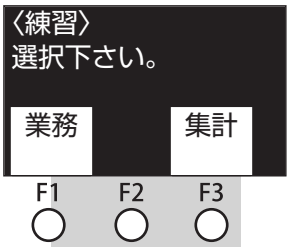


左の画面に戻ります。

2.2 練習モード

本機になれていない販売員の方に、業務の練習をしていただくときにお使いいただける機能です。
通常の販売業務との区別を一目見てわかるように、練習モードのときは、画面が反転しています。
練習モードでお取り扱いできるカードは、磁気クレジットカードの場合は端末に登録されているカード会社のカードだけです。IC クレジットカードの場合は端末に登録されていないカード会社のカードまたは、IC チップが付いていないカードもご利用できます。

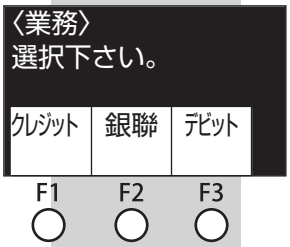
1



F1（業務）キーまたはF3（集計）キーを押します。

Point
・練習したいモードを選択します。

2

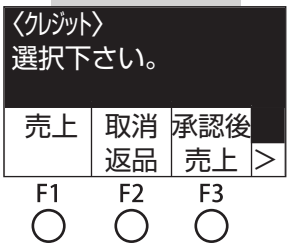


F1（クレジット）キー、F2（銀聯）キーまたはF3（デビット）キーを押します。

Point
・ご契約内容によって、F2（銀聯）、F3（デビット）などが表示されない場合があります。

3

(1) 業務／クレジットを選んだ場合

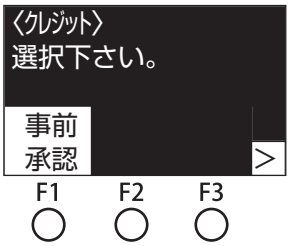


F1～F3キーを押して、練習したい業務区分を選択するか、次画面（次画面）キーを押して、他の業務区分を表示させます。

→　各操作へ

Point
・クレジット専用端末の場合、〈業務〉と表示されます。
・以降の操作は通常業務と同じです。
・オーソリ専用端末には、クレジット承認後売上の機能はありません。

F1（売上）キーを押した場合	クレジット売上（2-7 ページ）を参照してください。
F2（取消返品）キーを押した場合	クレジット取消返品（2-41 ページ）を参照してください。
F3（承認後売上）キーを押した場合	クレジット承認後売上（2-31 ページ）を参照してください。



F1 ◯キーを押して、練習したい業務区分を選択します。

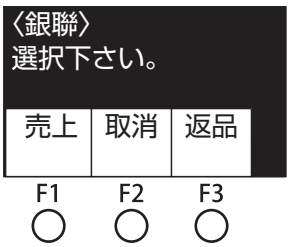
→ 各操作へ

Point

・F1 ◯（事前承認）キーについては、申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。

F1 ◯（事前承認）キーを押した場合.....クレジット事前承認（2-34 ページ）を参照してください。

(2) 業務／銀聯を選んだ場合

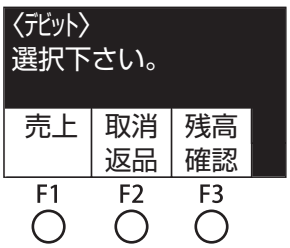


F1 ◯～F3 ◯キーを押して、練習したい業務区分を選択します。以降の操作は通常業務と同じです。

→ 各操作へ

F1 ◯（売上）キーを押した場合 .....銀聯売上処理（2-55 ページ）を参照してください。
F2 ◯（取消）キーを押した場合 .....銀聯取消処理（2-59 ページ）を参照してください。
F3 ◯（返品）キーを押した場合 .....銀聯返品処理（2-64 ページ）を参照してください。

(3) 業務／デビットを選んだ場合



F1 ◯～F3 ◯キーを押して、練習したい業務区分を選択します。

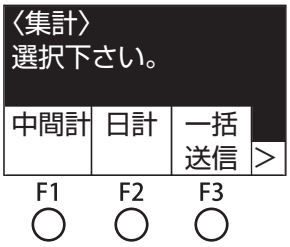
→ 各操作へ

Point

・F3 ◯（残高確認）キーについては、端末の業務設定によって、表示されない場合があります。詳しくは、「業務設定」（2-113 ページ）を参照してください。
・以降の操作は通常業務と同じです。

F1 ◯（売上）キーを押した場合 .....デビット売上（2-68 ページ）を参照してください。
F2 ◯（取消返品）キーを押した場合.....デビット取消返品（2-72 ページ）を参照してください。
F3 ◯（残高確認）キーを押した場合.....デビット残高確認（2-76 ページ）を参照してください。

(4) 集計を選んだ場合



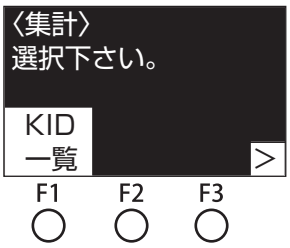
F1 ○～F3 ○キーを押して、練習したい集計区分を選択するか、次画面 ○（次画面）キーを押して、他の集計区分を表示させます。

→　各操作へ

Point

・ご契約内容によって、F3 ○（一括送信）キーについては、表示されない場合があります。
・以降の操作は通常業務と同じです。

F1 ○（中間計）キーを押した場合..... 中間計業務（2-90 ページ）を参照してください。
F2 ○（日計）キーを押した場合 ..... 日計業務（2-92 ページ）を参照してください。
F3 ○（一括送信）キーを押した場合..... 一括送信業務（2-95 ページ）を参照してください。



F1 ○キーを押して、練習したい集計区分を選択します。

Point

・以降の操作は通常業務と同じです。

F1 ○（KID 一覧）キーを押した場合 .....KID 一覧（2-98 ページ）を参照してください。

MEMO

練習モードは実際の業務ではありませんので、発行される伝票にはダミーのデータを印字します。間違って実際に取引を行った伝票に混じらないように破棄してください。

2.3 設定モード

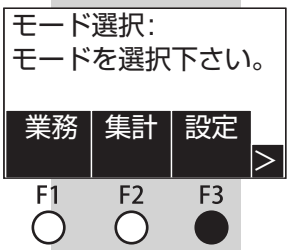
本機の加盟店情報の設定を行う機能です。

2.3.1 設定モードに入る前に

1

電源を ON にします。パスワードが設定されている場合、業務パスワードを入力します。

2



F3（設定）キーを押します。

3

管理パスワードを入力し、セットキーを押します。

Point

- パスワードが設定されていない場合は、左の画面は表示されません。
- 入力したパスワードは「*」で表示されます。
- パスワードは 8 桁まで入力できます。

4

各設定業務は、左の画面（設定初期画面）から始めてください

→ 各設定業務の操作へ

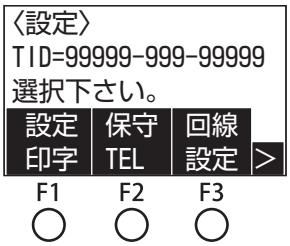
設定業務での各処理の一覧を次に示します。

設　定　名	内　容	ページ
保守 TEL	保守会社連絡先電話番号を表示します。	2-104
回線設定	回線の種別、外線発信番号、IP アドレスを設定します。	2-105
機器設定	次の各項目を設定します。 キー押下音（あり / なし） 音量（大 / 中 / 小） ローカルメッセージ（売上票のご案内欄に印字するメッセージ） ピンパッド接続（ピンパッド接続の有無） PIN ビープ音（ピンパッドの音量） PIN コントラスト（ピンパッドの表示濃度） キー入力タイマ（操作中で放置防止タイマ） 暗証入力タイマ（暗証番号の保護タイマ） 本体コントラスト（本体の表示濃度）	2-109
業務設定	次の各項目を設定します。 各種レシート枚数 デビット警告金額 残高確認表示の有無 残高確認伝票印字の有無 伝票への「CARDNET」ロゴ印字の有無 お客様控え伝票への英語併記の有無 支払詳細データの印字の有無 日計タイムスタンプ機能の有無 自動日計時間 日計サマリタイプ	2-113
IC 設定	次の各項目を設定します。 商品コード入力（あり / なし） その他入力（あり / なし）	2-118
AP 設定	アクセスポイントの電話番号を変更する場合に設定します。	2-120
パスワード設定	電源 ON 時の端末操作パスワード（業務パスワード）、集計・設定モード操作時のパスワード（管理パスワード）を設定します。	2-122
設定印字	設定内容を出力します。	2-125
カードテスト	磁気カードリーダの読み取りテストを行います。	2-127
Ping 送信	Ping 送信を行います。	2-128

2.3.2　端末識別番号（TID）の確認

本機の識別番号（TID）は設定初期画面に表示されています。

1



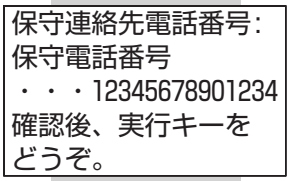
2.3.3　保守会社連絡先電話番号の確認

本機に異常が起きた場合に連絡する保守会社の電話番号を確認するときに使います。

1

F2 ◯（保守 TEL）キーを押します。

2



保守連絡先電話番号を確認後、実行キーを押します。

3

左の画面に戻ります。

2.3.4　回線設定

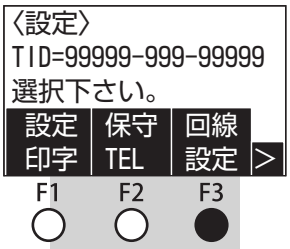
本機を接続している回線種別を変更した場合に回線種別を設定します。

Point

各設定項目で変更の必要のないものについては、セットキーのみを押すとその項目は元の設定のままとなります。

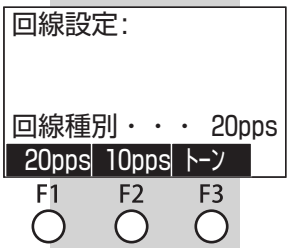
〈アナログ回線の場合〉

1



F3（回線設定）キーを押します。

2

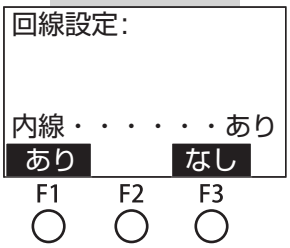


F1（20pps）、F2（10pps）またはF3（トーン）キーを押して、回線種別を選択し、セットキーを押します。

Point

・ 20pps（ダイヤル回線）にしたい場合は、F1（20pps）キーを、10pps（ダイヤル回線）にしたい場合は、F2（10pps）キーを、トーン（プッシュ回線）にしたい場合は、F3（トーン）キーを押します。

3



F1（あり）またはF3（なし）キーを押して、内線の有無を選択し、セットキーを押します。

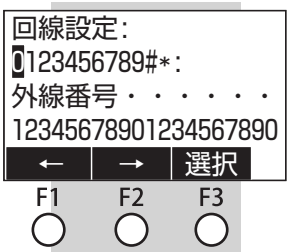
Point

・ 内線を使用している場合は、F1（あり）キーを押します。 → 操作 ***4*** （1）へ

・ 内線を使用していない場合は、F3（なし）キーを押します。 → 操作 ***4*** （2）へ

4

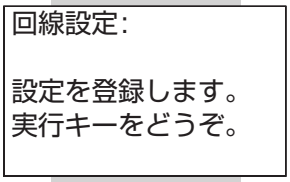
(1) 内線種別“あり”の場合



F1 (←) または F2 (→) キーで数字／記号を選択し、F3 (選択) キーで決定します。

Point

- 外線番号は、20 桁まで入力できます。
- 外線がつながる番号（0 など）の後には自動的に 2 秒間の待ち時間が設定されています。
- 数字は数字キーでも入力可能です。

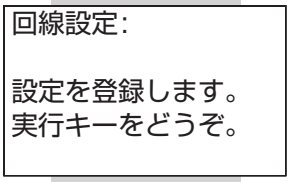


設定内容を登録される場合、実行キーを押します。

Point

- 本画面でリセットキーを押した場合、設定内容は登録されませんので、注意してください。

(2) 内線種別“なし”の場合

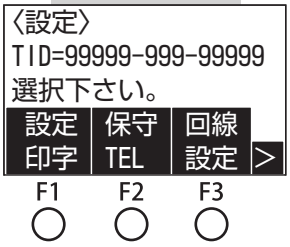


設定内容を登録される場合、実行キーを押します。

Point

- 本画面でリセットキーを押した場合、設定内容は登録されませんので、注意してください。

5



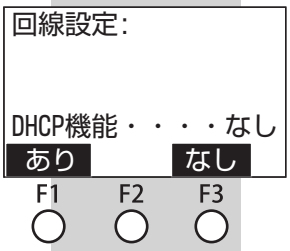
左の画面に戻ります。

〈LAN 回線の場合〉

1

F3 ○（回線設定）キーを押します。

2

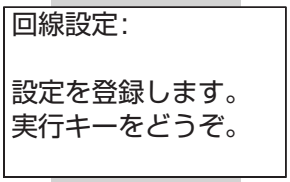


F1 ○（あり）または F3 ○（なし）キーを押して、DHCP 機能の有無を選選択し、セットキーを押します。

→ DHCP 機能“あり”の場合、操作 **3**（1）へ
→ DHCP 機能“なし”の場合、操作 **3**（2）へ

3

(1) DHCP 機能“あり”の場合



設定内容を登録される場合、実行キーを押します。

Point
・本画面でリセットキーを押した場合、設定内容は登録されませんので、注意してください。

(2) DHCP 機能“なし”の場合

端末の IP アドレスを入力し、セットキーを押します。

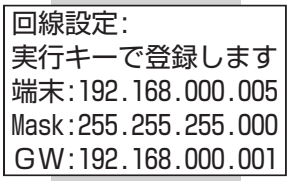
Point
・全 12 桁を入力してください。
3 桁入力ごとに自動的に「 . 」が表示されます。

サブネットマスクを入力し、セットキーを押します。

Point
・全 12 桁を入力してください。
3 桁入力ごとに自動的に「 . 」が表示されます。

デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力し、セットキーを押します。

Point
・全 12 桁を入力してください。
3 桁入力ごとに自動的に「 . 」が表示されます。



回線設定確認画面を確認後、設定内容を登録される場合、実行キーを押します。

Point

・本画面でリセットキーを押した場合、設定内容は登録されませんので、注意してください。

4

左の画面に戻ります。

2.3.5　機器設定

次の項目について確認または変更するときに行います。

- キー入力時の音のあり / なし
- ローカルメッセージの種類
- PIN ビープ音の大 / 中 / 小
- PIN コントラストの表示濃度
- 本体コントラストの表示濃度
- 本体ブザー音量の大 / 中 / 小
- キー入力タイマ
- ピンパッド接続
- 暗証入力タイマ

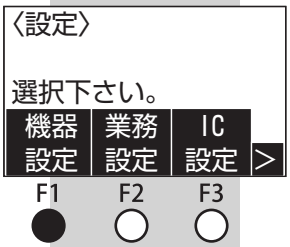
Point

- 各設定項目で変更の必要のないものについては、セットキーのみを押すとその項目は元の設定のままとなります。
- 設定の途中で、それ以降の設定項目を変更しない場合は、実行キーを押します。
  以降の画面をスキップして、操作 ***12*** 画面が表示されます。

1

次画面 ○ **（次画面）キーを押します。**

2

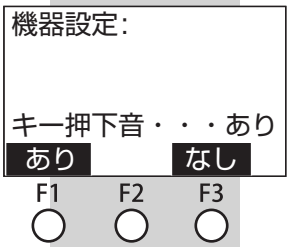


F1 ○ **（機器設定）キーを押します。**

Point

- ご契約内容によって、F3 ○ (IC 設定)キーについては、表示されない場合があります。

3

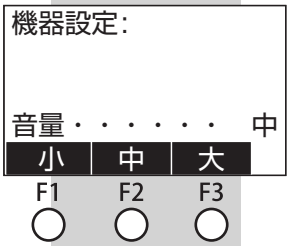


F1 ○ **（あり）または** F3 ○ **（なし）キーを押して、キー押下音の有無を設定し、セットキーを押します。**

Point

- キー押下音を“あり”にする場合は、F1 ○ (あり) キーを押します。
- キー押下音を“なし”にする場合は、F3 ○ (なし) キーを押します。

4

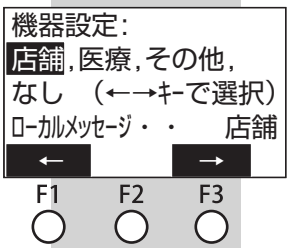


F1（小）、F2（中）または F3（大）キーを押して、音量を設定し、セットキーを押します。

Point

- 音量を“大きく”する場合は、F3（大）キーを押します。
- 音量を“中くらい”にする場合は、F2（中）キーを押します。
- 音量を“小さく”する場合は、F1（小）キーを押します。

5



F1（←）または F3（→）キーで店舗、医療、その他、なしのいずれかを選択し、ローカルメッセージの有無を設定し、セットキーを押します。

＜店舗＞

ご利用ありがとうございました。
またのご来店をお待ちしております。

＜医療＞

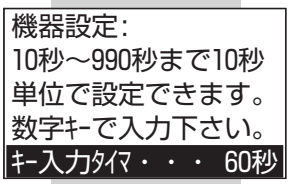
お大事に。
お気をつけてお帰り下さい。

＜その他＞

ご利用ありがとうございました。

※選択したローカルメッセージを 3 秒間表示し、次の画面に進みます。

6

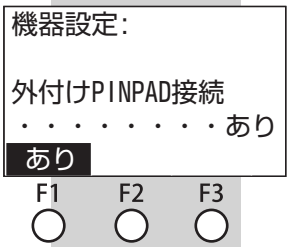


動作が途中で中断されてしまったときに処理を中止するまでの時間を、数字キーで入力し、セットキーを押します。

Point

- 入力値は 10 秒単位で行ってください。
- 60 秒にしたい場合は、「6」を入力してください。画面に 60 秒と表示されます。

7

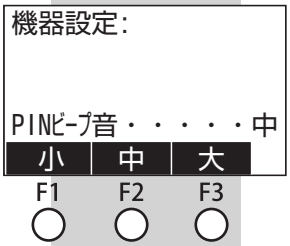


ピンパッド接続の有無を確認し、セットキーを押します。

Point

- 左の画面が表示されない場合があります。
- オプションのピンパッドを接続されている場合は“あり”に設定されます。（変更できません）

8

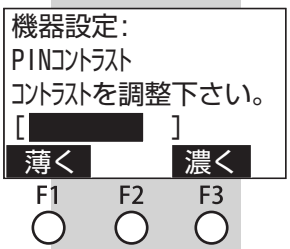


F1（小）、F2（中）、F3（大）キーを押して、PIN ビープ音を設定し、セットキーを押します。

Point

・左の画面は表示されない場合があります。
・ピンパッド音量を“大きく”する場合は、F3（大）キーを押します。
・ピンパッド音量を“中くらい”にする場合は、F2（中）キーを押します。
・ピンパッド音量を“小さく”する場合は、F1（小）キーを押します。

9

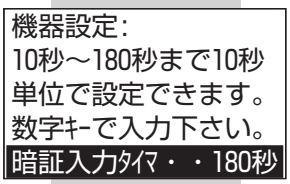


F1（薄く）または F3（濃く）キーで、ピンパッドのコントラストを見やすい濃さに調整し、セットキーを押します。

Point

・左の画面は表示されない場合があります。
・コントラストは 11 段階で設定できます。
“薄く”する場合は、F1キーを押します。
“濃く”する場合は、F3キーを押します。
キーを押すたびに、ピンパッド画面のコントラストが変更されますので、見やすい濃さに調整します。

10

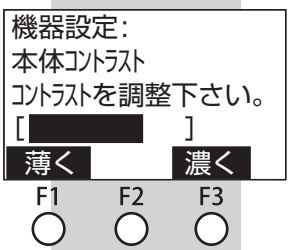


暗証番号の入力可能な時間を、数字キーで入力し、セットキーを押します。

Point

・左の画面は表示されない場合があります。
・入力値は 10 秒単位で行ってください。
・180 秒にしたい場合は、「1」「8」を入力してください。画面に 180 秒と表示されます。

11

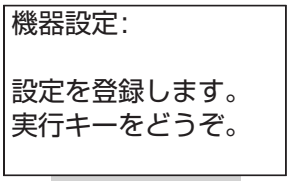


F1（薄く）または F3（濃く）キーで、本体のコントラストを見やすい濃さに調整し、セットキーを押します。

Point

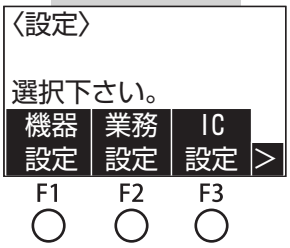
・コントラストは 12 段階で設定できます。
“薄く”する場合は、F1キーを押します。
“濃く”する場合は、F3キーを押します。
キーを押すたびに、本体画面のコントラストが変更されますので、見やすい濃さに調整します。

12



実行キーを押します。

13



左の画面に戻ります。

2.3.6　業務設定

次の項目について変更するときに行います。

- 業務のレシート枚数の設定
- 集計のレシート枚数の設定
- デビット警告金額の設定（デビット取引の警告金額：1 円単位）
- 残高確認表示のあり / なし
- 残高確認伝票印字のあり / なし
- お客様控え伝票への英語併記のあり / なし
- 伝票への「CARDNET」ロゴ印字のあり / なし
- 支払方法の詳細データ印字のあり / なし
- 日計タイムスタンプ機能のあり / なし
- 取引エラーのレシート枚数の設定
- 日計票タイプの設定（明細 / サマリ）
- 自動日計機能のあり / なし（起動時刻の設定）

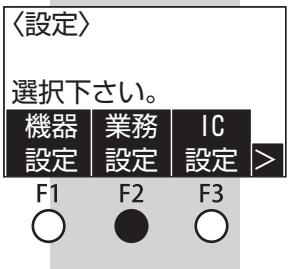
Point

- 各設定項目で変更の必要のないものについては、セットキーのみを押すとその項目は元の設定のままとなります。
- 設定の途中で、それ以降の設定項目を変更しない場合は、実行キーを押します。
  以降の画面をスキップして、操作 ***17*** 画面が表示されます。

1

次画面 ○ **（次画面）キーを押します。**

2

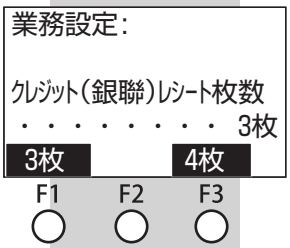


F2 ○ **（業務設定）キーを押します。**

Point

- F3 ○（IC 設定）キーについては、申し込み時のカード会社とのご契約によって表示されない場合があります。

3

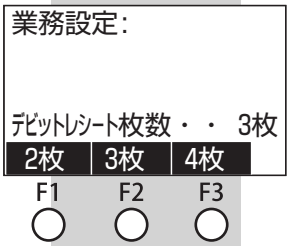


F1 ○ **（3 枚）または** F3 ○ **（4 枚）キーを押して、クレジット業務（および銀聯業務）のレシート枚数を設定し、セットキーを押します。**

Point

- ご契約によっては、「クレジットレシート枚数」と表示される場合があります。
- レシート枚数を“3枚”にする場合は、F1 ○（3枚）キーを押します。カード会社用、お客様控、加盟店控が印字されます。
- レシート枚数を“4枚”にする場合は、F3 ○（4枚）キーを押します。カード会社用、お客様控、加盟店控、集計用が印字されます。

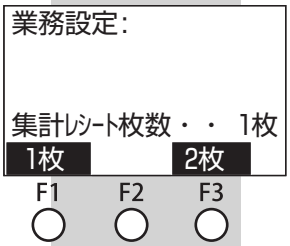
4



F2（3 枚）または F3（4 枚）キーを押して、デビット業務のレシート枚数を設定し、セットキーを押します。

Point
- 申し込み時のカード会社とのご契約によっては、左の画面は表示されない場合があります。
- レシート枚数を“3枚”にする場合は、F2（3枚）キーを押します。お客様控、保管センタ用、加盟店控が印字されます。
- レシート枚数を“4枚”にする場合は、F3（4枚）キーを押します。お客様控、保管センタ用、加盟店控、集計用が印字されます。
- 運用上、F1（2 枚）キーは選択しないでください。

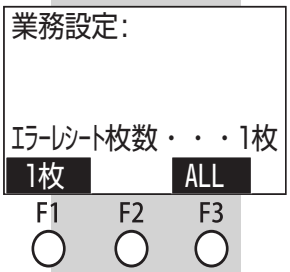
5



F1（1 枚）または F3（2 枚）キーを押して、集計のレシート枚数を設定し、セットキーを押します。

Point
- レシート枚数を“1 枚”にする場合は、F1（1 枚）キーを押します。
- レシート枚数を“2枚”にする場合は、F3（2枚）キーを押します。

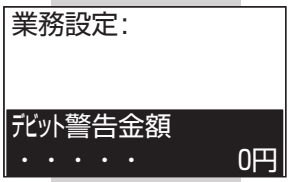
6



F1（1 枚）または F3（ALL）キーを押して、エラー時のレシート枚数を設定し、セットキーを押します。

Point
- レシート枚数を“1 枚”にする場合は、F1（1 枚）キーを押します。
- レシート枚数を“正常時と同じ”にする場合は、F3（ALL）キーを押します。

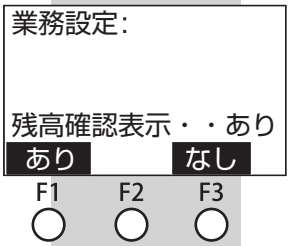
7



デビット取引の警告金額を、数字キーで入力し、セットキーを押します。

Point
- 申し込み時のカード会社とのご契約によっては、左の画面は表示されない場合があります。
- 入力金額は 8 桁まで入力できます。
- 入力金額は 1 円単位で入力します。
- デビット警告金額チェックを無しとする場合は、0 円を入力してください。

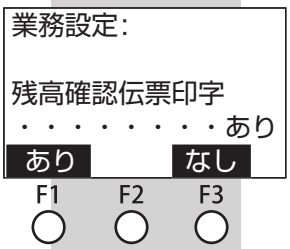
8



F1（あり）または F3（なし）キーを押して、デビットの残高確認表示の有無を設定し、セットキーを押します。

Point
- 申し込み時のカード会社とのご契約によっては、左の画面は表示されない場合があります。
- 残高確認表示を“あり”にする場合は、F1（あり）キーを押します。
- 残高確認表示を“なし”にする場合は、F3（なし）キーを押します。F3（なし）キーを押すと、操作 ***10*** の画面に進みます。

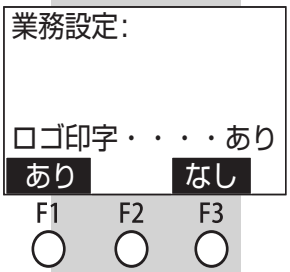
9



F1（あり）または F3（なし）キーを押して、デビットの残高確認伝票印字の有無を設定し、セットキーを押します。

Point
- 申し込み時のカード会社とのご契約によっては、左の画面は表示されない場合があります。
- 残高確認伝票印字を“あり”にする場合は F1（あり）キーを押します。
- 残高確認伝票印字を“なし”にする場合は F3（なし）キーを押します。

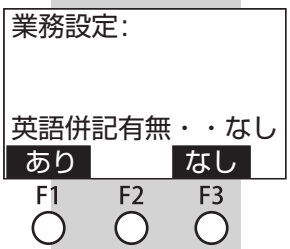
10



F1（あり）または F3（なし）キーを押して、ロゴ印字の有無を設定し、セットキーを押します。

Point
- ロゴ印字を“あり”にする場合は、F1（あり）キーを押します。
- ロゴ印字を“なし”にする場合は、F3（なし）キーを押します。

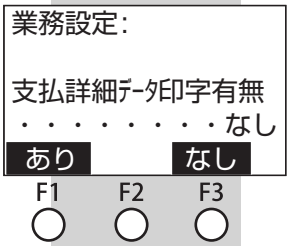
11



F1（あり）または F3（なし）キーを押して、お客様控え伝票への英語併記の有無を設定し、セットキーを押します。

Point
- 英語併記を“あり”にする場合は、F1（あり）キーを押します。
- 英語併記を“なし”にする場合は、F3（なし）キーを押します。

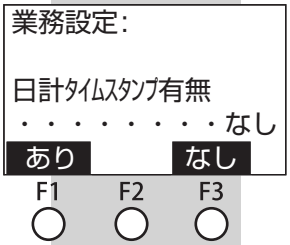
12



F1（あり）または F3（なし）キーを押して、支払い詳細データ（支払開始月、ボーナス月、初回金額等）の印字の有無を設定し、セットキーを押します。

Point
- 支払詳細データ印字を“あり”にする場合は、F1（あり）キーを押します。
- 支払詳細データ印字を“なし”にする場合は、F3（なし）キーを押します。

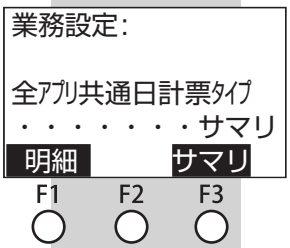
13



データ集計サービスをご利用の場合、F1（あり）または F3（なし）キーを押して、集計データに日計タイムスタンプを反映させるかを設定し、セットキーを押します。

Point
- 日計タイムスタンプを“あり”にする場合は、F1（あり）キーを押します。
- 日計タイムスタンプを“なし”にする場合は、F3（なし）キーを押します。

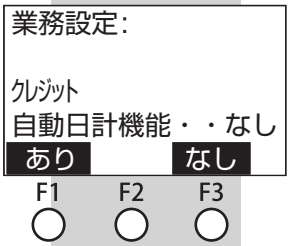
14



F1（明細）または F3（サマリ）キーを押して、日計票のタイプを設定し、セットキーを押します。

Point
- 日計票タイプを“明細”にする場合は、F1（明細）キーを押します。
  → 日計票イメージは 2-146 ページ参照
- 日計票タイプを“サマリ”にする場合は、F3（サマリ）キーを押します。
  → 日計票イメージは 2-143 ページ参照

15

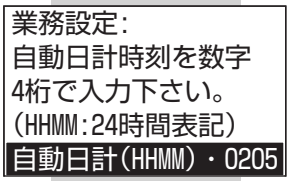


F1（あり）または F3（なし）キーを押して、自動日計機能の有無を設定し、セットキーを押します。

Point

- 自動日計機能を”あり”にする場合は、F1（あり）キーを押します。
- 自動日計機能を”なし”にする場合は、F3（なし）キーを押します。F3（なし）キーを押すと、操作 ***17*** の画面に進みます。
- ご契約によっては、「ｸﾚ･ﾃﾞﾋﾞ･銀聯自動日計機能」、「ｸﾚ･銀聯自動日計機能」と表示される場合があります。

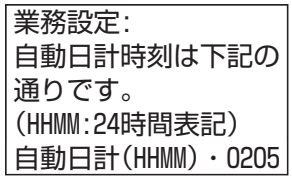
16



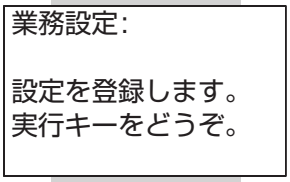
自動日計の時刻を 24 時間表記で、数字キーで入力し、セットキーを押します。

Point

- 24 時間表記で入力してください。
- 自動日計時刻の設定範囲は、「0000」（0：00）～「2359」（23：59）です。
  例：閉店後の AM1：00 に自動日計をさせる場合は、「0100」に設定します。
- ご契約内容によっては、下記メッセージを表示し、設定時刻の確認のみとなります。確認後、セットキーを押してください。

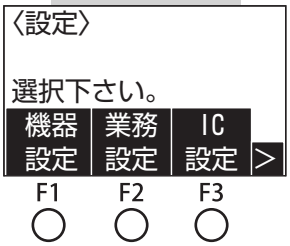


17



実行キーを押します。

18



左の画面に戻ります。

2.3.7　IC 業務設定

次の項目について変更するときに行います。

・商品コード入力のあり / なし

・その他入力のあり / なし

IC 業務設定は、端末を申し込みされたカード会社と「IC クレジットカード取引」業務のご契約がある場合にのみご利用になれます。

Point

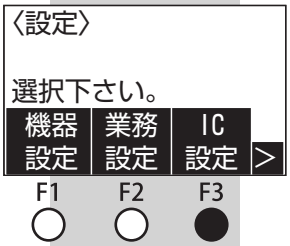
・ 各設定項目で変更の必要のないものについては、セットキーのみを押すとその項目は元の設定のままとなります。

・ 設定の途中で、それ以降の設定項目を変更しない場合は、実行キーを押します。
以降の画面をスキップして、操作 ***5*** 画面が表示されます。

1

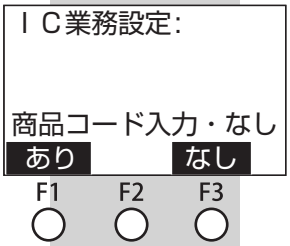
次画面 ○ **（次画面）キーを押します。**

2



F3 ○ **（IC 設定）キーを押します。**

3



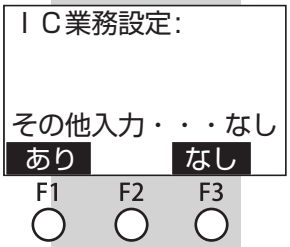
F1 ○ **（あり）または** F3 ○ **（なし）キーを押して、商品コード入力の有無を設定し、セットキーを押します。**

Point

・ 商品コード入力を“あり”にする場合は、
F1 ○（あり）キーを押します。

・ 商品コード入力を“なし”にする場合は、
F3 ○（なし）キーを押します。

4

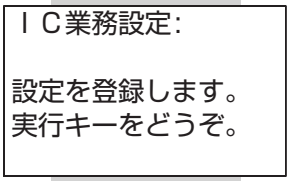


F1（あり）または F3（なし）キーを押して、その他入力の有無を設定し、セットキーを押します。

Point

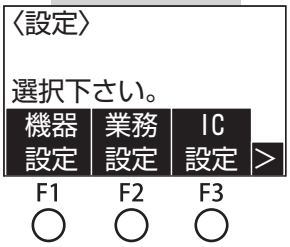
・その他入力を“あり”にする場合は、F1（あり）キーを押します。
・その他入力を“なし”にする場合は、F3（なし）キーを押します。

5



実行キーを押します。

6



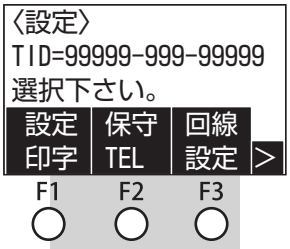
左の画面に戻ります。

2.3.8　AP（アクセスポイント）設定

AP 設定は本機がアナログ回線対応型のみ設定します。
端末が接続するアクセスポイントの電話番号を変更する場合に設定します。
アクセスポイントの電話番号として、第 1AP 電話番号と第 2AP 電話番号の 2 つを設定できます。
CARDNET サービスデスクからの要請があったときに行ってください。

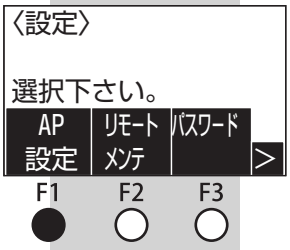
Point
・電話番号を間違えるとセンタとの通信ができなくなります。

1



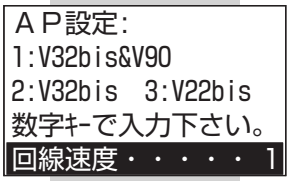
次画面 ○（次画面）キーを 2 回押します。

2



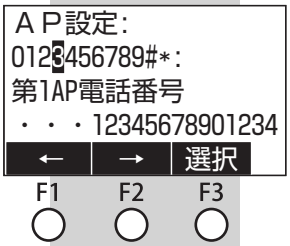
F1 ○（AP 設定）キーを押します。

3



数字キー（1 ～ 3）を押して、回線速度を設定し、
セット キーを押します。

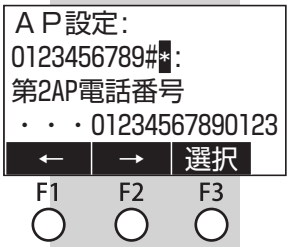
4



第 1AP（アクセスポイント）電話番号を設定し、
セット キーを押します。

Point
・第 1AP 電話番号は、最大 14 桁まで入力できます。
・F1 ○（←）、F2 ○（→）キーで数字 / 記号を選択し、F3 ○（選択）キーで決定します。
・数字は数字キーでの直接入力も可能です。

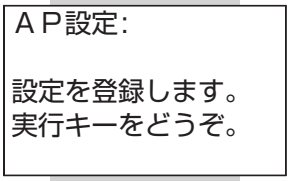
5



第 2AP（アクセスポイント）電話番号を設定し、セットキーを押します。

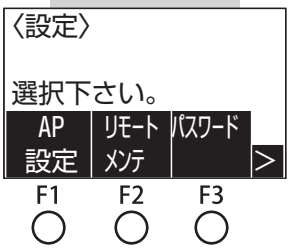
Point
- 第 2AP 電話番号は、最大 14 桁まで入力できます。
- 第 1AP 電話番号とは別の番号を入力してください。

6



実行キーを押します。

7



左の画面に戻ります。

2.3.9　パスワード設定

より安全に本機をご利用いただくために、下記パスワードを設定されることを推奨します。
パスワードには、次の 2 種類があります。

- **業務パスワード**：　本機の利用制限を行うためのパスワード
  （電源 ON 直後にパスワードが必要です。）
- **管理パスワード**：　集計、設定モードの操作の制限を行うためのパスワード
  （集計または設定ボタンを押した直後にパスワードが必要です。）

パスワードを設定される際には、下記注意事項をお守りください。

●業務パスワード

- 本機のご利用におきまして、「意図しない第三者が本機を容易に利用可能な運用状態」が常時続くような運用である場合は、本パスワードを設定してください。
- 他人に見られたり、教えたりしないでください。
- 他人に推測されにくいパスワードを設定してください。
  （→**参考**：推測されにくいパスワード設定を行うには？）
- 変更したパスワードは忘れないようにご注意ください。
- パスワードをお忘れになった場合、管理者に連絡して新たなパスワードを再設定してください。

●管理者パスワード

- 管理者以外の他人に見られたり、教えたりしないでください。
- 他人に推測されにくいパスワードを設定してください。
  （→**参考**：推測されにくいパスワード設定を行うには？）
- **変更したパスワードは忘れないようにご注意ください。**

【注意】忘れた場合、基本的に変更前のパスワードを知る方法はありません。
必ず、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へのお問い合わせが必要となります。

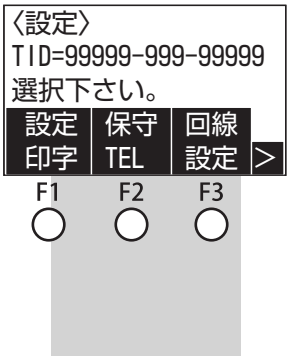
参考：推測されにくいパスワード設定を行うには？

下記項目を守ることで、より安全なパスワードの設定が可能となります。

●以下のような容易に推測可能なパスワードの設定はできる限り行わないでください。
- 全桁同じ値、連続した値、繰り返しの値（例：00000000、12345678、01010101）
- 類推しやすい値（例：変更前後で同じ値）

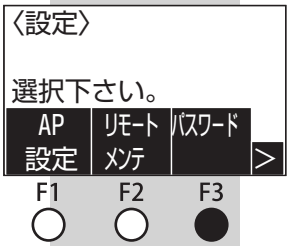
●定期的にパスワードの変更をしてください。

1



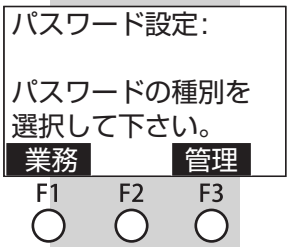
次画面 ○ **（次画面）キーを 2 回押します。**

2



F3（パスワード）キーを押します。

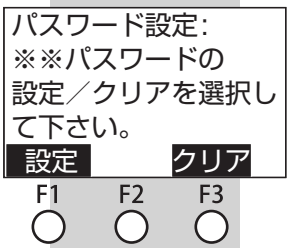
3



F1（業務）または F3（管理）キーを押して、パスワード入力設定を選択します。

Point
- 業務パスワードを設定する場合は、F1（業務）キーを押します。
- 管理パスワードを設定する場合は、F3（管理）キーを押します。

4



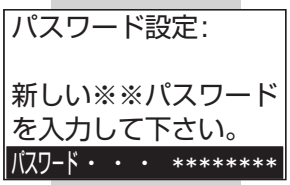
F1（設定）または F3（クリア）キーを押して、パスワードの設定・クリアを選択します。

→　次の操作へ

Point
- パスワードを設定する場合は、F1（設定）キーを押します。
  →　操作 **5**（1）へ（下記）へ
- パスワードをクリアする場合は、F3（クリア）キーを押します。
  →　操作 **5**（2）へ（2-124 ページ）へ
- 画面上の「※※」には「業務」または「管理」が表示されます。

(1) パスワード F1（設定）キーを選択した場合

5



数字キーで、新しいパスワードを入力し、セットキーを押します。

Point
- パスワードは、８桁で入力します。
- 入力された文字は「*」で表示されます。
- 画面上の「※※」には「業務」または「管理」が表示されます。

6

パスワード設定:
確認のため、もう一度
新しい※※パスワード
を入力して下さい。
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ・・・ ********

確認のため、数字キーで、新しいパスワードを再度入力し、セットキーを押します。

Point

- 入力された文字は「*」で表示されます。
- 最初に入力したパスワードと異なる場合は、下記のエラー画面が表示され、操作 **6** の画面に戻ります。入力し直してください。

J43:設定ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞｴﾗｰ

確認のうえ、もう一度
やり直して下さい。

- 画面上の「※※」には「業務」または「管理」が表示されます。

7

パスワード設定:

※※パスワードを
設定しました。

左の画面を一定時間表示します。

8

〈設定〉

選択下さい。

AP 設定	ﾘﾓｰﾄ ﾒﾝﾃ	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	>
F1	F2	F3	

左の画面に戻ります。

2 店舗業務

(2) パスワード F3(クリア) キーを選択した場合

5

パスワード設定:

※※パスワードを
クリアしました。

左の画面を一定時間表示します。

Point

- 画面上の「※※」には「業務」または「管理」が表示されます。

6

〈設定〉

選択下さい。

AP 設定	ﾘﾓｰﾄ ﾒﾝﾃ	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	>
F1	F2	F3	

左の画面に戻ります。

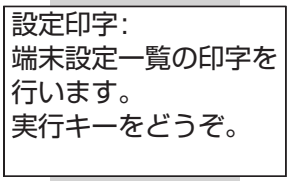
2.3.10 店舗設定の印字

設定されている内容を出力します。

1

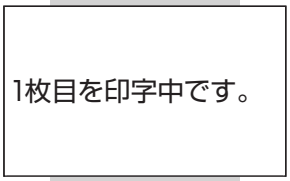
F1 ○（設定印字）キーを押します。

2



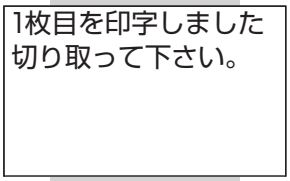
実行 キーを押します。

3



端末設定一覧を伝票に印字します。

4



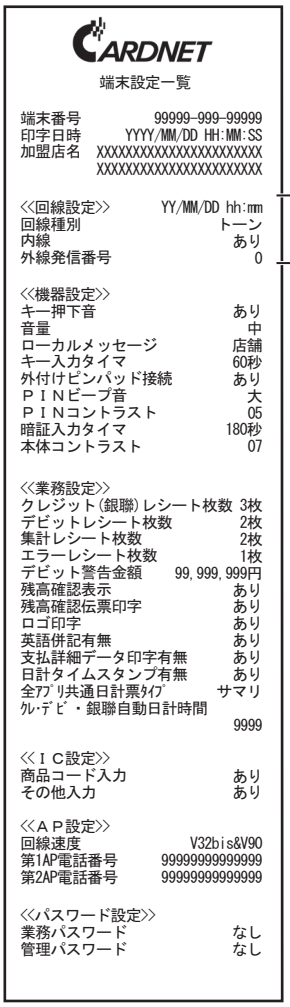
左の画面を一定時間表示します。
伝票を切り取ってください。

5

左の画面に戻ります。

＜店舗設定伝票印字例＞

アナログ回線



LAN回線

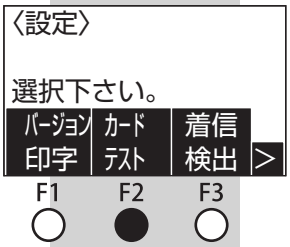
2.3.11 磁気カードリーダの読み取りテスト

磁気カードリーダの読み取りテストを行います。

1

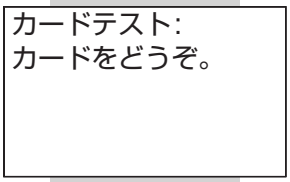
次画面 ○（次画面）キーを３回押します。

2



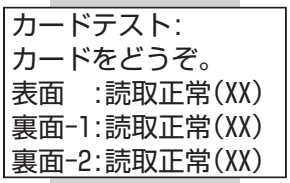
F2 ○（カードテスト）キーを押します。

3



磁気カードを、端末機本体の磁気カードリーダ部に通してください。

4

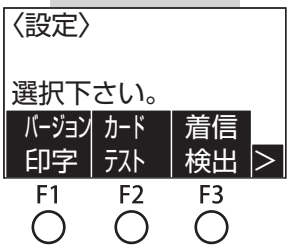


テスト結果を確認後、リセットキーを押します。

Point

- 磁気カードを読み取った結果が表示されます。
- リセットキーを押すまで、何度もカードを読み取ることができます。
- (XX) は、読み取った文字数（正常時）、またはエラーコード（異常時）です。

5

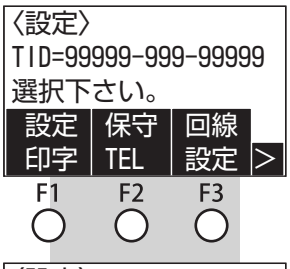


左の画面に戻ります。

2.3.12 Ping 送信

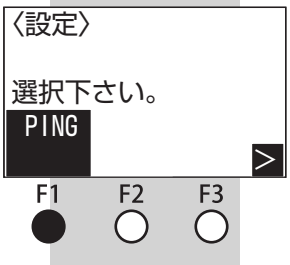
LAN 接続状態を確認します。なお、PING 送信は LAN 回線対応型のみ実施可能です。

1



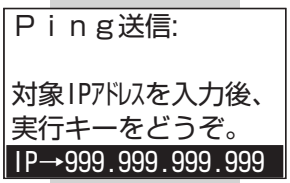
次画面 ○（次画面）キーを 4 回押します。

2



F1 ○（PING）キーを押します。

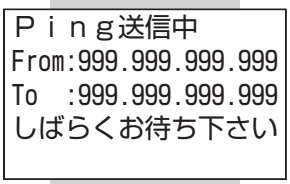
3



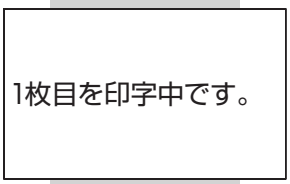
Ping 先 IP 入力画面が表示されますので、Ping 先 IP を入力し、実行キーを押します。

Point
- デフォルトゲートウェイを初期表示します。

4

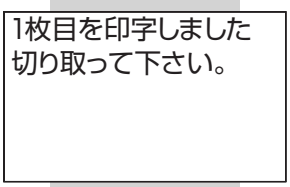


5



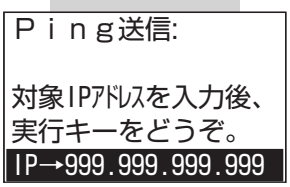
1 枚目の伝票の印字が開始されます。

6

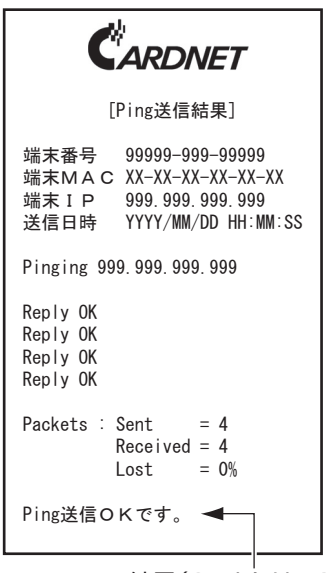


左の画面を一定時間表示します。
伝票を切り取ってください。

7



左の画面に戻ります。



結果(OKまたはNG)が印字されます。

2.4 機能・設定更新（リモートメンテナンス）

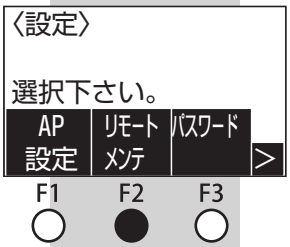
この操作は、本機に機能追加や設定内容の変更が生じた場合、本機を最新情報で更新するために行います。

Point
- **パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）から要請があったとき以外は行わないでください。**
- 操作の前に、日計処理を行ってください。

1

次画面 ○（次画面）キーを２回押します。

2

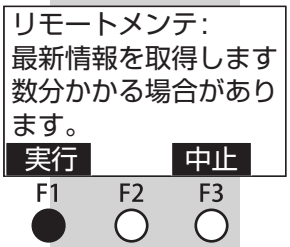


F2 ○（リモートメンテ）キーを押します。

Point
- 日計処理を行っていない場合、または未送信の結果通知データがある場合に、右の画面が表示されます。
- リセット キーを押して、日計処理を行ってください

集計ﾃﾞｰﾀがあります。
日計処理を実行のうえ
もう一度、やり直して
下さい。
ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ。

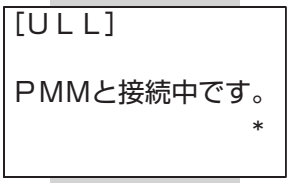
3



F1 ○（実行）キーを押します。

Point
- 中止する場合は、F3 ○（中止）キーを押してください。

4



保守センタとの通信が開始されます。

Point
- 保守センタと通信している間、画面の * 印が点滅しています。

5

[ＵＬＬ]

ＰＭＭと伝送中です。
XXXXXXXX　　＊

保守センタと通信しています。しばらくお待ちください。

Point

・保守センタと通信している間、画面の＊印が点滅しています。

6

[ＤＬＬ]

ＰＭＭと伝送中です。
XXXXXXXX　　＊

保守センタと通信しています。

Point

・保守センタと通信している間、画面の＊印が点滅しています。

7

ピンパッド:

ピンパッド確認中

ピンパッドの確認をします。

8

ピンパッド:

確認が完了しました。

左の画面（ピンパッド確認完了）を一定時間表示後、操作 ***9*** の画面が表示されます。

9

[ＤＬＬ]　　999/999

ＰＭＭと伝送中です。
XXXXXXXX　　＊

保守センタと通信しています。しばらくお待ちください。

Point

・保守センタと通信している間、画面の＊印が点滅しています。
・画面右上に進行状況（ブロック数 / 総ブロック数）が表示されます。

10

[ＤＬＬ]

回線切断中です。

保守センタとの通信が終了すると、左の画面が表示されます。

11

最新情報を反映するために、端末を再起動します。

左の画面を一定時間表示後、自動で再起動します。

Point
- ファイル更新が必要な場合、操作 ***12*** の画面に進みます。
- ファイル更新が必要ない場合、再起動後に、操作 ***13*** の画面に進みます。

12

〈Updating〉 *
Don't turn off!!
Please wait...
99999

Completed

Restarting...
999

最新情報を反映しています。
電源を OFF にしないでください。

Point
- ファイル更新が必要な場合、左の画面が表示されます。
- ファイルを反映している間、画面の * 印が点滅しています。
- 反映中に電源を OFF にすると、端末が故障する原因となります。

13

JT-C07
CARDNET
VerX.XX
PF X.XXXXX

最新情報の反映が終了すると、左の画面が一定時間表示され、操作 *14* の画面が表示されます。

14

センタと通信中です。
→ → → →

保守センタとの通信が開始されます。

Point
- 通信を開始すると、左の画面が表示されます。
- 「→」を４つめまで表示すると通信が終了します。通信が終了すると、操作 ***15*** の画面が表示されます。

15

データ保存中
電源を切らないで
お待ち下さい。

最新情報を反映しています。
電源を OFF にしないでください。

16

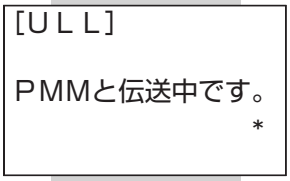
[ＵＬＬ]

ＰＭＭと接続中です。
*

保守センタとの通信が開始されます。

Point
- 保守センタと通信している間、画面の * 印が点滅しています。

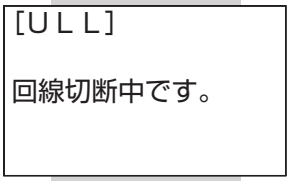
17



保守センタと通信しています。

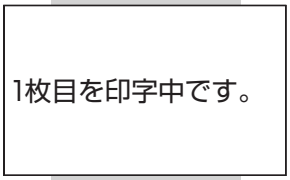
Point
・保守センタと通信している間、画面の＊印が点滅しています。

18



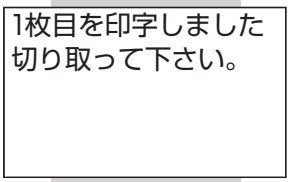
保守センタとの通信が終了すると、左の画面が表示されます。

19



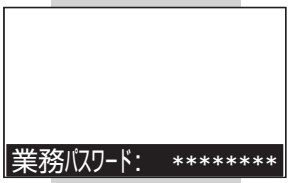
伝票の印字が開始されます。

20



伝票の印字が終了すると、左の画面が表示されますので、伝票を切り取ってください。

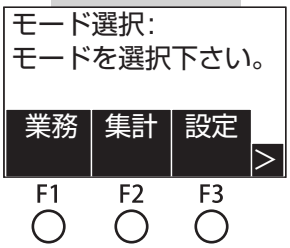
21



パスワードが設定されている場合は、業務パスワードを入力し、セットキーを押します。

Point
・パスワードが設定されていない場合は、左の画面は表示されません。
・入力したパスワードは「＊」で表示されます。
パスワードの設定方法は、「パスワード設定」（2-122 ページ）を参照してください。

22



モード選択画面が表示されます。

3 再印字

空打ちや紙詰まりにより正常に売上票が作成されなかった場合、同じ伝票を再発行できます。
上記のような現象が起こってしまった場合、下記の各画面で再印字○キーを押してください。再発行された伝票が印字されます。

Point

・再印字が行える画面は次の画面です。
　画面右端にRが表示されているときに再印字できます。
・〈ｸﾚｼﾞｯﾄ〉は、ご契約の内容により〈業務〉と表示される場合があります。

〈ｸﾚｼﾞｯﾄ〉
選択下さい。

売上	取消 返品	承認後 売上	R ＞

F1　F2　F3

〈業務〉
選択下さい。

ｸﾚｼﾞｯﾄ	銀聯	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ	R

F1　F2　F3

〈銀聯〉
選択下さい。

売上	取消	返品	R ＞

F1　F2　F3

〈集計〉
選択下さい。

中間計	日計	一括 送信	R ＞

F1　F2　F3

〈ﾃﾞﾋﾞｯﾄ〉
選択下さい。

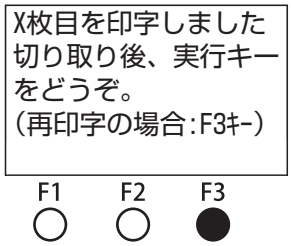
売上	取消 返品	残高 確認	R ＞

F1　F2　F3

Point

・直前に印字した伝票の再発行のみできます。
　次の処理にて伝票を発行してしまうと前回の伝票は再発行できませんので、正常に伝票印字ができなかった場合はすぐに再印字を行ってください。

売上票の印字の際に、下記の画面が表示されている場合は、直前に印字したＸ 枚目の伝票を印刷することができます。下記の画面の表示中に F3 キーを押してください。



Point

・ 直前に印字したＸ 枚目の伝票の再印字のみできます。
・ 実行キーを押して次の伝票を印字してしまうとＸ 枚目のみの再印字はできませんので、正常に伝票印字ができなかった場合はすぐに再印字を行ってください。

4 伝票印字例

4.1 クレジット業務

4.1.1 クレジット売上票

①カード会社用（1 枚目）

＜カード番号＞
お客様のカード番号(会員番号)が印字されます

※ICクレジットカードを使用した場合は会員番号の上に「IC」が、磁気クレジットカードを使用した場合には「MS」または「*MS」が印字されます。マニュアル入力の場合は「MN」が印字されます。

＜加盟店名＞
加盟店名・電話番号などが印字されます

＜ご利用日＞
カードをご利用になった日時です

＜ブランド名＞
ご利用になったカードのブランド名が印字されます。

＜伝票番号＞
本機で処理した伝票の通番です

＜支払区分＞
支払い方法です

＜分割回数＞
分割・ボーナス併用の支払いでの、分割回数です

＜開始月 ボーナス回数 支払月 金額＞
ボーナス・ボーナス併用の支払いでの、支払開始月・ボーナス回数および支払月、金額です

＜端末番号＞
本機に設定されている端末識別番号です

＜カード会社＞
カード会社名が印字されます

＜ご署名＞
お客様の署名を記入していただく欄です

カード会社とサインレスの契約をされている場合は、例のメッセージを印字します

＜有効期限＞
使用されたクレジットカードの有効期限です

＜取扱区分＞
支払いの取扱区分です

＜取引内容＞
「売上」「取消」「返品」「承認後売上」「オーソリ予約」「カードチェック」のいずれかの取引内容が印字されます。

＜商品区分＞
入力された商品コードです

＜取消伝票番号＞
本機で処理した取消伝票の番号です
取消・返品の場合のみ印字されます

＜R＞
再印字のとき、Rを印字します

＜承認番号＞
カード会社から通知された承認番号です

＜処理通番＞
CARDNETセンタで受付された処理通番です

＜金額＞
お客様が購入された商品の金額です

＜その他＞
お客様が購入された商品のその他の金額です

＜合計＞
お客様が購入された商品の合計金額です

暗証番号を入力された場合は、例のメッセージを印字します

＜ご案内＞
CARDNETメッセージ、カード会社メッセージ、本機からのメッセージです

＜伝票種別＞
１枚目の伝票種別“カード会社用”が印字されます

②お客様控（2 枚目）

CARDNET
［クレジットカード売上票］
加盟店名 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
ご利用日 YYYY/MM/DD HH:MM:SS
ｶｰﾄﾞ番号 IC
XXXXXXXXXXXXX9999999999999999999
伝票番号 99999 | 有効期限 YY年MM月 | 取引内容 売上
支払区分 一括 | 取扱区分 999 | 商品区分 9999
分割回数 99 回
取消伝票番号 99999
開始月 12月 | ﾎﾞｰﾅｽ 99回 | 99月 | ¥9,999,999
99月 ¥9,999,999
端末番号 99999-999-99999 R
ｶｰﾄﾞ会社 XXXXXXXXXX(999)
承認番号 999999
処理通番 999999
金 額 －￥９，９９９，９９９
その他 －￥９９９，９９９
合計金額－￥99,999,999
●品名・型式他 | 数量
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
ご案内
ご利用ありがとうございました。
またのご来店を
お待ちしております。
ARCXX ATCXXXX NoXX *XXXXXXXXXX*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
売場 | 係員
お客様控●

“お客様控”には、ご署名欄のかわりに“品名・型式他”と“数量”欄が印字されます
加盟店様で品名･型式や数量をご記入ください
※支払区分が「一括以外」の場合に印字されます。

＜伝票種別＞
2枚目の伝票種別“お客様控”が印字されます

③加盟店控（３枚目）/ 集計用（４枚目）

CARDNET
［クレジットカード売上票］
（データギャザ専用）

加盟店名 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
ご利用日　YYYY/MM/DD HH:MM:SS
ｶｰﾄﾞ番号　IC
XXXXXXXXXXXXX9999999999999999999

伝票番号	有効期限	取引内容
99999	YY年MM月	売上
支払区分	取扱区分	商品区分
一括	999	9999

分割回数　99 回
取消伝票番号　99999

開始月	ﾎﾞｰﾅｽ	99月	¥9,999,999
12月	99回	99月	¥9,999,999

端末番号　99999-999-99999 R
ｶｰﾄﾞ会社　XXXXXXXXXX(999)
承認番号　999999
処理通番　999999
金　額　－￥９，９９９，９９９
その他　－￥９９９，９９９
合計金額－￥99,999,999
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
ご案内
ご利用ありがとうございました。
またのご来店を
お待ちしております。
ARCXX ATCXXXX NoXX *XXXXXXXXXX*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

売場	係員

加盟店控

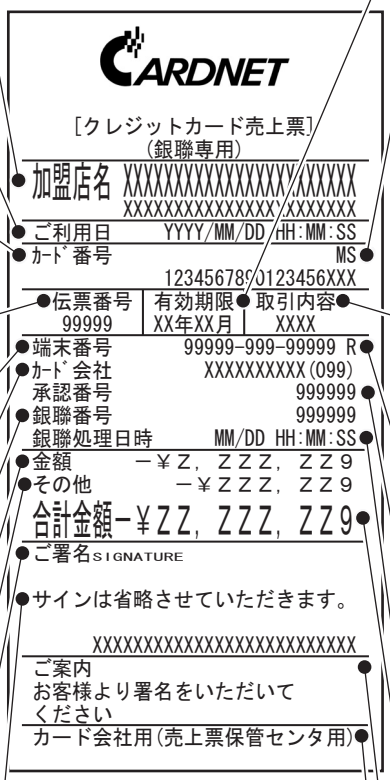
＜伝票種別＞
3枚目の伝票種別“加盟店控”が印字されます
4枚目の伝票種別“集計用”が印字されます

※集計用（４枚目）は設定により印字されないことがあります。

4.2 銀聯業務

4.2.1 銀聯売上票

①カード会社用（1 枚目）



＜加盟店名＞
加盟店名・電話番号などが印字されます。

＜ご利用日＞
カードのご利用日時が印字されます。

＜カード番号＞
お客様のカード番号が印字されます。

＜伝票番号＞
本機で処理した伝票の通番が印字されます。

＜端末番号＞
本機に設定されている端末番号が印字されます。

＜カード会社＞
カード会社名が印字されます。

＜銀聯番号＞
カード会社で受付された処理通番が印字されます。

＜金額＞
お客様が購入された商品の金額が印字されます。

＜その他＞
お客様が購入された商品のその他の金額が印字されます。

＜ご署名＞
お客様の署名を記入していただく欄です。

カード会社とサインレスの契約をされている場合は、このメッセージが印字されます。

＜有効期限＞
お客様のカードの有効期限が印字されます。

＜識別コード＞
磁気カードを使用した場合はカード番号の上に「MS」が印字されます。
マニュアル入力の場合は「MN」が印字されます。

＜取引内容＞
「売上」「取消」「返品」のいずれかの取引内容が印字されます。

＜R＞
再印字のときは「R」が印字されます。

＜承認番号＞
カード会社から通知された承認番号が印字されます。

＜銀聯処理日時＞
カード会社で受付された処理日時が印字されます。

＜合計金額＞
お客様が購入された商品の合計金額が印字されます。

＜案内メッセージ＞
CARDNETメッセージ、カード会社メッセージ、または本機からのメッセージが印字されます。

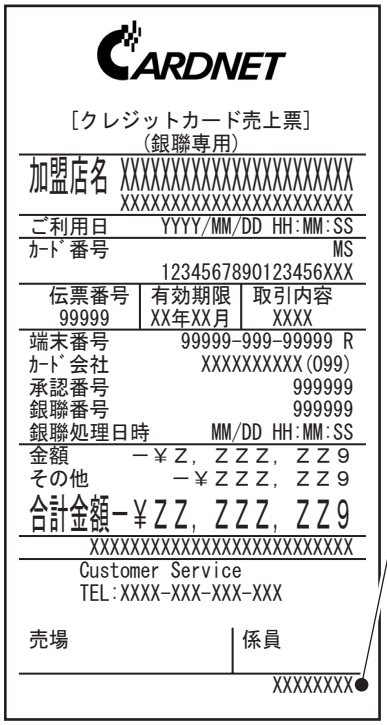
＜伝票種別＞
1枚目の伝票種別「カード会社用(売上票保管センタ用)」が印字されます。

②お客様控（2 枚目）

＜案内メッセージ＞
CARDNETメッセージ、カード会社メッセージ、または本機からのメッセージが印字されます。

＜伝票種別＞
2枚目の伝票種別「お客様控」が印字されます。

③加盟店控(3枚目)／集計用(4枚目)



＜伝票種別＞
3枚目の伝票種別「加盟店控」が印字されます。
4枚目の伝票種別「集計用」が印字されます。

※集計用（4 枚目）は設定により印字されないことがあります。

4.3 デビット業務

4.3.1　デビット売上票

＜加盟店名＞
加盟店名・電話番号などが印字されます

＜ご利用日＞
カードをご利用になった日時です

＜口座番号＞
お客様の口座番号です

＜伝票番号＞
本機で処理した伝票の通番です

＜取扱区分＞
支払いの取扱区分です

＜端末番号＞
本機に設定されている端末識別番号です

＜カード種別＞
使用されたデビットカード名称が印字されます

＜承認番号＞
金融機関から通知された承認番号です

＜ご案内＞
CARDNETメッセージ、
金融機関メッセージ､本機からのメッセージです

＜取引内容＞
取引の内容です

＜処理通番＞
CARDNETセンタで受付された処理通番です

＜商品区分＞
入力された商品コードです

＜取消番号＞
本機で処理した取消伝票の番号です
取消の場合のみ印字されます

＜R＞
再印字のとき、Rを印字します

＜金額＞
お客様が購入された商品の金額です

＜その他＞
お客様が購入された商品のその他の金額です

＜合計＞
お客様が購入された商品の合計金額です

＜伝票種別＞
1枚目の伝票種別“お客様控”が印字されます
2枚目の伝票種別“保管センタ用”が印字されます
3枚目の伝票種別“加盟店控”が印字されます
4枚目の伝票種別“集計用”が印字されます

※保管センタ用（2 枚目）、集計用（4 枚目）は設定により印字されないことがあります。

4.3.2　デビット残高確認票

＜加盟店名＞
加盟店名・電話番号などが印字されます

＜ご利用日＞
カードをご利用になった日時です

＜口座番号＞
お客様の口座番号です

＜伝票番号＞
本機で処理した伝票の通番です

＜取扱区分＞
＊で表示します

＜端末番号＞
本機に設定されている端末識別番号です

＜カード種別＞
使用されたデビットカード名称が印字されます

＜承認番号＞
金融機関から通知された承認番号です

＜ご案内＞
CARDNETメッセージ、
金融機関メッセージ、本機からのメッセージです

＜取引内容＞
取引の内容です

＜処理通番＞
CARDNETセンタで受付された処理通番です

＜商品区分＞
＊で表示します

＜R＞
再印字のとき、Rを印字します

＜金額＞＜その他＞＜合計金額＞
＊で表示します

＜伝票種別＞
1枚目の伝票種別“お客様控”が印字されます
2枚目の伝票種別“保管センタ用”が印字されます
3枚目の伝票種別“加盟店控”が印字されます
4枚目の伝票種別“集計用”が印字されます

※保管センタ用（2 枚目）、集計用（4 枚目）は設定により印字されないことがあります。

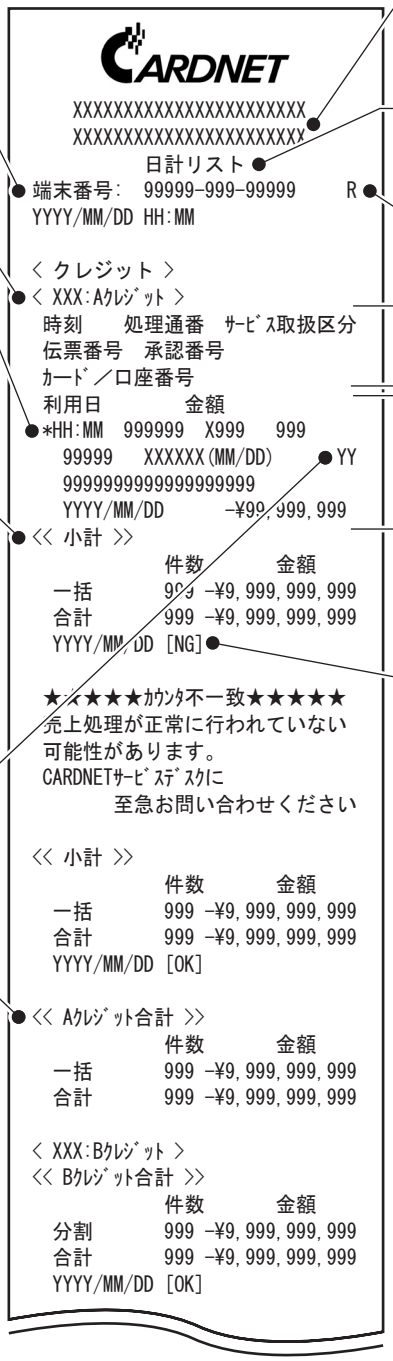
4.4 集計業務

4.4.1 日計／中間計表

☆サマリ版とは.....クレジット取引･デビット取引･銀聯取引の１日（0:00 ～ 23:59）の取引合計をカード会社別に印字します。

☆取引明細版とは....クレジット取引･デビット取引･銀聯取引毎の取引１件ずつをカード会社別に印字します。

(1) サマリ版



<端末番号>
本機に設定されている端末識別番号です

<カード会社名>
カード会社名が印字されます

<カウンタ不一致マーク（＊）>
本機の取引カウンタとCARDNETセンタの取引カウンタが一致しなかったときに印字されるマークです

<小計>
カード会社ごとの1日分の小計を印字します
ただし、日計データが1日分の場合は表示されません
日計表に印字する取引データは午前0時で日付が変わります

<ARC>
ICクレジットカードにて取引を行った場合に印字されることがあります

<クレジット会社合計>
クレジットカード会社ごとの合計を印字します

<加盟店名>
店舗名・電話番号などが印字されます

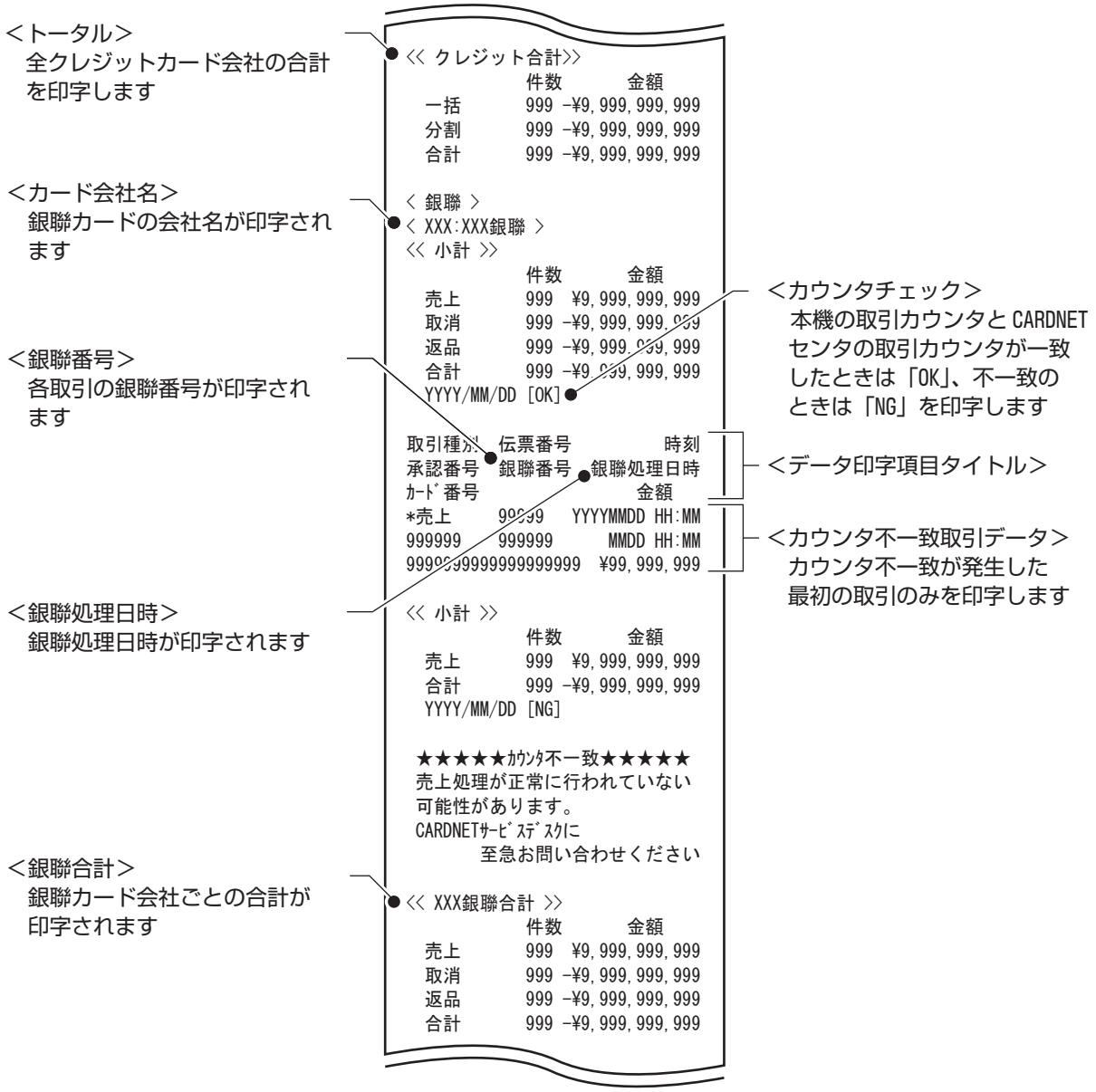
<タイトル>
中間計のときは“中間計リスト”と印字されます

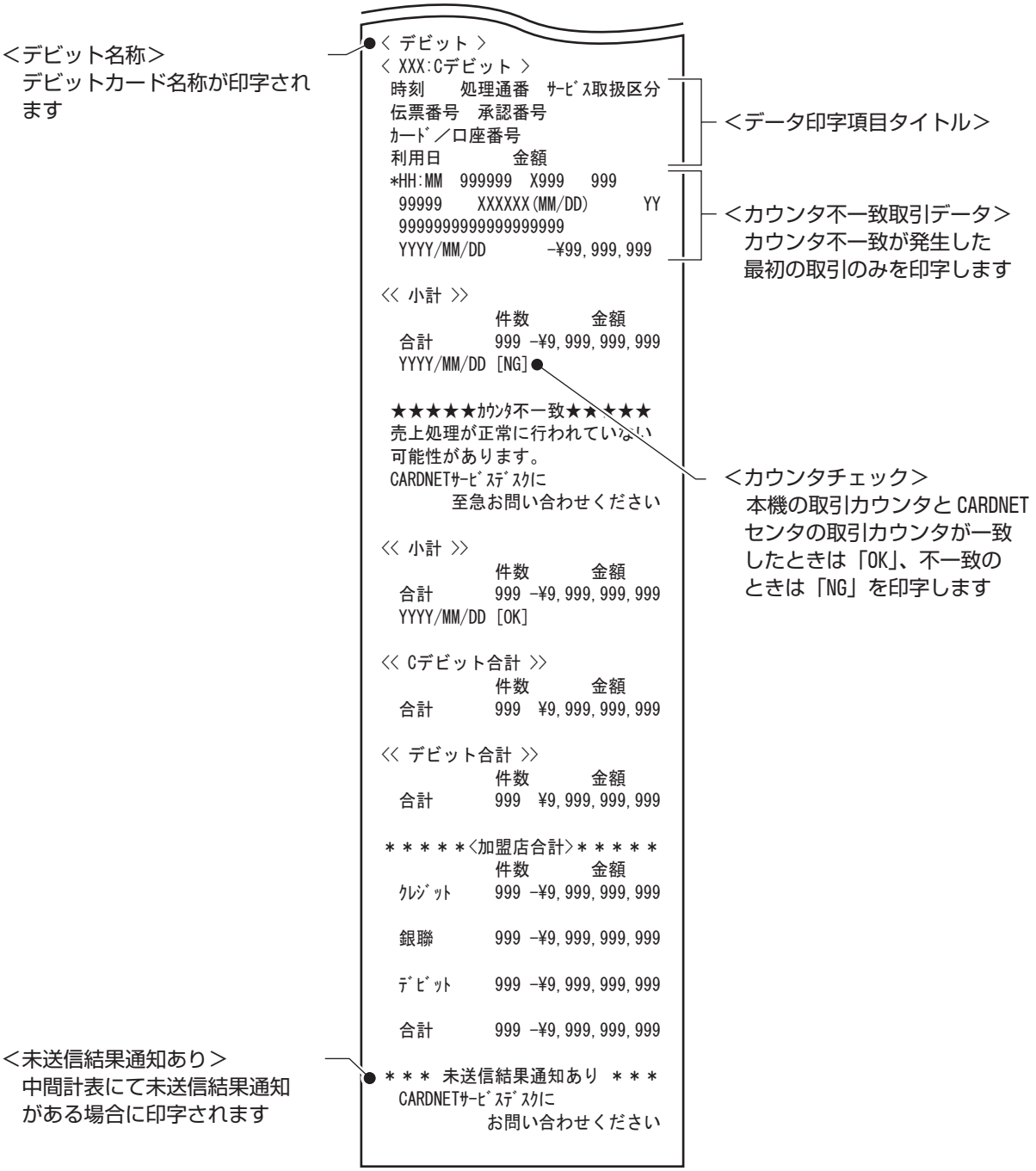
<リプリント>
再印字のときは「R」が印字されます

<データ印字項目タイトル>
※「サービス」と「利用日」は、カウンタ不一致が発生したときに確認いただきます

<カウンタ不一致取引データ>
カウンタ不一致が発生した最初の取引のみを印字します

<カウンタチェック>
本機の取引カウンタとCARDNETセンタの取引カウンタが一致したときは「OK」、不一致のときは「NG」を印字します


<トータル>
全クレジットカード会社の合計を印字します
<< クレジット合計>>
件数 金額
一括 999 -¥9,999,999,999
分割 999 -¥9,999,999,999
合計 999 -¥9,999,999,999
<カード会社名>
銀聯カードの会社名が印字されます
< 銀聯 >
< XXX:XXX銀聯 >
<< 小計 >>
件数 金額
売上 999 ¥9,999,999,999
取消 999 -¥9,999,999,999
返品 999 -¥9,999,999,999
合計 999 -¥9,999,999,999
YYYY/MM/DD [OK]
<カウンタチェック>
本機の取引カウンタとCARDNETセンタの取引カウンタが一致したときは「OK」、不一致のときは「NG」を印字します
<銀聯番号>
各取引の銀聯番号が印字されます
取引種別 伝票番号 時刻
承認番号 銀聯番号 銀聯処理日時
ｶｰﾄﾞ番号 金額
*売上 999999 YYYYMMDD HH:MM
999999 999999 MMDD HH:MM
9999999999999999999 ¥99,999,999
<データ印字項目タイトル>
<カウンタ不一致取引データ>
カウンタ不一致が発生した最初の取引のみを印字します
<銀聯処理日時>
銀聯処理日時が印字されます
<< 小計 >>
件数 金額
売上 999 ¥9,999,999,999
合計 999 -¥9,999,999,999
YYYY/MM/DD [NG]
★★★★★ｶｳﾝﾀ不一致★★★★★
売上処理が正常に行われていない可能性があります。
CARDNETｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸに
至急お問い合わせください
<銀聯合計>
銀聯カード会社ごとの合計が印字されます
<< XXX銀聯合計 >>
件数 金額
売上 999 ¥9,999,999,999
取消 999 -¥9,999,999,999
返品 999 -¥9,999,999,999
合計 999 -¥9,999,999,999


＜デビット名称＞
デビットカード名称が印字されます
〈 デビット 〉
〈 XXX:Cデビット 〉
時刻　　処理通番　ｻｰﾋﾞｽ取扱区分
伝票番号　承認番号
ｶｰﾄﾞ／口座番号
利用日　　金額
*HH:MM　999999　X999　999
99999　XXXXXX(MM/DD)　YY
9999999999999999999
YYYY/MM/DD　-¥99,999,999
＜データ印字項目タイトル＞
＜カウンタ不一致取引データ＞
カウンタ不一致が発生した最初の取引のみを印字します
<< 小計 >>
件数　金額
合計　999 -¥9,999,999,999
YYYY/MM/DD [NG]
★★★★★ｶｳﾝﾀ不一致★★★★★
売上処理が正常に行われていない可能性があります。
CARDNETｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸに
至急お問い合わせください
＜カウンタチェック＞
本機の取引カウンタとCARDNETセンタの取引カウンタが一致したときは「OK」、不一致のときは「NG」を印字します
<< 小計 >>
件数　金額
合計　999 -¥9,999,999,999
YYYY/MM/DD [OK]
<< Cデビット合計 >>
件数　金額
合計　999　¥9,999,999,999
<< デビット合計 >>
件数　金額
合計　999　¥9,999,999,999
＊＊＊＊＊〈加盟店合計〉＊＊＊＊＊
件数　金額
ｸﾚｼﾞｯﾄ　999 -¥9,999,999,999
銀聯　999 -¥9,999,999,999
ﾃﾞﾋﾞｯﾄ　999 -¥9,999,999,999
合計　999 -¥9,999,999,999
＜未送信結果通知あり＞
中間計表にて未送信結果通知がある場合に印字されます
＊＊＊ 未送信結果通知あり ＊＊＊
CARDNETｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸに
お問い合わせください

(2) 取引明細版

＜加盟店名＞
店舗名・電話番号などが印字されます

＜タイトル＞
中間計のときは“中間計リスト”と印字されます

＜端末番号＞
本機に設定されている端末識別番号です

＜リプリント＞
再印字のときは「R」が印字されます

＜カード会社名＞
カード会社名が印字されます

＜データ印字項目タイトル＞
※「サービス」と「利用日」は、カウンタ不一致が発生したときに確認いただきます

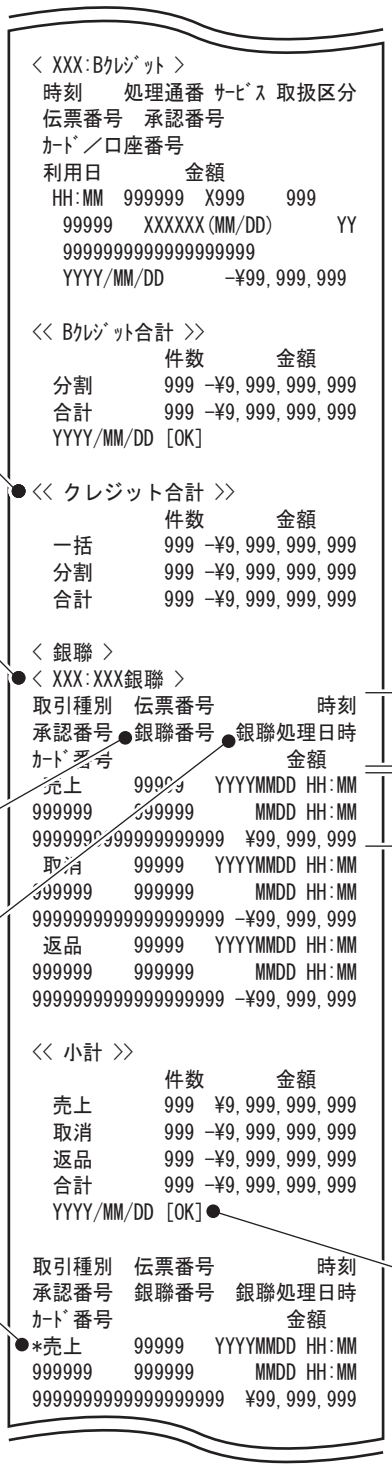
＜１件分の取引データ＞

＜カウンタ不一致マーク（＊）＞
本機の取引カウンタとCARDNETセンタの取引カウンタが一致しなかったときに印字されるマークです

＜カウンタチェック＞
本機の取引カウンタとCARDNETセンタの取引カウンタが一致したときは「OK」、不一致のときは「NG」を印字します

＜ARC＞
ICクレジットカードにて取引を行った場合に印字されることがあります

＜クレジット会社合計＞
クレジットカード会社ごとの合計を印字します



＜トータル＞
全クレジットカード会社の合計を印字します

＜カード会社名＞
銀聯カードの会社名が印字されます

＜銀聯番号＞
各取引の銀聯番号が印字されます

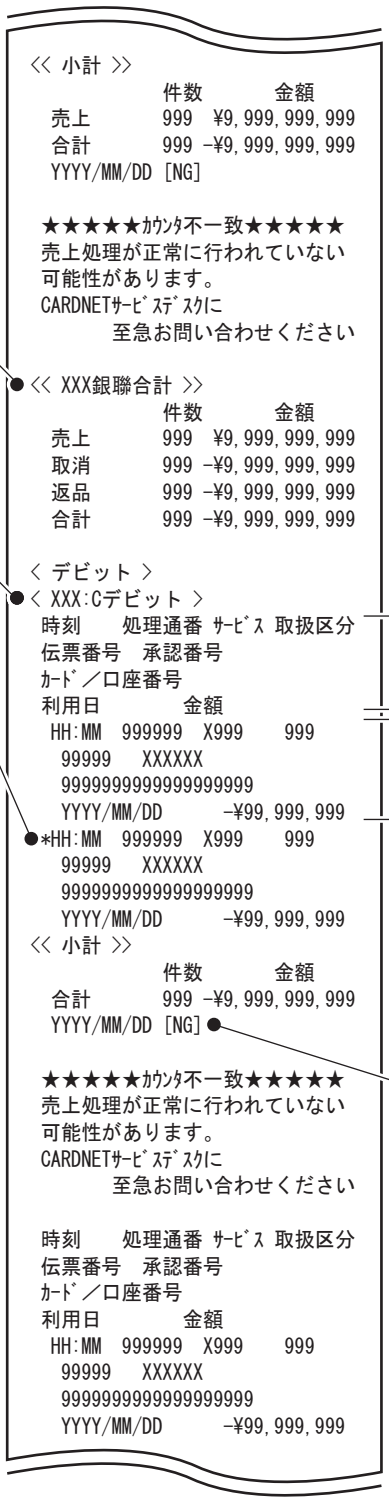
＜銀聯処理日時＞
銀聯処理日時が印字されます

＜データ印字項目タイトル＞

＜１件分の取引データ＞

＜カウンタチェック＞
本機の取引カウンタとCARDNETセンタの取引カウンタが一致したときは「OK」、不一致のときは「NG」を印字します

＜カウンタ不一致マーク（＊）＞
本機の取引カウンタとCARDNETセンタの取引カウンタが一致しなかった



＜銀聯合計＞
銀聯カード会社ごとの合計が印字されます

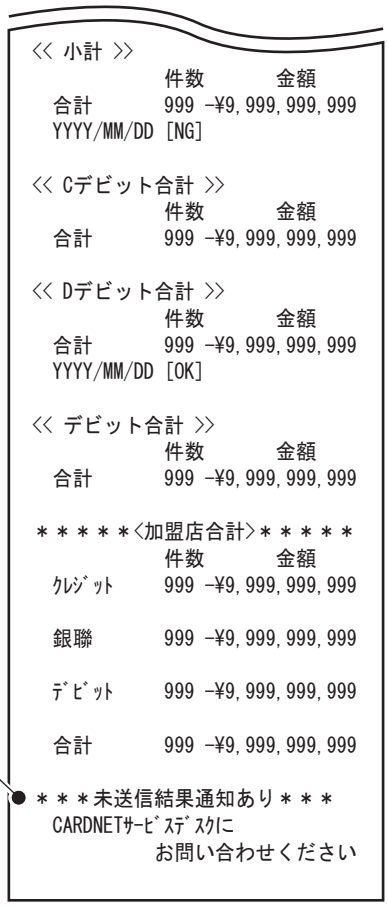
＜デビット名称＞
デビットカード名称が印字されます

＜カウンタ不一致マーク（＊）＞
本機の取引カウンタとCARDNETセンタの取引カウンタが一致しなかったときに印字されるマークです

＜データ印字項目タイトル＞

＜１件分の取引データ＞

＜カウンタチェック＞
本機の取引カウンタとCARDNETセンタの取引カウンタが一致したときは「OK」、不一致のときは「NG」を印字します



```
<< 小計 >>
                件数          金額
  合計          999 -¥9,999,999,999
  YYYY/MM/DD [NG]

<< Cデビット合計 >>
                件数          金額
  合計          999 -¥9,999,999,999

<< Dデビット合計 >>
                件数          金額
  合計          999 -¥9,999,999,999
  YYYY/MM/DD [OK]

<< デビット合計 >>
                件数          金額
  合計          999 -¥9,999,999,999

＊＊＊＊＊<加盟店合計>＊＊＊＊＊
                件数          金額
  ｸﾚｼﾞｯﾄ        999 -¥9,999,999,999

  銀聯          999 -¥9,999,999,999

  ﾃﾞﾋﾞｯﾄ        999 -¥9,999,999,999

  合計          999 -¥9,999,999,999

＊＊＊未送信結果通知あり＊＊＊
  CARDNETｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸに
            お問い合わせください
```

<未送信結果通知あり>
中間計表にて未送信結果通知
がある場合に印字されます

4.4.2　KID 一覧表

CARDNET

登録会社リスト

端末番号: 99999-999-99999

***** 磁気カード *****

KID	会社名	電話番号
010	!!!!!!!!!!	03-1234-5678
101	AAAAAAAAAA	0120-123456
102	BBBBBBBBBB	075-123-4567
103	CCCCCCCCCC	1234-56-7890
104	DDDDDDDDDD	075-123-4567
105	EEEEEEEEEE	075-123-4567

***** ＩＣカード *****

KID	名 称
110	ＪＣＢ／ＩＣ
111	ＡＭＥＸ／ＩＣ
112	ＶＩＳＡ／ＩＣ
113	ＭＡＳＴＥＲ／ＩＣ
114	ＤＩＮＥＲＳ／ＩＣ

＜磁気カードKID＞
磁気クレジットカード取引の場合に使用するカード会社一覧です

＜ICカードKID＞
ICクレジットカードでのお取引でご利用できるICクレジットカードの種類の一覧です
申し込み時のカード会社とのご契約によって印字されない場合があります

4.5 会員番号非表示

会員番号非表示とは、申し込み時のカード会社とのご契約により、クレジットカードの会員番号の一部と有効期限、およびデビットカードの口座番号の一部を非表示にすることです。これは、個人情報保護の観点から個人情報の漏洩およびそれに起因する不正使用発生防止を目的として実施しております。

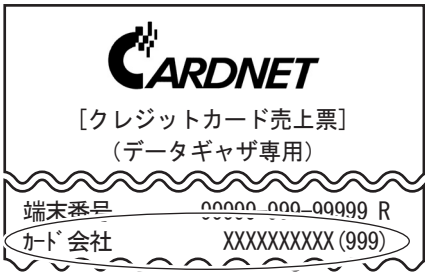
対象となるのは、次のカード番号、口座番号および有効期限になります。

- クレジットカード売上票に印字されるカード番号、有効期限
- デビットカード口座引落確認書に印字される口座番号
- 中間計リストおよび日計リストに印字されるカード番号、口座番号

会員番号非表示は、カード会社とのご契約により端末ごとに設定されますので、ご契約された端末でご利用するすべての取引で会員番号非表示が適用されます。

Point

- お客様のクレジットカードが無い場合にクレジット取消返品を行いたいときは、「マニュアル取消サポート機能」（2-50 ページ）を参照してください。
- 「マニュアル取消サポート機能」で取消返品が行えない場合は、売上票に印字されているカード会社（下図参照）にお問い合せください。

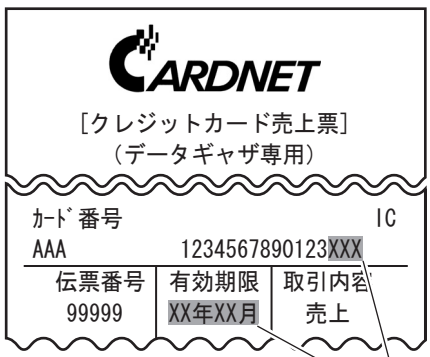


- 会員番号非表示についてのご質問などは、端末を申し込みされたカード会社にお問い合せください。
- 会員番号非表示の例は次の通りです。

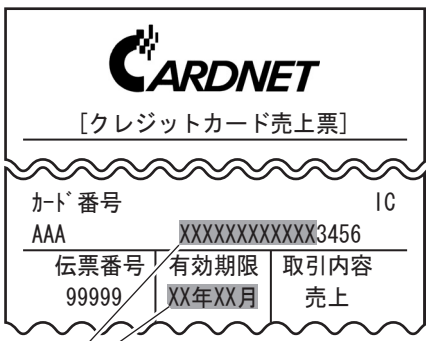
＜クレジットカード売上票の例＞

・会員番号が「1234567890123456」、有効期限「15 年 10 月」の場合

①カード会社用、加盟店控、集計用



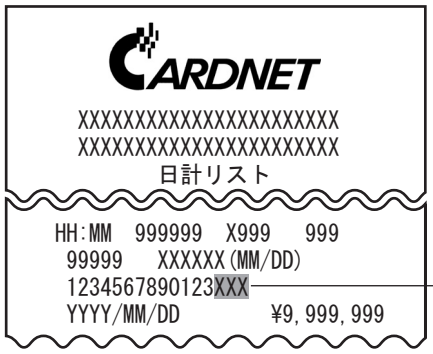
②お客様控



この部分が実際に「X」で印字されます。

＜日計リスト／中間計リストの例＞

・会員番号が「1234567890123456」の場合



この部分が実際に「X」で印字されます。

Point

・オーソリ専用端末の会員番号非表示については、申し込み時のカード会社とのご契約により、カード会社用伝票が全桁表示となる場合があります。

5 エラーコード

5.1 エラーコードおよびメッセージ

5.1.1 本機からの確認メッセージ

本機からの確認メッセージと内容、その対処方法です。

No.	表示メッセージ	内　容	対　処
C	サインをいただいて下さい。 確認 F1 F2 F3	サインレス運用またはICクレジットカード取引にて、サインが必要となったときです。	F3（確認）キーを押すと売上票を印字しますので、お客様にサインをいただいてください。
D	利用金額が上限を超えています。利用金額の確認をして下さい。 訂正　中止 F1 F2 F3	取引金額がデビット上限金額を超えたときです。	取引金額を確認してください。金額の訂正を行う場合は、F1（訂正）キーを押して金額を訂正してください。取引を中止する場合は、F3（中止）キーを押してください。
E	利用金額にご注意下さい。現在の取引を続けますか。 訂正 継続 中止 F1 F2 F3	取引金額がデビット警告金額を超えたときです。	取引金額を確認してください。金額の訂正を行う場合は、F1（訂正）キーを、そのまま取引を継続する場合は、F2（継続）キーを、取引を中止する場合は、F3（中止）キーを押してください。
F	取消対象取引が存在しません。 取引された端末で行うか、カード会社へお問い合わせ下さい。	取消対象の取引が端末内にないときです。	取引された端末で行うか、売上票のカード会社欄に印字されたカード会社へ連絡してください。
H	選択ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝの処理に失敗しました。 再度選択を行ってください。	選択したICアプリの起動に失敗したときです。	約３秒間表示し、次画面に移ります。
I	LANｹｰﾌﾞﾙ未接続 接続をご確認のうえ、実行キーをどうぞ。	LANケーブル接続のエラーです。1行目に発生箇所が表示されます。	LANケーブルが正しく接続されているか確認後、実行キーを押してください。再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。

No.	表示メッセージ	内　容	対　処
J	ＩＰアドレス重複 <IP:255.255.255.255> ネットワーク管理者へ 連絡ください。	IP アドレスが重複したときです。 1 行目に発生箇所が表示されます。	加盟店様ネットワーク環境（LAN/WAN）の保守管理者様へ連絡してください。
K	ＩＰアドレス無効 実行キーをどうぞ。 再発する場合はﾈｯﾄﾜｰｸ 管理者へ連絡ください	DHCP 取得時に無効な IP アドレスを取得したときです。 1 行目に発生箇所が表示されます。	再発する場合は、加盟店様ネットワーク環境（LAN/WAN）の保守管理者様へ連絡してください。
L	ＤＨＣＰタイムアウト 実行キーをどうぞ。 再発する場合はﾈｯﾄﾜｰｸ 管理者へ連絡ください	DHCP 取得時にタイムアウトしたときです。 1 行目に発生箇所が表示されます。	再発する場合は、加盟店様ネットワーク環境（LAN/WAN）の保守管理者様へ連絡してください。
M	ピンパッド通信エラー 電源を切って接続を 確認してください。	ピンパッドが抜けているときです。	ピンパッドが接続されているかを確認した上で電源を OFF にし、その後 ON にしてください。再発する場合は、パナソニックシステムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
N	ピンパッドを 切り離した状態で 運用します。ＤＬＬを 実施して下さい。 リセットキーをどうぞ	ピンパッドが故障してしまったときです。	リセットキーを押して、DLL を行ってください

5 エラーコード

5.1.2　本機からのエラーメッセージ

本機からのエラーメッセージとエラーの内容、その対処方法です。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
J01	J01:ｶｰﾄﾞ読取りｴﾗｰ もう一度、 やり直して下さい。	カード読み取りエラーの場合です。	再度、カードを通してください。
J02	J02:ﾏﾆｭｱﾙ入力不可 もう一度、 やり直して下さい。	当該カード会社のマニュアル入力が禁止されているときです。	カードを使って操作し直すか、該当カード会社へ連絡してください。
J03	J03:ＫＩＤエラー もう一度、 やり直して下さい。	入力されたカード会社番号（KID）に対応する情報が端末に登録されていないときです。	KID を確認後、再度、やり直してください。 再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
J04	J04:入力タイムアウト リセットキーを押して もう一度、 やり直して下さい。	操作中にキー入力待ちタイムオーバーとなったときです。	リセットキーを押すと初期画面に戻りますので、再度、やり直してください。
J05	売上:　　ＸＸＸＸ J05:回線エラー　XXX ご確認の上、もう一度 実行キーをどうぞ。	回線接続のエラーまたはセンタの電話が混雑しているためセンタと接続ができないときです。 XXX は電話番号編集エラーです。 １行目のＸＸＸＸは支払方法(例:一括払いなど）を表します。	回線が正しく接続されているか、確認後、もう一度、実行キーを押してください。 終了するときは、リセットキーを押してください。 再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
J06	売上:　　ＸＸＸＸ J06:電話回線使用中 ご確認の上、もう一度 実行キーをどうぞ。	併設の電話機、Fax 等で電話回線が使用されているときです。 １行目のＸＸＸＸは支払方法(例:一括払いなど）を表します。	併設機器の使用が終わったら、処理を再開するために実行キーを、終了するときはリセットキーを押してください。
J07	売上:　　ＸＸＸＸ J07:センタと接続不可 XXXXX　　ZZZZZZZZ もう一度、実行キーを どうぞ。	回線接続のリトライオーバーでセンタと接続ができないときです。 XXXXX はエラー詳細コードです。 ZZZZZZZZ にはダイアルトーンが検出できない場合に NoD.TONE が表示されます。 １行目のＸＸＸＸは支払方法(例:一括払いなど）を表します。	下記の内容を確認後、もう一度、実行キーを押してください。 ・回線設定、AP 設定が正しく設定されているか、終了するときは、リセットキーを押してください。 再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。 その際は、エラー詳細コードをお知らせください。
	売上:　　ＸＸＸＸ J07:センタと接続不可 LAN-YY01 もう一度、実行キーを どうぞ。	LAN ケーブル接続のエラーです。 １行目のＸＸＸＸは支払方法(例:一括払いなど）を表します。	LAN ケーブルが正しく接続されているかを確認後、実行キーを押してください。 再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
	売上:　　ＸＸＸＸ J07:センタと接続不可 LAN-0204 もう一度、実行キーを どうぞ。	DHCP 取得時に無効な IP アドレスを取得したときです。 １行目のＸＸＸＸは支払方法(例:一括払いなど）を表します。	再発する場合は、加盟店様ネットワーク環境（LAN/WAN）の保守管理者様へ連絡してください。
	売上:　　ＸＸＸＸ J07:センタと接続不可 LAN-0205 もう一度、実行キーを どうぞ。	DHCP 取得時にタイムアウトしたときです。 １行目のＸＸＸＸは支払方法(例:一括払いなど）を表します。	再発する場合は、加盟店様ネットワーク環境（LAN/WAN）の保守管理者様へ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
J08	J08: 集計データは ありません。	日計出力分の取引データがないときです。	２秒後に元の画面に戻ります。直前に日計処理を実行している場合は、再印字を実行してください。それ以外は販売業務を続けてください。
J09	J09:日計 モードキーを押して、日計処理を実行して下さい。	1. ３日間日計処理が行われなかったときです。 2. 取引データが一杯のときです。 3. 取引データ格納エリアが残り10件以下しか記録できないときです。	モード ○ キーを押して初期画面に戻し、日計処理を行ってください。
J13	J13:XXXX　通信エラー リセットキーを押してもう一度、 やり直して下さい。	通信エラーが発生したときです。XXXX にはエラー詳細コードが表示されます。	リセット キーを押すと初期画面に戻りますので、再度、やり直してください。（初期画面に戻る前に、伝票印字が行われる場合があります。）再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
	J13:DCOX 通信ｴﾗｰ ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL:0120-800-661	通信エラーが発生したときです。DCOX にはエラー詳細コードが表示されます。	CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
J16	J16: カード会社テーブルがありません	オンラインテスト実施時に、登録カード会社が１件もなかったときです。	一定時間表示後に元の画面に戻ります。
J18	J18:用紙切れ 電源をＯＦＦしたうえで、用紙をセットして下さい。	用紙切れが発生したときです。	電源を OFF にして用紙をセットしてください。電源をONした後、必要により再印字を行ってください。日計印字途中で発生したときは、再度、操作してください。
J19	J19:ｼｽﾃﾑｴﾗｰ(E06) ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL:0120-800-661	システムエラーが発生したときです。	CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
J20	J20:ｼｽﾃﾑｴﾗｰ(E46) ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL:0120-800-661	システムエラーが発生したときです。	CARDNET サービスデスクへ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
J22 ～ J26	J2X:ﾃｰﾌﾞﾙｴﾗｰ　　YYYY 端末ﾒｰｶｰにご連絡 下さい。 ＸＸＸＸﾃｰﾌﾞﾙ TEL:XXXX-XXX-XXX	端末障害が発生したときです。 ＸＸＸＸには対応するテーブル名が表示されます。	パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
J28	J28:PINPAD通信ｴﾗｰ XX XXXX 電源を入れ直し、操作をやり直して下さい。	ピンパッド（PINPAD）との通信でエラーが発生したときです。	正しいピンパッドが接続されているかを確認した上で電源をOFFにし、その後ONにしてください。
J29	J29:取り扱い不可 リセットキーをどうぞ	デビット取引時、登録KID以外のカードを使用したときです。	リセットキーを押して初期画面に戻ります。再度やり直してください。再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
J30	J30:電源OFF->ON 印字が完了して いません。 再印字キーをどうぞ。	伝票印字中に電源がOFF → ONされたときです。	再印字 ○ キーを押すと伝票を再印字します。
J31	J31:プリンタエラー プリンタをご確認の上 電源を入れ直し、操作 をやり直して下さい。	プリンタに異常が発生したときです。	電源をOFFにし、その後ONにしてください。再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
J35	J35:PINPAD認証ｴﾗｰ 端末ﾒｰｶｰにご連絡 下さい。 TEL:XXXX-XXX-XXX	ピンパッド（PINPAD）がご利用できないときです。	正しいピンパッドが接続されているか確認してください。
J43	J43:設定ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞｴﾗｰ 確認のうえ、もう一度 やり直して下さい。	パスワード設定の確認のための再入力にて、異なるパスワードを入力したときです。	パスワードを確認して入力し直します。
J62	J62:銀聯業務規制 銀聯のお取扱ができません。ﾘｾｯﾄｷｰを押して ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL:0120-800-661	銀聯取引選択時に、銀聯用KIDが存在しないときです。	CARDNETサービスデスクへ連絡してください。
J65	J65:ﾃｰﾌﾞﾙｴﾗｰ　　YYYY 端末ﾒｰｶｰにご連絡 下さい。 ＸＸＸＸﾃｰﾌﾞﾙ TEL:XXXX-XXX-XXX	端末障害が発生したときです。 YYYYにはテーブルエラー詳細コードが表示されます。 ＸＸＸＸには対応するテーブル名が表示されます。	パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
J67	J67:電池警告 電池電圧が不足して います。 リセットキーをどうぞ	端末の電池が消耗しているときです。	パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
J68	J68:ﾌﾟﾘﾝﾀ温度異常 電源を OFFにし、 しばらくしてから 電源を ONにして 下さい。	プリンタの温度が高温になっているときです。	電源を OFF にし、プリンタが冷えてから電源を ON にしてください。再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
J69	J69:モデムエラー 電源を入れ直し、操作 をやり直して下さい。	モデム異常のときです。	電源を OFF し、その後 ON にしてください。再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
J90	J90: ご利用できない発行 会社のカードです。 リセットキーをどうぞ	クレジット取引時、登録 KID 以外のカードを使用したときです。	リセットキーを押して初期画面に戻ります。再度やり直してください。 再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
JM1	JM1:PINPAD認証ｴﾗｰ PINPAD認証処理に失敗 しました。	ピンパッド（PINPAD）の認証に失敗したときです。別のピンパッド（PINPAD）に交換されたときです 。	ピンパッドが別のものと交換されていないか確認のうえ、電源を OFF にし、その後 ON してください。 再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
JM2	JM2:PINPAD通信ｴﾗｰ PINPADと本体の接続を ご確認の上、 電源を入れ直し、操作 をやり直して下さい。	ピンパッド（PINPAD）との通信でエラーが発生したときです。	ピンパッドの接続ケーブルの確認およびピンパッド接続設定を確認のうえ、電源を OFF にし、その後 ON にしてください。 端末を継続してご使用になるときは、リセットキーを押してください。（ただしピンパッドはご利用できません。）
JM3	JM3:PINPAD電池警告 リセットキーを押し、 端末ﾒｰｶｰにご連絡 下さい。 TEL:XXXX-XXX-XXX	ピンパッド（PINPAD）の電池が消耗し始めているときです。	端末を継続してご使用になるときは、リセットキーを押してください。 電池の交換が必要ですので、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
JM4	JM4:PINPAD電池ｴﾗｰ 端末ﾒｰｶｰにご連絡 下さい。 TEL:XXXX-XXX-XXX	ピンパッド（PINPAD）の電池が消耗したときです。	端末を継続してご使用になるときは、リセットキーを押してください。 電池の交換が必要ですのでパナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
JM6	JM6:PINPADIPLｴﾗｰ PINPADと本体の接続をご確認の上、 電源を入れ直し、操作をやり直して下さい。	プログラムの更新に失敗したときです。	電源を OFF にし、その後 ON にしてください。再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
JM8	JM8:PINPAD未登録 PINPAD未登録です。 実行キーをどうぞ。	ピンパッド（PINPAD）の接続でピンパッド（PINPAD）がまだ未登録のときです。	実行キーを押して処理を行ってください。
JMA	JMA:0001 PINPADｴﾗｰ 本体から PINPADを 外した上、 実行キーをどうぞ。	ピンパッド（PINPAD）の接続が本体の設定内容と合っていないときです。	ピンパッドを本体から外して実行キーを押して、再度処理を行ってください。再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
	JMA:0002 PINPADｴﾗｰ 本体に PINPADを 接続した上、 実行キーをどうぞ。	ピンパッド（PINPAD）の接続が本体の設定内容と合っていないときです。	ピンパッドを本体に接続して実行キーを押して、再度処理を行ってください。再発する場合は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
JMD	JMD:PIN入力回数ｵｰﾊﾞｰ しばらくしてから操作をやり直して下さい。 リセットキーをどうぞ	ピンパッドがご利用できないときです。	リセットキーを押して、初期画面に戻ります。しばらくしてから再度実行してください。
JMF	JMF:PINPAD未登録ｴﾗｰ 電源を入れ直し、操作をやり直して下さい。	ピンパッド（PINPAD）がご利用できないときです。	正しいピンパッドが接続されているか確認し、電源を OFF にし、その後 ON にしてください。
JMG	JMG:PINPADｱﾌﾟﾘ種別ｴﾗｰ 電源を入れ直し、操作をやり直して下さい。	別のピンパッド（PINPAD）に交換されたときです。	正しいピンパッドが接続されているか確認し、電源を OFF にし、その後 ON にしてください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
JMH	JMH:PINPADｷｰｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝｴﾗｰ 電源を入れ直し、操作をやり直して下さい。 XXXX	ピンパッド（PINPAD）がご利用できないときです。	正しいピンパッドが接続されているか確認し、電源を OFF し、その後 ON にしてください。
JMJ	JMJ:ID登録処理ｴﾗｰ 電源を入れ直し、操作をやり直して下さい。	ピンパッドがご利用できないときです。	電源を OFF にし、その後 ON にしてください。再発する場合は、パナソニック システム ソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
JMK	JMK:ID取得失敗 電源を入れ直し、操作をやり直して下さい。	ピンパッドがご利用できないときです。	電源を OFF にし、その後 ON にしてください。再発する場合は、パナソニック システム ソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
JML	JML:XXXX LANﾁｯﾌﾟｴﾗｰ YY-MM 電源を入れ直し、操作をやり直して下さい。	LAN 通信ボードの異常のときです。	電源を OFF にし、その後 ON にしてください。再発する場合は、パナソニック システム ソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
JMM	JMM:鍵不一致ｴﾗｰ DLLを実施し、PINPAD登録情報を更新して下さい。ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ	ピンパッド（PINPAD）がご利用できないときです。	リセットキーを押して、DLL を行ってください。
JMN	JMN:鍵未登録ｴﾗｰ DLLを実施し、PINPAD登録情報を更新して下さい。ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ	ピンパッド（PINPAD）がご利用できないときです。	リセットキーを押して、DLL を行ってください。
JMT	JMT:カードお取り忘れ カードを抜いた後 リセットキーをどうぞ	IC クレジットカードを取り出していないときです。	IC クレジットカードを取り出し、リセットキーを押してください。
JMU	JMU:PINPAD登録情報不一致 電源を入れ直し、操作をやり直して下さい。 XXXX	ピンパッド（PINPAD）がご利用できないときです。	電源を OFF にし、その後 ON にして下さい。 再発する場合は、パナソニック システム ソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
JMW	JMW:未定義ｴﾗｰ 電源を入れ直し、操作をやり直して下さい。	ピンパッドがご利用できないときです。	電源を OFF にし、その後 ON にしてください。再発する場合は、パナソニック システム ソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
JS1	JS1:XXXX ｼｽﾃﾑｴﾗｰ 端末ﾒｰｶｰにご連絡 下さい。 TEL:XXXX-XXX-XXX	本機のプログラムに異常が発生したときです。	パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
JS2	JS2:ｼｽﾃﾑｴﾗｰ 端末ﾒｰｶｰにご連絡 下さい。 TEL:XXXX-XXX-XXX	本機のプログラムに異常が発生したときです。	パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。

5.1.3　IC クレジットカード取り扱い時のエラーコード

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
G14	ICカードで お取扱できません。 端末の表示に従って 処理を行って下さい。 ICカードで お取扱いできません。 磁気カードリーダで 処理を行いますか。 はい　いいえ	暗証番号をスキップしたことにより、IC カードで処理できないときです。	磁気カードリーダを使用し、再度取引を行ってください。 磁気カードで処理を継続する場合はF1 ◯（はい）キーを押してください。 処理を中止する場合はF3 ◯（いいえ）キーを押してください。
G15	通信エラー　XXXX もう一度、 やり直して下さい。	通信エラーが発生したときです。XXXX にはエラー詳細コードが表示されます。	もう一度はじめからやり直してください。
G16	〈もう一度やり直して下さい〉 ICｶｰﾄﾞｴﾗｰです。繰り返し発生する時はｶｰﾄﾞ会社にお問合せ下さい	IC カードと端末の間の偶発的なエラー、もしくは IC カードのプログラム不良です。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へご連絡ください。
G17	〈ご利用できません〉 暗証番号を入力して もう一度、 やり直して下さい。	暗証番号入力をスキップしたことにより、取引が拒否されたときです。	暗証番号を入力して、もう一度はじめからやり直してください。 ＊暗証番号の入力が必須のカードです。
G18	〈ご利用できません〉 暗証番号の誤入力回数ｵｰﾊﾞｰです。お客様から直接､ｶｰﾄﾞ会社にお問合せ下さい。	暗証番号の誤入力回数が上限値を超えているため、暗証番号の入力がブロックされているときです。	お客様から直接、カード会社に問い合わせていただくようお伝えください。 ＊ IC クレジットカードでのお取扱いができない状態になっています。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
I01	I01:XXXXXXXX ICカード処理エラー リセットキーをどうぞ	IC カード処理で異常が発生したときです。	リセットキーを押すと初期画面に戻りますので、再度、やり直してください。再発する場合はパナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
	I01:0BXX0021 ICカード処理エラー 電源を入れ直し、操作をやり直して下さい。	IC カード処理で異常が発生したときです。	電源を OFF にし、その後 ON にしてください。再発する場合はパナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
I02	I02:ｻｰﾋﾞｽｺｰﾄﾞﾁｪｯｸｴﾗｰ ICカード挿入口にカードを挿入して下さい。	IC カード挿入が必要な IC カードが端末機の磁気カードリーダにて読み取りされたときです。	IC カードを本体の IC カード挿入口に挿入してください。
I04	I04:カード挿入エラー リセットキーをどうぞ	操作中に IC カードが抜き取られたときです。	リセットキーを押すと初期画面に戻りますので、再度、やり直してください。
I10	I10:ﾃｰﾌﾞﾙｴﾗｰ　XXXX 端末ﾒｰｶｰにご連絡 下さい。 ICｶｰﾄﾞｱｸｱｲｱﾗﾃｰﾌﾞﾙ TEL:XXXX-XXX-XXX	端末障害が発生したときです。	パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
I11 I27 I28	IXX:ﾃｰﾌﾞﾙｴﾗｰ　XXXX 端末ﾒｰｶｰにご連絡 下さい。 ＸＸＸＸﾃｰﾌﾞﾙ TEL:XXXX-XXX-XXX	端末障害が発生したときです。	パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
I12	I12:XXXX　通信エラー ｾﾝﾀへの処理結果通知に失敗しました。 実行キーをどうぞ。	結果通知送信中に通信エラーが発生したときです。 XXXX はエラー詳細コードです。	もう一度実行キーを押してください。
I13	I13:通信ﾘﾄﾗｲｱｳﾄ ｾﾝﾀへの処理結果通知に失敗しました。 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL:0120-800-661	結果通知送信中に通信エラーが３回連続したときです。	もう一度リセットキーを押してください。 再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
I14	I14: 未送信データは ありません。	結果通知データがないときです。	一定時間表示後に元の入力画面にもどります。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
I15	I15:業務規制中 モードキーを押して、一括送信処理を実行して下さい。	結果通知データの送信エラーが発生したときです。	モード ◯ キーを押して、一括送信業務を行ってください。
I17	I17:ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ選択ｴﾗｰ 磁気カードリーダで処理を行って下さい。	取引対象外の IC カードが挿入されたときです。	端末機の磁気カードリーダにて読み取りを行ってください。
I18	I18:ﾃｰﾌﾞﾙ未登録(IC) 磁気カードリーダで処理を行って下さい。 リセットキーをどうぞ	端末内に該当テーブルが存在しなかったときです。 「リセットキーをどうぞ」は表示されない場合があります。	端末機の磁気カードリーダにて読み取りを行ってください。
I19	I19:ｶｰﾄﾞﾃﾞｰﾀ不一致 お取扱いできません。 処理を中止します。 リセットキーをどうぞ	直前の IC カード取引と違うカードを読み取ったときです。	リセット キーを押して処理を終了してください。
I20	ＸＸＸ　　ＸＸＸＸ I20:回線エラー 再接続を行いますか。 再接続　　中 止 F1　F2　F3 ◯　◯　◯	回線接続のエラーまたはセンタの電話が混雑しているためセンタとの接続ができないときです。 1 行目のＸＸＸは左側：取引種別（例：売上など）、右側：支払方法（例：一括払いなど）を表します。	次の内容を確認後、F1 ◯（再接続）キーを押してください。 ①回線が正しく接続されているか ②回線設定、AP 設定が正しく設定されているか 再発する場合は、F3 ◯（中止）キーを押して接続処理を中止してください。
I21	ＸＸＸ　　ＸＸＸＸ I21:電話回線使用中 再接続を行いますか。 再接続　　中 止 F1　F2　F3 ◯　◯　◯	併設の電話機、Fax などで電話回線が使用されているときです。 1 行目のＸＸＸは左側：取引種別（例：売上など）、右側：支払方法（例：一括払いなど）を表します。	併設機器の使用が終わったら、処理を再開するために F1 ◯（再接続）キーを押してください。または F3 ◯（中止）キーを押して接続処理を中止してください。
I22	ＸＸＸ　　ＸＸＸＸ I22:センタと接続不可 XXXXX　　ZZZZZZZZ 再接続を行いますか。 再接続　　中 止 F1　F2　F3 ◯　◯　◯	回線接続のリトライオーバーでセンタとの接続ができないときです。 1 行目のＸＸＸは左側：取引種別（例：売上など）、右側：支払方法（例：一括払いなど）を表します。 XXXXX はエラー詳細コードです。 ZZZZZZZZ にはダイアルトーンが検出できない場合に NoD.TONE が表示されます。	次の内容を確認後、F1 ◯（再接続）キーを押してください。 ・回線設定、AP 設定が正しく設定されているか確認してください。 中止する場合は F3 ◯（中止）キーを押して接続処理を中止してください。 再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
I23	I23:カード応答(AAR) 処理を中止します。 リセットキーをどうぞ	IC カードから無効な応答を受けたときです。	リセットキーを押して処理を終了してください。 カード会社へ連絡してください。
I24	I24:ｶｰﾄﾞ読出しｴﾗｰ 磁気カードリーダで 処理を行って下さい。	IC カードから必要なデータを読み出せなかったときです。	端末機の磁気カードリーダにて読み取りを行ってください。
I25	I25:ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ選択ｴﾗｰ 磁気カードリーダで 処理を行って下さい。 リセットキーをどうぞ	取扱対象外の IC カードが挿入されたときです。	リセットキーを押すと初期画面に戻ります。 端末機の磁気カードリーダにて読み取りを行ってください。
I29	I29:最終選択処理ｴﾗｰ 磁気カードリーダで 処理を行って下さい。 リセットキーをどうぞ	IC カードで処理できないときです。	リセットキーを押すと初期画面に戻ります。 端末機の磁気カードリーダにて読み取りを行ってください。
I30	I30:最終選択処理ｴﾗｰ 磁気カードリーダで 処理を行って下さい。	IC カードで処理できないときです。	端末機の磁気カードリーダにて読み取りを行ってください。
I98	I98:ハッシュエラー 取引完了後、ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへご連絡下さい。 TEL:0120-800-661 確認 F1　F2　F3 ○　○　○	CA 公開鍵にエラーが発生したときです 。	F3 ○(確認)キーを押すと取引が継続します。取引完了後、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。

5.1.4　カード会社からのメッセージ（クレジット業務）

カード会社から、ディスプレイおよび伝票上にエラーメッセージが表示されたときの対処方法です。
※ G14 ～ G18 は 2-161 ページを参照してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
G12	〈G12 ご利用できません〉 詳細は会員様よりカード裏面のカード会社にお問合せ下さい。	クレジットカードが使用不可能なときです。	会員様から直接、カード裏面のカード会社に問い合わせていただくようお伝えください。
G30	〈G30〉 加盟店様よりカード会社にお問合せ下さい。 TEL：XXXX-XX-XXXX	カード会社が受付を保留したときです。	加盟店様よりカード会社へ連絡してください。
G42	〈G42 暗証エラー〉 詳細は会員様よりカード裏面のカード会社にお問合せ下さい。	お客様の入力した暗証番号が誤っていたときです。	会員様から直接、カード裏面のカード会社に問い合わせていただくようお伝えください。
G44	〈G44 ｾｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞ入力ｴﾗｰ〉 詳細は会員様よりカード裏面のカード会社にお問合せ下さい。	セキュリティコードの入力が誤っていたときです。	会員様から直接、カード裏面のカード会社に問い合わせていただくようお伝えください。
G45	〈G45 ｾｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞ未入力〉 詳細は会員様よりカード裏面のカード会社にお問合せ下さい。	クレジットカード会社が受付を拒否したときです。	会員様から直接、カード裏面のカード会社に問い合わせていただくようお伝えください。
G46	〈G46 お取扱できません〉 カード会社にお問合せ下さい。 TEL：XXXX-XXX-XXX	クレジットカード会社が受付を拒否したときです。	カード会社へ連絡してください。
G54	〈G54 ご利用できません〉 詳細は会員様よりカード裏面のカード会社にお問合せ下さい。	お客様の 1 日の利用回数または金額をオーバーしているときです。	会員様から直接、カード裏面のカード会社に問い合わせていただくようお伝えください。
G55	〈G55 ご利用できません〉 詳細は会員様よりカード裏面のカード会社にお問合せ下さい。	お客様の 1 日の利用限度額をオーバーしているときです。	会員様から直接、カード裏面のカード会社に問い合わせていただくようお伝えください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
G56	〈G56 無効カード〉 カードをお預かりの上加盟店様よりカード会社にご連絡願います。 TEL:XXXX-XX-XXXX	無効カードが入力されたときです。	カードをお預かりしたのち、加盟店様よりカード会社へ連絡してください。
G60	〈G60 事故カード〉 カードをお預かりの上加盟店様よりカード会社にご連絡願います。 TEL:XXXX-XX-XXXX	事故カードが入力されたときです。	カードをお預かりしたのち、加盟店様よりカード会社へ連絡してください。
G61	〈G61 無効カード〉 カードをお預かりの上加盟店様よりカード会社にご連絡願います。 TEL:XXXX-XX-XXXX	無効カードが入力されたときです。	カードをお預かりしたのち、加盟店様よりカード会社へ連絡してください。
G65	〈G65 会員番号エラー〉 初めからやり直して下さい。	会員番号の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G67	〈G67 商品ｺｰﾄﾞｴﾗｰ〉 初めからやり直して下さい。	商品コードの入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G68	〈G68 金額エラー〉 初めからやり直して下さい。	金額の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G69	〈G69 その他エラー〉 初めからやり直して下さい。	その他の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G70	〈G70 ﾎﾞｰﾅｽ回数ｴﾗｰ〉 初めからやり直して下さい。	ボーナス回数の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G71	〈G71 ﾎﾞｰﾅｽ月ｴﾗｰ〉 初めからやり直して下さい。	ボーナス月の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
G72	〈G72 ﾎﾞｰﾅｽ金額ｴﾗｰ〉 初めからやり直して下さい。	ボーナス金額の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G73	〈G73 支払開始月ｴﾗｰ〉 初めからやり直して下さい。	支払開始月の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G74	〈G74 分割回数エラー〉 初めからやり直して下さい。	分割回数の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G75	〈G75 分割金額エラー〉 初めからやり直して下さい。	分割払いの下限額を下回っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G76	〈G76 初回金額エラー〉 初めからやり直して下さい。	初回金額の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G77	〈G77 業務区分エラー〉 カード会社にお問合せ下さい。 TEL:XXXX-XXX-XXX	カード会社が受付を拒否したときです。	カード会社へ連絡してください。
G78	〈G78 支払方法エラー〉 カード会社にお問合せ下さい。 TEL:XXXX-XXX-XXX	支払方法の入力が誤っていたときです。	カード会社へ連絡してください。
G80	〈G80 取消区分エラー〉 初めからやり直して下さい。	取消区分の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G81	〈G81 取扱区分エラー〉 初めからやり直して下さい。	取扱区分の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
G83	〈G83 有効期限エラー〉 詳細は会員様よりカード裏面のカード会社にお問合せ下さい。	有効期限切れのクレジットカードが入力されたときです。	会員様から直接、カード裏面のカード会社に問い合わせていただくようお伝えください。
G84	〈G84 承認番号エラー〉 初めからやり直して下さい。	承認番号の入力が誤っていたときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G85	〈G85 お取扱いできません〉 加盟店様よりカード会社にお問合せ下さい。 TEL:XXXX-XX-XXXX	カード会社にて受付を拒否したときです。	加盟店様よりカード会社へ連絡してください。
G92	〈G92〉 加盟店様よりカード会社にお問合せ下さい。 TEL:XXXX-XX-XXXX	カード会社にて受付を拒否したときです。	加盟店様よりカード会社へ連絡してください。
G94	〈G94 もう一度やり直して下さい〉 カード会社にお問合せ下さい。 TEL:XXXX-XX-XXXX	サイクル通番が規定値以上、異なっているか数値でないときです。	もう一度はじめからやり直してください。
G95	〈G95 カード会社終了〉 カード会社にお問合せ下さい。 TEL:XXXX-XXX-XXX	クレジットカード会社の当該業務の運用が終了しているときです。	カード会社へ連絡してください。
G97	〈G97 お取扱いできません〉 カード会社にお問合せ下さい。 TEL:XXXX-XXX-XXX	カード会社にて受付を拒否したときです。	カード会社へ連絡してください。
G98	〈G98 対象業務ｴﾗｰ〉 初めからやり直して下さい。	カード会社にて受付を拒否したときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、カード会社へ連絡してください。
G99	〈G99 お取扱いできません〉 カード会社にお問合せ下さい。 TEL:XXXX-XXX-XXX	カード会社にて受付を拒否したときです。	カード会社へ連絡してください。

※上記以外のエラーコード

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
GXX	〈GXX〉 カード会社にお問合せ下さい。 TEL:XXXX-XXX-XXX	カード会社にて受付を拒否したときです。	カード会社へ連絡してください。

5.1.5　センタからのメッセージ（クレジット業務）

センタからのエラーメッセージとエラーの内容、その対処方法です。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
C01	〈C01 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度やり直してください。 再発する場合は、CARDNETサービスデスクへ連絡してください。
C02	〈C02 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度やり直してください。 再発する場合は、CARDNETサービスデスクへ連絡してください。
C03	〈C03 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度やり直してください。 再発する場合は、CARDNETサービスデスクへ連絡してください。
C04	〈C04 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度やり直してください。 再発する場合は、CARDNETサービスデスクへ連絡してください。
C12	〈C12 しばらくしてからやり直して下さい〉	カード会社にて受付できませんでした。	しばらくしてから、もう一度やり直してください。
C13	〈C13 しばらくしてからやり直して下さい〉	カード会社にて受付できませんでした。	しばらくしてから、もう一度やり直してください。
C14	〈C14 お取扱いできません〉 カード会社での受付を休止しています。	カード会社にて受付できませんでした。	もう一度やり直してください。 再発する場合は、CARDNETサービスデスクへ連絡してください。
C15	〈C15 お取扱いできません〉 ＣＡＦＩＳセンターでの受付を休止しています。	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度やり直してください。 再発する場合は、CARDNETサービスデスクへ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
C16	〈C16 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度やり直してください。 再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C33	〈C33 しばらくしてからやり直して下さい〉	CAFIS センタにて受付できませんでした。	しばらくしてから、もう一度やり直してください。
C50	〈C50 しばらくしてからやり直して下さい〉	CAFIS センタにて受付できませんでした。	しばらくしてから、もう一度やり直してください。
C57	〈C57 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	カード会社にて受付できませんでした。	もう一度やり直してください。 再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C58	〈C58 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度やり直してください。 再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C60	〈C60 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度やり直してください。 再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。

※上記以外のエラーコード

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
CXX	〈CXX〉 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL：0120-800-661	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度やり直してください。 再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
ZXX	〈ZXX お取扱できません〉 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL：0120-800-661	CARDNET センタにて受付できませんでした。	CARDNET サービスデスクへ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
E01～E05 E07～E10 E12～E20 E27～E45 E50～E60 E62、E63 E66～E73 E99、EA4	〈E01 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時は ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL:0120-800-661	CARDNET センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
E06 E48 E49	〈E06 お取扱いできません〉 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL:0120-800-661	CARDNET センタにて受付できませんでした。	CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
E11	〈E11 カウンタ不一致〉 至急サービスデスクへTEL願います。 TEL:0120-800-661	CARDNET センタにて受付できませんでした。	CARDNET サービスデスクへ至急連絡してください。
E46	〈E46 もう一度やり直して下さい〉	CARDNET センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
E47	〈E47 しばらくしてからやり直して下さい〉 繰り返し発生する時は ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL:0120-800-661	CARDNET センタにて受付できませんでした。	しばらくしてから、もう一度やり直してください。
E61	〈E61 お取扱いできません〉 DLL参照禁止時間帯です。	DLL ができない時間帯です。	未明の時間帯は DLL ができません。日中に再度、やり直してください。
E64 E65	〈E64 しばらくしてからやり直して下さい〉	CARDNET センタにて受付できませんでした。	しばらくしてから、もう一度やり直してください。
E79	〈E79 しばらくしてからやり直して下さい〉 繰り返し発生する時は ｶｰﾄﾞ会社へTEL願います TEL:XXXX-XXX-XXX	カード会社にて受付できませんでした。	しばらくしてから、もう一度やり直してください。 再発する場合は、カード会社へ連絡してください。

※上記以外のエラーコード

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
EXX	〈EXX〉 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL:0120-800-661	CARDNET センタにて受付できませんでした。	CARDNET サービスデスクへ連絡してください。

5.1.6　カード会社からのメッセージ（銀聯業務）

カード会社から、ディスプレイおよび伝票上にエラーメッセージが表示されたときの対処方法です。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
G12 G30	〈GXX ご利用できません〉 詳細は会員様より、お客様専用電話番号にTEL願います	カードが使用不可なときです。	お客様より直接、伝票に印字されている“Customer Service”のTEL 番号へ連絡いただくよう、ご案内ください。
G42	〈G42 暗証番号エラー〉 詳細は会員様より、お客様専用電話番号にTEL願います	お客様の入力した暗証番号が誤っていたときです。	お客様より直接、伝票に印字されている“Customer Service”のTEL 番号へ連絡いただくよう、ご案内ください。
G56	〈G56 無効カード〉 詳細は会員様より、お客様専用電話番号にTEL願います	無効カードに該当したときです。	お客様より直接、伝票に印字されている“Customer Service”のTEL 番号へ連絡いただくよう、ご案内ください。
G65	〈G65 会員番号エラー〉 ご利用できません。 カード会社にお問合せ下さい。 TEL:XX-XXXX-XXXX	会員番号（カード番号）の入力が誤っていたとき、または存在しない会員番号（カード番号）のときです。	入力内容をご確認のうえ、もう一度やり直してください。再発する場合は、銀聯機能ご契約のカード会社へ連絡してください。
G68	〈G68 金額エラー〉 初めからやり直して下さい。再発時はカード会社にお問合せ下さい TEL:XX-XXXX-XXXX	金額の入力が誤っていたときです。	入力内容をご確認のうえ、もう一度やり直してください。再発する場合は、銀聯機能ご契約のカード会社へ連絡してください。
G83	〈G83 有効期限エラー〉 詳細は会員様より、お客様専用電話番号にTEL願います	有効期限切れのカードが使用されたときです。	お客様より直接、伝票に印字されている“Customer Service”のTEL 番号へ連絡いただくよう、ご案内ください。
G97	〈G97 ご利用できません〉 カード会社にお問合せ下さい。 TEL:XX-XXXX-XXXX	カード会社にて受付を拒否したときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、銀聯機能ご契約のカード会社へ連絡してください。
G98	〈G98 対象業務エラー〉 ご利用できません。 カード会社にお問合せ下さい。 TEL:XX-XXXX-XXXX	カード会社にて受付を拒否したとき、または、売上日の翌日以降に取消処理を行ったときです。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、銀聯機能ご契約のカード会社へ連絡してください。

※上記以外のエラーコード

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
GXX	〈GXX〉 ご利用できません。 カード会社にお問合せ下さい。 TEL：XX-XXXX-XXXX	カード会社にて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、銀聯機能ご契約のカード会社へ連絡してください。

5.1.7　センタからのメッセージ（銀聯業務）

センタからのエラーメッセージとエラーの内容、その対処方法です。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
E01～E05 E07～E10 E12～E20 E27～E45 E50～E60 E62、E63 E66～E73 E99、EA4	〈EXX もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL：0120-800-661	CARDNET センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
E06 E48 E49	〈EXX お取扱いできません〉 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL：0120-800-661	CARDNET センタにて受付できませんでした。	CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
E11	〈E11 カウンタ不一致〉 至急サービスデスクへTEL願います。 TEL：0120-800-661	CARDNET センタにて受付できませんでした。	CARDNET サービスデスクへ至急連絡してください。
E46	〈E46 もう一度やり直して下さい〉	CARDNET センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
E47	〈E47 しばらくしてからやり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL：0120-800-661	CARDNET センタにて受付できませんでした。	しばらくしてから、もう一度やり直してください。
E61	〈E61 お取扱いできません〉 DLL参照禁止時間帯です。	DLL ができない時間帯です。	未明の時間帯は DLL ができません。日中に再度、やり直してください。
E64 E65	〈EXX しばらくしてからやり直して下さい〉	CARDNET センタにて受付できませんでした。	しばらくしてから、もう一度やり直してください。
E79	〈E79 しばらくしてからやり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｶｰﾄﾞ会社へTEL願います TEL：XXXX-XXX-XXX	カード会社にて受付できませんでした。	しばらくしてから、もう一度やり直してください。 再発する場合は、カード会社へ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
EA3	〈EA3 お取扱いできません〉 クレジット業務にて取引を行って下さい。	カード会社にて受付できませんでした。	銀聯業務の取扱いができないカードです。 クレジット業務にて取引を行ってください。

※上記以外のエラーコード

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
EXX	〈EXX〉 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL：0120-800-661	CARDNET センタにて受付できませんでした。	CARDNET サービスデスクへ連絡してください。

5.1.8　金融機関からのメッセージ（デビット業務）

金融機関から、ディスプレイおよび伝票上にエラーメッセージが表示されたときの対処方法です。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
G06	〈G06 残高不足〉 残高不足です。 ご利用できません。	当該取引口座において残高が不足しているときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G07	〈G07 限度額オーバー〉 限度額オーバーです。 ご利用できません。	当該取引において限度額オーバーとなったときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G42	〈G42 暗証番号エラー〉 暗証番号エラーです。 ご利用できません。	入力暗証番号がエラーのときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G43	〈G43 ご利用できません〉 ご利用できません。	暗証番号の誤入力回数が規定値を超えたときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G60	〈G60 ご利用できません〉 ご利用できません。	利用停止となった口座のカードが使用されたときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G65	〈G65 ご利用できません〉 ご利用できません。	存在しない口座番号のカードが使用されたときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G68	〈G68 金額エラー〉 金額エラーです。 ご利用できません。	入力された金額がエラーのときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G77	〈G77 ご利用できません〉 ご利用できません。	規定外の業務区分の電文を受信したときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G78	〈G78 ご利用できません〉 ご利用できません。	規定外の支払区分の電文を受信したときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G80	〈G80 ご利用できません〉 ご利用できません。	規定外の取消区分の電文を受信したときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
G81	〈G81 ご利用できません〉 ご利用できません。	規定外の取扱区分・取引区分の電文を受信したときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G83	〈G83 有効期限エラー〉 有効期限切れｴﾗｰです。 ご利用できません。	有効期限切れのカードが使用されたときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G85	〈G85 ご利用できません〉 ご利用できません。	デビットサービス対象外の口座のカードが使用されたときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G91	〈G91 ご利用できません〉 ご利用できません。	金融機関側のシステムが一部障害中で口座引き落とし等ができないときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G94	〈G94 ご利用できません〉 ご利用できません。	次の原因により取消処理ができないときです。 ・元取引が存在しない ・元取引が既に取消済み ・元取引と同一日付のコア時間帯でない	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G95	〈G95 金融機関終了エラー〉 業務が終了して います。 ご利用できません。	当該業務の運用が終了しているときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G97	〈G97 ご利用できません〉 ご利用できません。	何らかの理由により要求電文を処理できないときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G98	〈G98 対象業務エラー〉 ご利用できません。	対象業務以外の電文を受信したときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
G99	〈G99 ご利用できません〉 ご利用できません。	契約のないセンタからカウンタ精査電文を受信したときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。

※上記以外のエラーコード

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
GXX	〈GXX〉 ご利用できません。	金融機関にて受付を拒否したときです。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。

5.1.9　センタからのメッセージ（デビット業務）

センタからのエラーメッセージとエラーの内容、その対処方法です。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
C01	〈C01 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C03	〈C03 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C12	〈C12 しばらくしてからやり直して下さい〉	金融機関にて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C13	〈C13 しばらくしてからやり直して下さい〉	金融機関にて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
C14	〈C14 お取扱いできません〉 金融機関での受付を休止しています。	金融機関にて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
C15	〈C15 お取扱いできません〉 ＣＡＦＩＳセンターでの受付を休止しています。	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
C20	〈C20 お取扱いできません〉 お取扱いできません。	CAFIS センタにて受付できませんでした。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
C21	〈C21 お取扱いできません〉 お取扱いできません。	CAFIS センタにて受付できませんでした。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　容	対　処
C22	〈C22 お取扱いできません〉 お取扱いできません。	CAFIS センタにて受付できませんでした。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
C23	〈C23 お取扱いできません〉 お取扱いできません。	CAFIS センタにて受付できませんでした。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
C24	〈C24 お取扱いできません〉 お取扱いできません。	CAFIS センタにて受付できませんでした。	処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
C33	〈C33 しばらくしてからやり直して下さい〉	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
C50	〈C50 しばらくしてからやり直して下さい〉	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、処理を中止して、お客様に取引できないことを伝えてください。
C51	〈C51 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C53	〈C53 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C54	〈C54 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C55	〈C55 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時はｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
C56	〈C56 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時は ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C57	〈C57 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時は ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	金融機関にて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C58	〈C58 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時は ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。
C60	〈C60 もう一度やり直して下さい〉 繰り返し発生する時は ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。

※上記以外のエラーコード

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	表示メッセージ	内　　容	対　　処
CXX	〈CXX〉 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへTEL願います TEL：0120-800-661	CAFIS センタにて受付できませんでした。	もう一度はじめからやり直してください。再発する場合は、CARDNET サービスデスクへ連絡してください。

付録

付 1　誤操作に対する対応

■ 本体の操作を間違ったとき…

・ **入力の途中で間違いに気づいた場合**
訂正キーを押して正しいデータを入力します。

・ **セットキーを押した後に間違いに気づいた場合**
訂正キーを押すと、直前のメッセージに戻りますので、正しいデータを入力できます。

例) 商品コード「210」と入力するところを間違って「240」と入力した場合

1

訂正キーを押します。

2

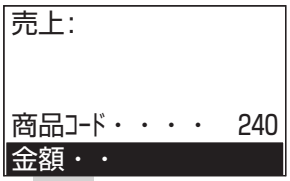
商品コード「210」を入力します。

3

セットキーを押します。

4

1



訂正キーを押します。

2

商品コード「210」を入力します。

3

セットキーを押します。

4

・ 未定義〔ありえない数値 (例)13 月など〕データを入力した場合
ブザーが鳴り元の画面に戻ります。
ブザーが鳴り終わってから正しいデータを入力してください。

・ 入力桁がオーバーしてしまった場合
ブザーが鳴り、それ以上は入力できなくなります。
訂正キーを押し、元の表示に戻ってから正しいデータを入力してください。

■ お客様が暗証番号入力の操作を間違ったとき…

・ 暗証番号入力の途中で間違いに気づいた場合

訂正キーを押して正しいデータを入力します。

1

一括払い
金額・・　¥1,234,567
暗証番号を入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号

暗証番号を入力します。

2

一括払い
金額・・　¥1,234,567
暗証番号を入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号****

訂正キーを押します。

3

一括払い
金額・・　¥1,234,567
暗証番号を入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号

暗証番号を入力します。

4

一括払い
金額・・　¥1,234,567
暗証番号を入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号****

実行キーを押します。

5

暗証番号の確認完了
ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を
係員にお戻し下さい。

・ 暗証番号を入力しエラーになった場合

正しい暗証番号を入力します。

1

一括払い
金額・・　¥1,234,567
暗証番号を入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号

暗証番号を入力します。

2

一括払い
金額・・　¥1,234,567
暗証番号を入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号****

実行キーを押します。

3

一括払い
金額・・　¥1,234,567
暗証番号ｴﾗｰ。再入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号

暗証番号を入力します。

4

一括払い
金額・・　¥1,234,567
暗証番号を入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号****

実行キーを押します。

5

暗証番号の確認完了
ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を
係員にお戻し下さい。

・ 暗証番号入力可能な回数が残り１回になった場合は、右の画面になります。

一括払い
金額・・　¥1,234,567
残り1回です。再入力後
実行キーをどうぞ。
暗証番号

・ 暗証番号入力可能な回数が残り０回になった場合は、右の画面になります。
取引終了後、お客様がご契約されているカード会社へ問い合わせていただくようお客様へ案内してください。

暗証番号誤入力
回数オーバーです。
直接、カード会社へ
お問い合わせ下さい。
実行キーをどうぞ。

付２ こんなときには

■ 困ったときには

原因	もう一度確認してください	対処
電源を入れても画面に文字が表示されない	電源コードが抜けていませんか？	電源コードがコンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。
	AC アダプターが外れていませんか？	AC アダプターと本体がしっかり接続されているか確認してください。
	電源ランプはついていますか？	電源ボタンを 2 秒以上押してください。
	画面が真っ黒（真っ白）になっていませんか？	本体コントラストを操作して画面の濃度を調整してください。 本体コントラストについては「機器設定」（2-109 ページ）の操作を参照してください。
画面が異常な表示をする キー入力ができない	近くに電子レンジ、テレビなど家庭電化製品が設置されていませんか？	ノイズ発生源を取り除き、電源を OFF し、その後 ON にしてください。
プリンタが印字しない 異常な印字をする	ロール紙がなくなっていませんか？	新しいロール紙をセットしてください。
	ロール紙が詰まっていませんか？	電源を切ってつまった紙を取り除き、もう一度ロール紙をセットしてください。
	ロール紙が裏表逆にセットされていませんか？	裏表を正しくセットしなおしてください。
	ロール紙カバーが開いていませんか？	ロール紙カバーオープンボタンを押して、ロール紙カバーを閉めてください。
ピンパッドが動作しない ピンパッドの画面が表示されない	ピンパッドケーブルが抜けていませんか？	ピンパッドケーブルがしっかり差し込まれているか確認してください。
	本体の電源は入っていますか？	本体の電源が入っていることを確認してください。

■ カードが読み取れなかったとき

お客様のカードが、キズ・汚れなどでカードが読み取れなかったときは、該当カード会社にお問い合わせください。

■ エラーにはならないが、通信に時間がかかる場合

通信が完了しているので回線混雑が原因の可能性が高いですが、同じ状況がつづくようであれば、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。

■ピンパッドが故障してしまったとき

パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
ピンパッド交換までの間、下記手順にて端末は使用可能です。

①本体の電源を OFF します。
②故障したピンパッドを本体から取り外します。
③本体の電源をＯＮします。
④下記エラーメッセージを表示しますので、リセットキーを押します。

```
JM2:PINPAD通信ｴﾗｰ
PINPADと本体の接続を
ご確認の上、
電源を入れ直し、操作
をやり直して下さい。
```

⑤下記メッセージを表示しますので、リセットキーを押します。

```
ピンパッドを
切り離した状態で
運用します。ＤＬＬを
実施して下さい。
リセットキーをどうぞ
```

⑥下記エラーメッセージを表示しますので、リセットキーを押します。

```
JMN:鍵未登録ｴﾗｰ

DLLを実施し、PINPAD
登録情報を更新して下
さい。ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ
```

⑦「1.5 カード会社からの最新情報の受取り（DLL）」(2-80 ページ)に従い、DLL を実施します。これで取引可能状態になります。暗証番号入力は本体をお客様に手渡し、本体の数字キーにて暗証番号を入力していただいてください。

※上記はピンパッド交換までの仮運用です。再度、電源を OFF されますと、次の電源 ON 時に④⑤をやり直していただく必要があります。（⑥⑦は不要）
ご了承願います。

■本機の移動について

本機を移動したり移設を行うときは、必ず端末を申し込みされたカード会社にお問い合わせください。

■プリンタについて

プリンタ部が異常をおこしたときは、パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へお問い合わせください。
連絡先の電話番号は、本体の側面にシールで貼付しています。

■ その他　よくあるご質問

（1）端末操作全般

	質問内容	対処方法
1	「カード会社を選択できません。カード会社番号をどうぞ。」というメッセージが表示された。	KID 一覧にてカード会社をご確認の上、入力を行ってください。F3（検索）キーについては「KID 入力」（2-87 ページ）を参照してください。 （KID 一覧が最新のものでない場合は、DLL 操作を行い、再度、KID 一覧を出力してください。）
2	「その他」の画面をスキップさせたい。	セットキーを押すことにより、入力を省略できます。画面そのものを表示させないようにするには、次の対処を行ってください。 ・磁気クレジットカード取引 端末を申し込みされたカード会社に相談してください。 ・IC クレジットカード取引 設定モードの「IC 業務設定」（2-118 ページ）を参照して表示の設定を行ってください。
3	「商品コード」の画面をスキップさせたい。	
4	取消返品操作をしたい。	当日中であれば取消操作を行ってください。 当日以外であれば、返品操作を行う前に、該当カード会社へ返品を行ってよいか確認してください。 （お客様のカード会社への支払いの締切をまたいだ場合、返金が遅くなる場合があります。）
5	金額訂正をしたい。	当日中であれば一旦、売上を取り消した後、正しい金額で再度売上処理を行ってください。 当日以外であれば取消を行う前に、該当カード会社へ取り消しを行ってよいか確認してください。 （お客様のカード会社への支払いの締切をまたいだ場合、返金が遅くなる場合があります。）
6	画面に何も表示されない。	・本体コントラストで調整してください。 本体コントラストについては「機器設定」（2-109 ページ）の操作を参照してください。 ・コンセントの差込プラグと電源を確認してください。 以上を確認のうえ、改善されない場合にはパナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）へ連絡してください。
7	売上処理中に紙が詰まってしまった。	プリンタを確認後、再印字してください。 同じ伝票を再発行できます。
8	「J09: 日計　モードキーを押して、日計処理を実行して下さい。」と表示され、売上ができない。	3 日以上日計処理をしていない場合に表示されます。モード キーでモード選択画面に戻し、日計処理を行ってください。
9	契約しているカード会社が KID 一覧に載っていない。	DLL 操作を行い、再度、KID 一覧を出力してください。 それでも契約カード会社が載っていない場合は、該当カード会社の登録が行われていません。該当カード会社へ相談してください。

10	カード情報の手動入力（マニュアル入力）で売上ができない。	マニュアル入力で売上ができるかどうかはカード会社の端末への設定内容によって決まります。 マニュアル入力が必要な場合は該当カード会社へ相談してください。
11	端末を紛失した、または盗難された。	端末を申し込みされたカード会社へ連絡してください。
12	売上が成立しているか確認したい。	中間計または日計を行い、出力したリストにて確認してください。
13	いつ入金されるか確認したい。	該当カード会社へ連絡してください。
14	日計を行っても日計リストが出力されない。	前回の日計以降、取引がなく出力するデータがないときです。

(2) IC クレジットカードお取り扱い

1	IC クレジットカードとそうではないクレジットカードの見分け方がわからない。	クレジットカードの券面（おもて）上に金色のチップが搭載されているカードが IC クレジットカードです。 （詳しくはカード会社へ確認してください。）
2	IC クレジットカードを磁気カードリーダで読み取りさせたい。	本機（IC クレジット機能対応版）では、原則、IC クレジットカードは IC カード挿入口に挿入していただく必要があります。 「売上」以外の操作は、IC カード挿入口への挿入もしくは磁気カードリーダでの読み取りのどちらの方法でも可能です。 （詳しくは「売上共通の操作」（2-7 ページ）を参照してください。）
3	お客様が暗証番号を知らない（忘れてしまった）。	該当カード会社へご相談ください。（お客様へは、別途カード会社までご連絡いただくようご案内ください。）
4	「暗証番号入力」の画面が表示されないまま、操作が終了した。	カードによっては IC クレジットカードであっても、「暗証番号入力」画面が表示されない場合があります。 また、伝票印字前に「サインをいただいて下さい。」という画面が表示された場合は、お客様にサインをご記入いただくようご案内ください。
5	「102: ｻｰﾋﾞｽｺｰﾄﾞﾁｪｯｸｴﾗｰ IC カード挿入口にカードを差し込んで下さい」と表示され、売上操作ができない。	IC クレジットカードを、磁気カードリーダに通さず、本機の IC カード挿入口に挿入してください。
6	暗証番号入力をスキップする場合。	「暗証番号入力をスキップするときは」（付 -9 ページ）を参照してください。

付３ ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種の場合の操作

IC クレジットカード取引やデビットカード取引、銀聯カード取引時に、オプションのピンパッドを使用して暗証番号を入力していただくことができます。

Point
・ピンパッド（オプション）をご契約いただいている場合の操作になります。

（1）IC クレジットカード取引・デビット取引の場合

1

＜本体画面＞

```
ｸﾚｼﾞｯﾄ
売上:          一括払い

暗証番号入力中です。
```

暗証番号入力が必要な場合、左の画面が表示されます。お客様にピンパッドの数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。

Point
- 暗証番号入力後も、IC クレジットカードとの通信がありますので、IC クレジットカードを引き抜かないでください。
- お客様ご本人の確認を暗証番号で行った場合は、サイン（署名）は不要です。伝票上に「暗証番号は確認済みです」と印字されますので確認してください。
- 暗証番号入力制限時間（設定方法は 2-109 ページ参照）を超えた、または 60 秒間キー入力がなかった場合はタイムアウトとなってしまいますので、ご注意ください。
- デビット取引の場合、ピンパッドの 取消 キーを押しても取引を中止することはできません。中止するときは本体の リセット キーを押してください。

＜ピンパッド画面＞

```
        ¥12,345,678
暗証番号+確定ｷｰ
```

```
        ¥12,345,678
*
```

```
        ¥12,345,678
****            確定
```

```
        ¥12,345,678
**********確定
```

暗証番号を入力すると、左の画面が表示されます。入力された暗証番号は、「＊」で表示されます。最後に 確定キーを押していただきます。

```
本体処理中
お待ち下さい。
```

```
暗証番号を
確認しました。
```

暗証番号確認が終了すると、左の画面が表示されます。

2

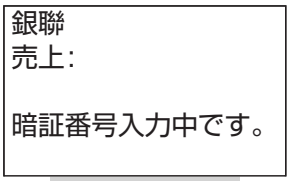
```
ｸﾚｼﾞｯﾄ              ABCｶｰﾄﾞ
売上:          一括払い
実行キーをどうぞ。
```

実行 キーを押します。

(2) 銀聯カード取引の場合

1

＜本体画面＞

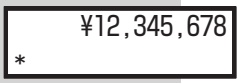


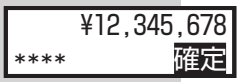
暗証番号入力が必要な場合、左の画面が表示されます。お客様にピンパッドの数字キーを使用して暗証番号を入力していただきます。

Point

- ピンパッドの 取消 キーを押しても取引を中止することはできません。中止するときは本体の リセット キーを押してください。
- お客様が暗証番号をお忘れの場合は、暗証番号入力をスキップすることができます。詳しくは（付-9ページ）を参照してください。

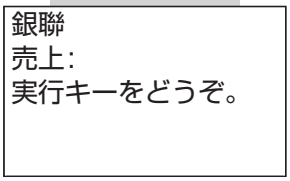
＜ピンパッド画面＞





暗証番号を入力すると、左の画面が表示されます。入力された暗証番号は、「＊」で表示されます。最後に 確定キーを押していただきます。

2



実行 キーを押します。

付４　暗証番号入力をスキップするときは

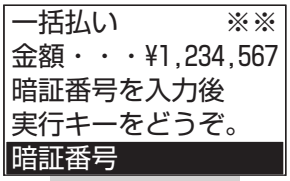
IC クレジットカード取引時や銀聯カード取引時には、原則として暗証番号を入力していただきますが、カード会社とのご契約によって暗証番号入力をスキップできる場合があります。この場合、次のような操作を行ってください。
暗証番号入力をスキップできない場合は、ご契約されているカード会社へお問い合わせください。
また、お客様には別途該当カード会社へご連絡いただくようご案内ください。

Point
・暗証番号入力のスキップは、お客様が暗証番号を忘れた（知らない）ときのみ使用してください。

■本体にて暗証番号を入力する機種をご使用の場合

（1）IC クレジットカード取引の場合

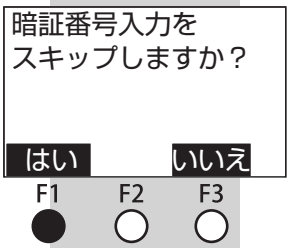
1



暗証番号入力が必要な場合、左の画面が表示されます。
暗証番号が入力スキップ可能な場合は、1 行目の右端に「※※」と表示されます。
お客様に端末を渡し、暗証番号を入力せずに（実行）キーを押していただきます。

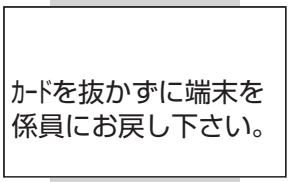
Point
・カードによっては暗証番号入力をスキップできない場合もあります。

2



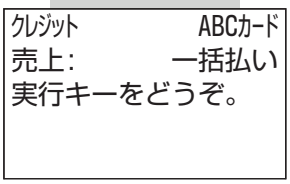
左の画面（暗証番号入力スキップ確認画面）にて F1 ○（はい）キーを押していただきます。

3



暗証番号入力のスキップが完了すると、左の画面が約３秒間表示されます。

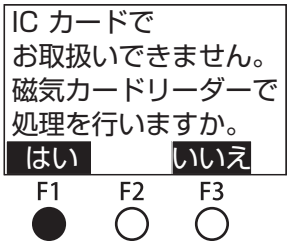
4



（実行）キーを押します。

MEMO

暗証番号入力をスキップした場合、下の画面が表示される場合があります。この場合、画面に従って処理を進めてください。
なお、暗証番号入力をスキップしたＩＣクレジットカードのみ、磁気ストライプで処理できるようになります。



(2) 銀聯カード取引の場合

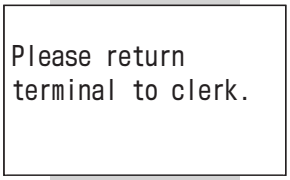
1

暗証番号入力が必要な場合、左の画面が表示されます。
暗証番号が入力スキップ可能な場合は、1 行目の右端に「※※」と表示されます。
お客様に端末を渡し、暗証番号を入力せずに 実行 キーを押していただきます。

Point

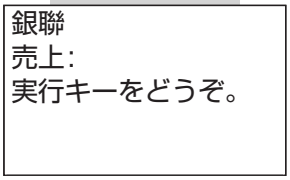
・カードによっては暗証番号をスキップすることで取引エラーとなる場合があります。この場合は、エラー表示に従ってご対処いただきますようお願いいたします。

2



暗証番号入力のスキップが完了すると、左の画面が約３秒間表示されます。

3



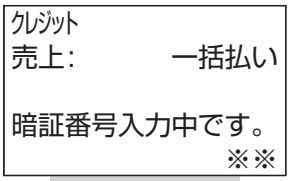
実行 キーを押します。

■ピンパッド（オプション）にて暗証番号を入力する機種をご使用の場合

（1）IC クレジットカード取引の場合

1

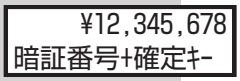
＜本体画面＞



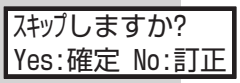
暗証番号入力が必要な場合、左の画面が表示されます。暗証番号が入力スキップ可能な場合は、５行目の右端に「※※」と表示されます。次のピンパッド操作にてスキップできます。

Point
・カードによっては暗証番号入力をスキップできない場合もあります。

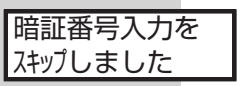
＜ピンパッド画面＞



お客様にピンパッドを渡し、左の画面で暗証番号を入力せずに［確定］キーを押していただきます。

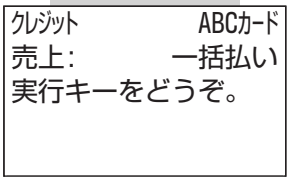


左の画面（暗証番号入力スキップ確認画面）にて、再度、［確定］キーを押していただきます。



暗証番号の入力スキップが完了すると、左の画面が表示され、本機の画面が次に進みます。

2

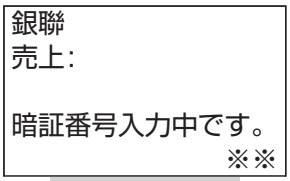


F1
◯（実行）キーを押します。

（2）銀聯カード取引の場合

1

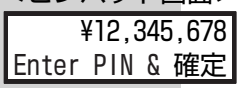
＜本体画面＞



暗証番号入力が必要な場合、左の画面が表示されます。暗証番号が入力スキップ可能な場合は、５行目の右端に「※※」と表示されます。次のピンパッド操作にてスキップできます。

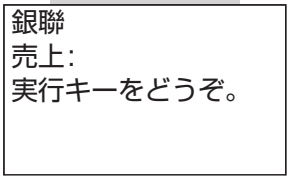
Point
・カードエラーによっては暗証番号をスキップすることで取引エラーとなる場合があります。この場合は、エラー表示に従ってご対処いただきますようお願いいたします。

＜ピンパッド画面＞



お客様にピンパッドを渡し、左の画面で暗証番号を入力せずに［確定］キーを押していただきます。

2



［実行］キーを押します。

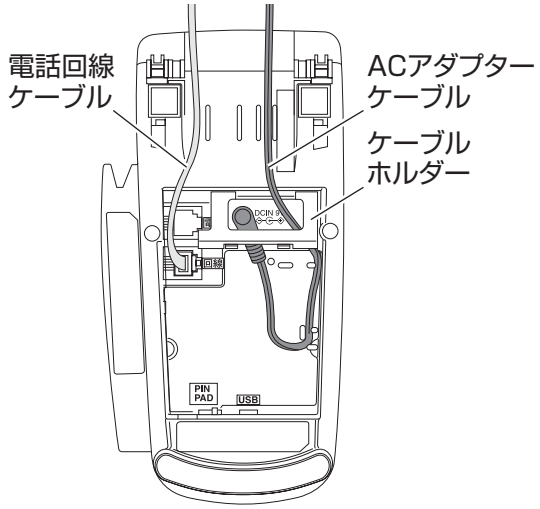
付５　ケーブルの固定方法

下記のようにケーブルを固定します。
ケーブルホルダーの外し方、取り付け方については次ページをご参照ください。

■ ケーブルの固定方法

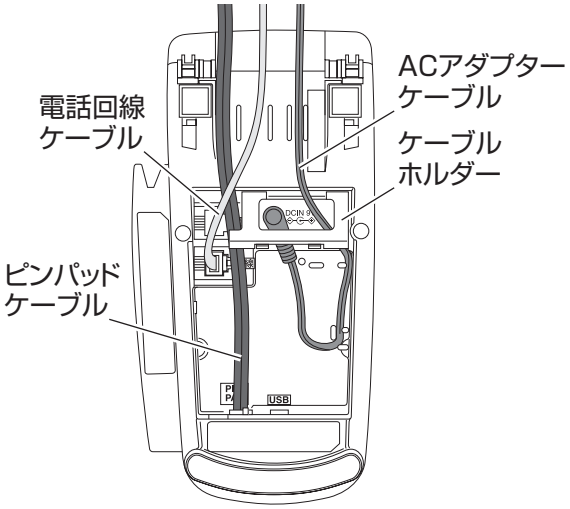
●JT-C07A シリーズ　アナログの場合

＜ピンパッドがない機種＞



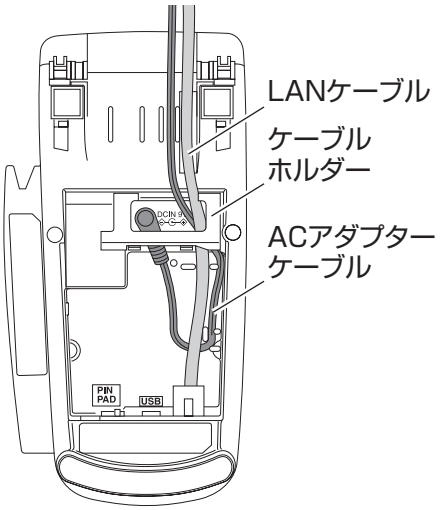
＜ピンパッドがある機種＞

※ピンパッドケーブルを接続した後、電話回線ケーブルを接続します。

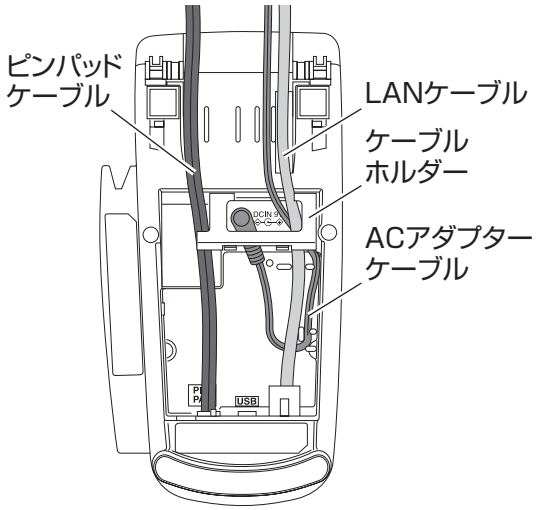


●JT-C07L シリーズ　LAN の場合

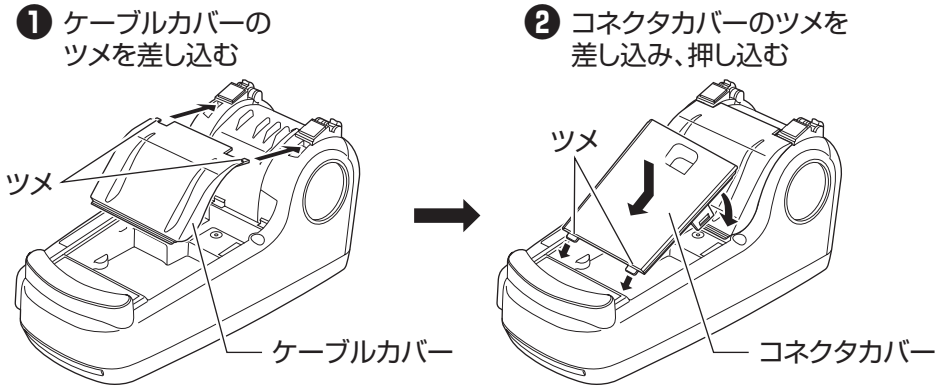
＜ピンパッドがない機種＞



＜ピンパッドがある機種＞



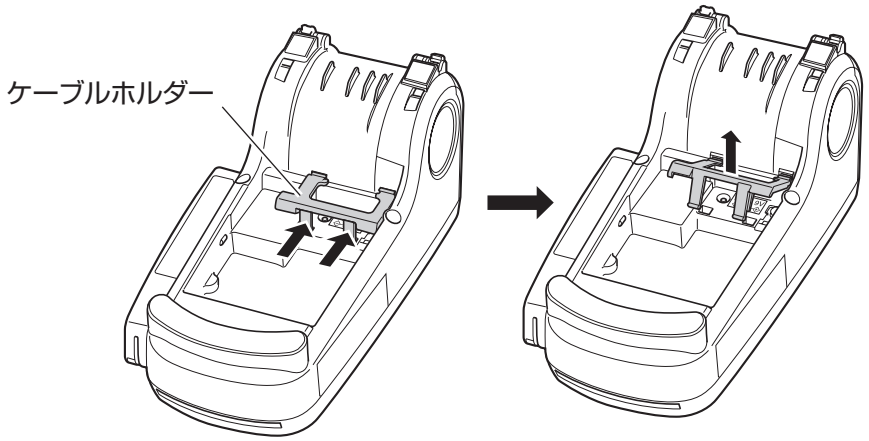
■ ケーブルカバー・コネクタカバーの外し方／取り付け方



取り外しは逆の手順でお願いします。

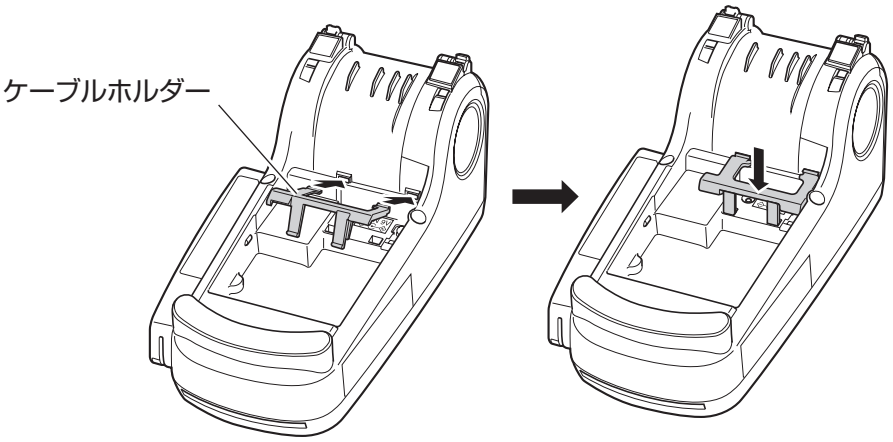
■ ケーブルホルダーの外し方

矢印のところ（2 ヶ所）を押しながら、ケーブルホルダーを上に押し上げると外れます。



■ ケーブルホルダーの取り付け方

ツメ（2 ヶ所）を穴に差し込み、ケーブルホルダーを下に押します。



付６　プライバシーシールドの取り付け方法

プライバシーシールドは下記のように取り付けてください。

付 7　商品区分コード

ディスプレイ部に「商品コード・・・」の表示がでたときは、下記のコード表から該当の商品コードを入力してください。

■ 商品コード一覧

商品ｺｰﾄﾞ	商品名・サービス名
0XX	海外利用
000	海外一般利用
010	海外キャッシュサービス
020	海外通販１（電話）
021	〃　旅行・運輸
022	〃　サービス
023	〃　物品（1）
024	〃　物品（2）
025	〃　物品流通券
030	海外通販２（郵便）
031	〃　旅行・運輸
032	〃　サービス
033	〃　物品（1）
034	〃　物品（2）
035	〃　物品流通券
040	海外医療
050	海外学費
060	海外宿泊
070	海外レンタカー
080	海外交通費
090	海外飲食
1XX	ローン・キャッシュサービス
100	キャッシュサービス
110	ローン
120	通販
121	〃　旅行・運輸
122	〃　サービス
123	〃　物品（1）
124	〃　物品（2）
125	〃　物品流通券
130	インターネット通販
131	〃　旅行・運輸
132	〃　サービス
133	〃　物品（1）
134	〃　物品（2）
135	〃　物品流通券
136	プロバイダー利用料
2XX	旅行・運輸
200	鉄道・バス運賃
201	鉄道回数券
210	国内航空券
211	航空回数券
212	国際航空券
220	乗船券
230	国内パッケージ旅行
231	国際パッケージ旅行
240	レンタカー、タクシー、ハイヤー
250	引越代金
3XX	サービス（1）
300	宿泊
310	食事・宴会
320	飲食
330	施設使用料、結婚式場
331	ゴルフプレー
340	入浴（サウナ）
4XX	サービス（2）
400	修理、営繕（含車検）
410	理容、美容
420	医療
430	通話料
431	国内通話料
432	国際通話料
433	携帯電話、PHS 通話料
440	受講料、学費
450	保険料
460	RESERVE
470	RESERVE
480	RESERVE
49X	EXCEPTION（カード会社独自使用可）
5XX	物品（1）
500	宝石、貴金属
510	指輪
540	時計類
541	ライター
560	カメラ（含レンズ、8 ミリ）
561	ビデオカメラ
562	デジタルカメラ
570	事務用品
590	RESERVE
6XX	物品（2）
610	工具、園芸用品
650	電気製品
652	音響製品（ステレオ、ラジオ、アンプ）
653	ビデオ
654	テレビ
655	エアコン
660	照明器具
670	携帯電話、PHS
680	OA 機器
681	パソコン
682	OA 周辺機器
7XX	物品（3）
710	自動車、自動二輪
720	自転車
730	中古車
750	ガソリン類
760	タイヤ、カーエアコン、その他自動車用品
770	カーナビ
790	メガネ、コンタクト
8XX	物品（4）
810	薬、化粧品
820	家庭用雑貨
830	衣服
831	毛皮、生地
832	呉服
840	バック、カバン
850	靴
860	寝具、カーペット
870	身辺雑貨品
880	家具
890	食料品
891	健康食品
892	酒類
9XX	物品（5）
910	スポーツ用品、玩具、人形
911	ゴルフボール
912	クラブセット
920	書籍、レコード
950	楽器
970	美術、骨とう品、古銭、切手
980	進物、歳暮、中元
981	流通券（ビール、ハム、ショウユ、図書、旅行券）
990	区分けできないもの

付８　契約カード会社一覧メモ

貴店と契約のあるカード会社の番号（KID）や連絡先電話番号などをご記入いただき、メモとして活用してください。

KID	カード会社名称	加盟店様メモ（連絡先電話番号）

付９　定格

■本体について

機　種	JT-C07A シリーズ	JT-C07L シリーズ
適合通信回線	公衆回線（外線・内線）	10base-T（Half/Full-Duplex） 100base-TX（Half/Full-Duplex）
コネクタ形状	RJ-11 型	RJ-45 型
適合ケーブル		UTP カテゴリ 5e 以上推奨
ディスプレイ	モノクロ液晶（2 階調） 解像度（160 × 80 ドット） バックライト（白色 LED） 表示文字（JIS 第 1・第 2 水準漢字）	
プリンタ	ラインサーマル方式（用紙幅 58 mm）、用紙切れ検出有り 最大印字速度 70 mm/s	
読取りカードトラック	JIS Ⅰ型（第 1・第 2 トラック）および JIS Ⅱ型	
寸法	（W）102 mm ×（D）197 mm ×（H）93 mm ※突起部は除く	
キーボード	ファンクションキー× 3、テンキー、モード、再印字、次画面、セット、リセット、訂正、実行、電源	
質量	約 510 g（ロール紙、AC アダプター、および拡張ユニットは除く）	
電源	AC 100 V ± 10 V、50 Hz ／ 60 Hz 待機時／売上票印字時／電源 OFF 時：約 1.5 W ／約 18 W ／約 1 W	
インタフェース	ピンパッド用ポート× 1、USB HOST（保守用）×1	
対応 IC カード	ISO7816 準拠	
使用環境	動作周囲温度：0 ℃～ 40 ℃ 動作周囲湿度：20 % RH ～ 80 % RH（結露なきこと）	

■ピンパッドについて

機　種	JT-C07B シリーズ
ディスプレイ	液晶表示（バックライト付） 全角文字（漢字、ひらがな）8 文字× 2 行
寸法	（W）79 mm ×（D）128 mm ×（H）85 mm
キーボード	ファンクションキー× 3、テンキー、取消、訂正、確定
質量	約 220 g
電源	本体より供給
使用環境条件	動作周囲温度：0 ℃～ 40 ℃ 動作周囲湿度：20 % RH ～ 80 % RH（結露なきこと）

株式会社　日本カードネットワーク

■各種お問い合わせ
CARDNET（カードネット）サービスデスク（24時間受付）
TEL：0120-800-661

■備品のご注文
インターネット（PC・携帯共通）
URL：https://www.cardnet.co.jp/jets
※PC サイトでは、取扱説明書の閲覧や売上伝票の交換方法を動画でご説明しております。

自動音声応答（24時間受付）
TEL：0120-707-243

パナソニック システムネットワークス株式会社

＊パナソニック システムソリューションズ ジャパン（株）の連絡先は、端末に貼付しているシールに記載しています。

JTC07

PGQX1089ZC
SV1211-2121